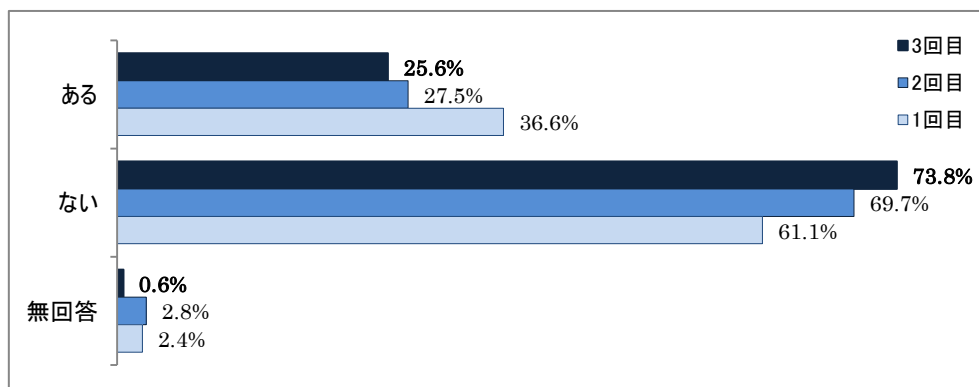


第4. 調査結果

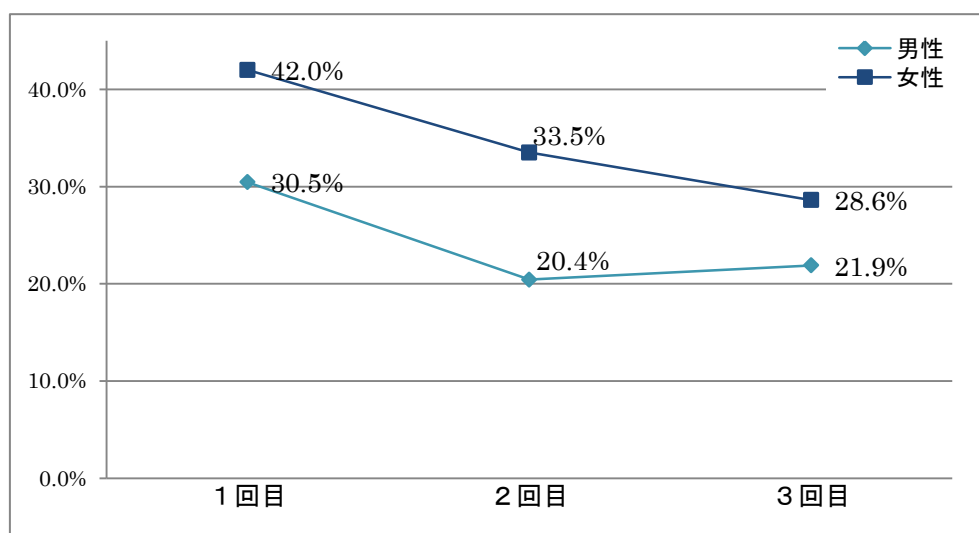
1. 人権侵害について

問1 あなたは、今までに自分の人権が侵害されたと思われたことはありますか。(○は1つ)



人権侵害の有無について、「ある」と答えた人が25.6%、「ない」と答えた人が73.8%となっています。

【「ある」と答えた人の男女別割合の変化】



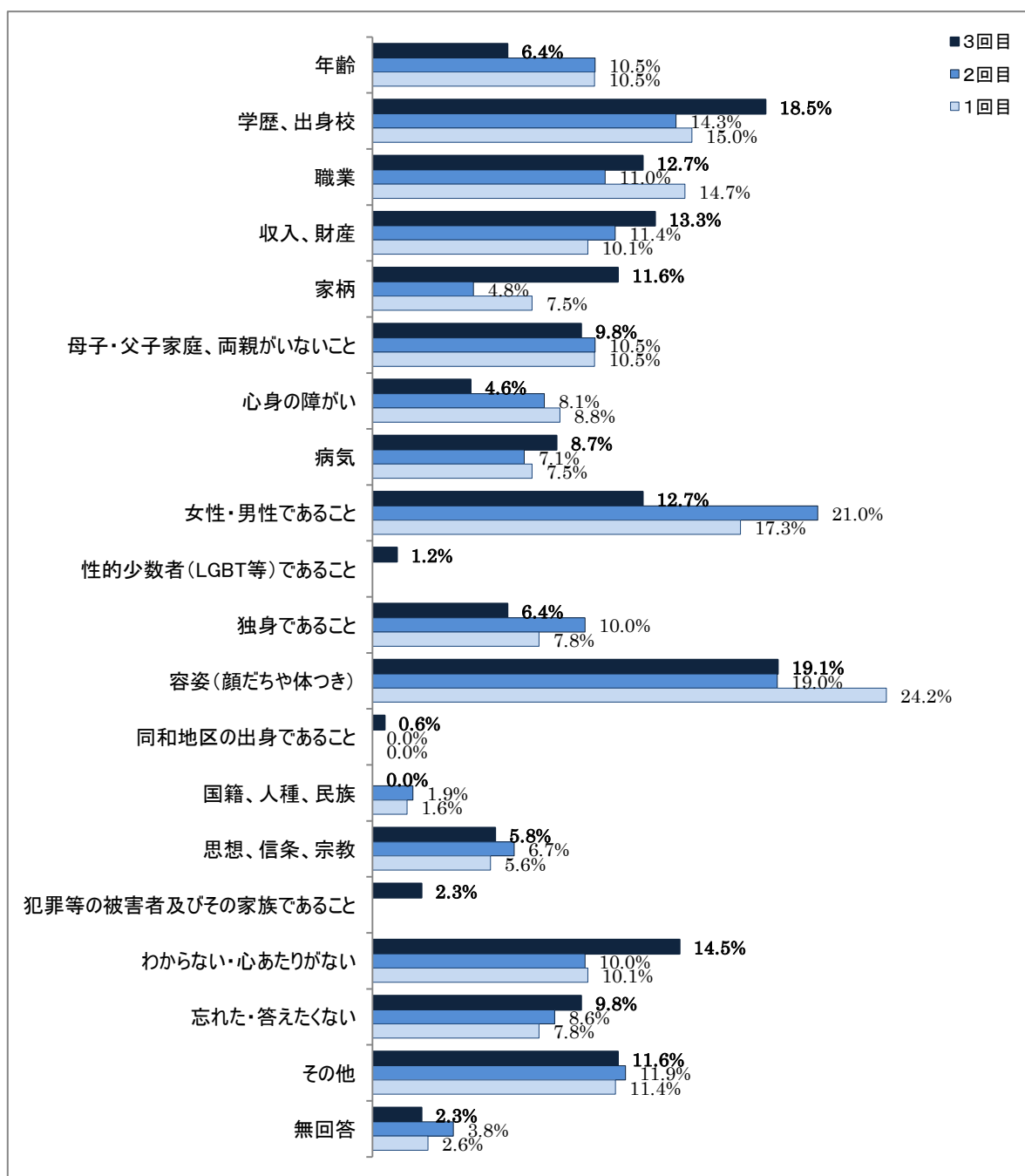
「人権侵害を受けたことがある」と答えた人の男女別の割合を見ると、女性は減少傾向にありますが、男性は1.5ポイント微増しています。

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

(人権が侵害されたと思ったことがある)

		今回の調査	県の調査
全体		25.6%	26.5%
内訳	男性	21.9%	22.0%
	女性	28.6%	29.5%

問1-1 問1で「1 ある」と回答された方におたずねします。どのような理由から人権侵害を受けましたか。(〇はいくつでも)



「容姿(顔立ちや体つき)」(19.1%)が最も割合が高く、次いで、「学歴、出身校」(18.5%)、「わからない・心あたりがない」(14.5%)となっています。

前回21.0%で最も割合の高かった「女性・男性であること」は、今回12.7%で前回より8.3ポイント割合が下がっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・職場での問題(パワハラ、出産・育児に関する等)
- ・家庭の問題(家族の死、離婚等)
- ・学校での問題(転校、部活動での指導等)
- ・交友関係(詐欺に利用された、あいさつを無視された等)や近隣トラブル等

- 男女別での回答傾向は次のとおり

[項目] 容姿（顔だちや体つき）

全体①	男性	女性	差異
19.1%	16.4%	20.4%	4.0 ^{ポイント}

[項目] 学歴、出身校

全体②	男性	女性	差異
18.5%	22.4%	14.6%	7.8 ^{ポイント}

[項目] わからない・心あたりがない

全体③	男性	女性	差異
14.5%	10.4%	16.5%	6.1 ^{ポイント}

- 男女別で人権侵害を受けた理由の回答傾向に差異がみられた（男女別で割合の高かった上位3項目）

<男性>

- ①学歴、出身校（22.4%）【全体② 18.5%】
- ②容姿（顔だちや体つき）（16.4%）【全体① 19.1%】
- ③わからない・心あたりがない（10.4%）【全体③ 14.5%】
- ③収入、財産（10.4%）【全体④ 13.3%】

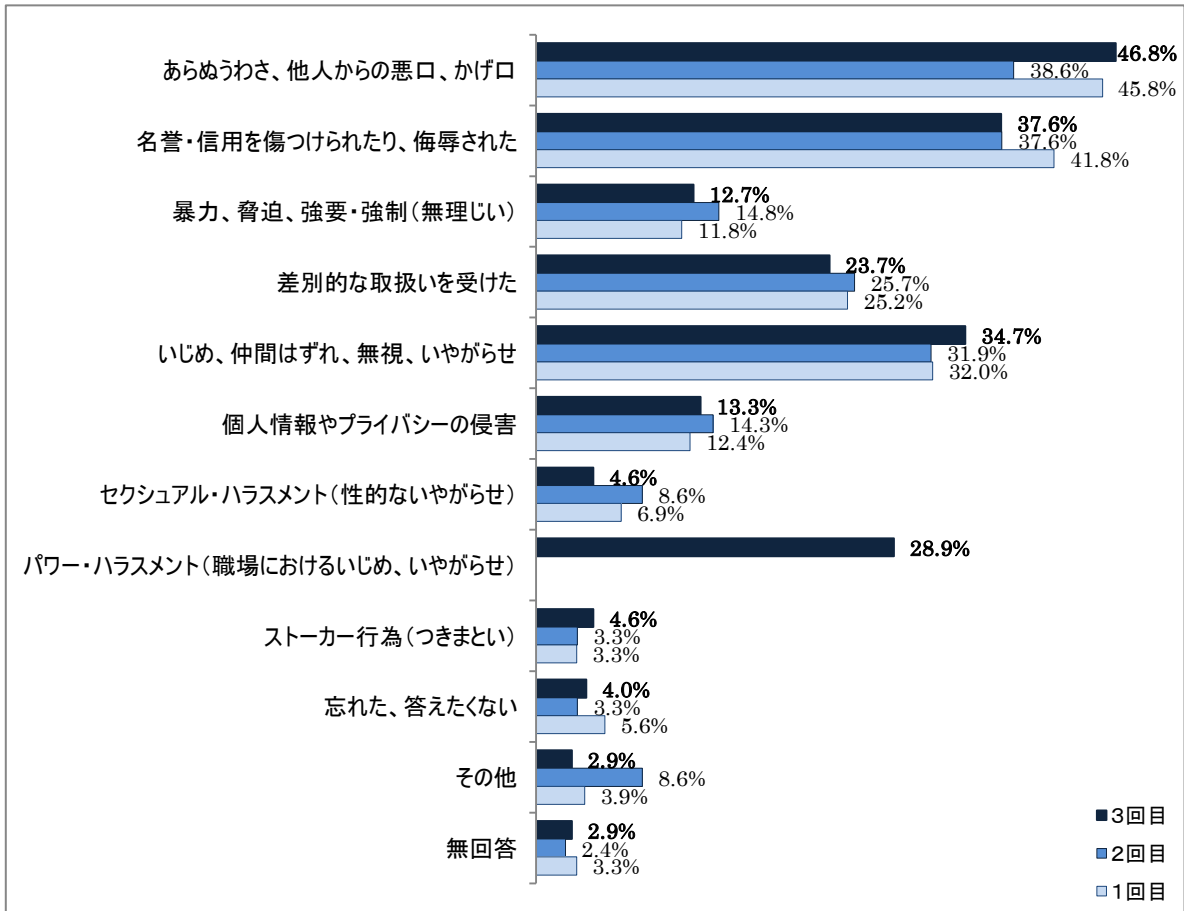
<女性>

- ①容姿（顔だちや体つき）（20.4%）【全体① 19.1%】
- ①女性・男性であること（20.4%）【全体⑥ 12.7%】
- ③わからない・心あたりがない（16.5%）【全体③ 14.5%】

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
年齢	6.4%	12.4%
学歴、出身校	18.5%	18.3%
職業	12.7%	16.6%
収入、財産	13.3%	14.8%
家柄	11.6%	10.3%
母子・父子家庭、両親がいないこと	9.8%	10.3%
心身の障がい	4.6%	11.4%
病気	8.7%	10.0%
女性・男性であること	12.7%	23.8%
性的少数者（LGBT等）であること	1.2%	1.0%
独身であること	6.4%	10.0%
容姿（顔だちや体つき）	19.1%	22.4%
同和地区の出身であること	0.6%	0.7%
国籍、人種、民族	0.0%	2.8%
思想、信条、宗教	5.8%	7.9%
犯罪等の被害者及びその家族であること	2.3%	4.1%
わからない・心あたりがない	14.5%	6.9%
忘れた・答えたくない	9.8%	5.9%
その他	11.6%	14.8%
無回答	2.3%	2.4%

問1-2 問1で「1 ある」と回答された方におたずねします。あなたが受けた人権侵害はどのようなものでしたか。(〇はいくつでも)



「あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口」(46.8%)が最も割合が高く、次いで、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」(37.6%)、「いじめ、仲間はずれ、無視、いやがらせ」(34.7%)となっています。

今回、新たに選択肢に加えた「パワー・ハラスメント」(28.9%)が、4番目に高い割合となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・物損等被害
- ・友人から詐欺に利用された 等

- 男女別での回答傾向(割合の高かった上位3項目) *男女とも同じ項目が上位3項目

[項目] あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口

全体①	男性	女性	差異
46.8%	41.8%	49.5%	7.7ポイント

[項目] 名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された

全体②	男性	女性	差異
37.6%	37.3%	36.9%	0.4ポイント

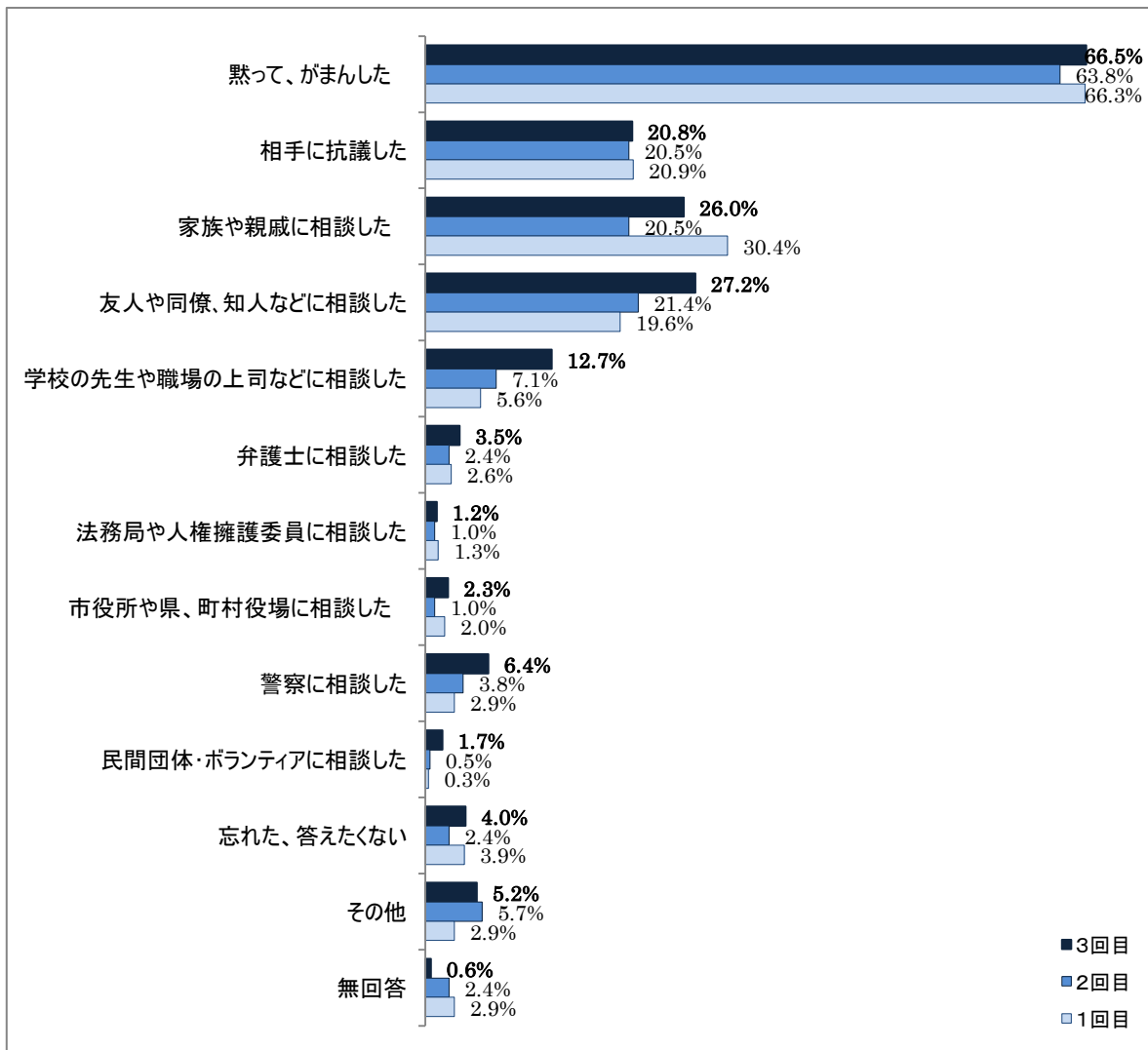
[項目] いじめ、仲間はずれ、無視、いやがらせ

全体③	男性	女性	差異
34.7%	32.8%	35.0%	2.2ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口	46.8%	43.4%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	37.6%	38.6%
暴力、脅迫、強要・強制（無理じい）	12.7%	10.3%
差別的な取扱いを受けた	23.7%	27.6%
いじめ、仲間はずれ、無視、いやがらせ	34.7%	34.1%
個人情報やプライバシーの侵害	13.3%	15.5%
セクシュアル・ハラスメント（性的ないやがらせ）	4.6%	9.3%
パワー・ハラスメント（職場におけるいじめ、いやがらせ）	28.9%	-
ストーカー行為（つきまとい）	4.6%	5.9%
忘れた、答えたくない	4.0%	5.9%
その他	2.9%	7.9%
無回答	2.9%	4.1%

問1-3 問1で「1 ある」と回答された方におたずねします。あなたは人権侵害を受けた時、どのようにしましたか。(〇はいくつでも)



「黙って、がまんした」(66.5%)が最も割合が高く、次いで「友人や同僚、知人など身近な人に相談した」(27.2%)、「家族や親戚に相談した」(26.0%)となっています。

前回から、「友人や同僚、知人など身近な人に相談した」が5.8ポイント、「家族や親戚に相談した」が5.5ポイント、「学校の先生や職場の上司などに相談した」が5.6ポイント増加するなど、周りの人に相談する割合が高くなっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・ 区長、民生委員に相談した
- ・ 気にしない
- ・ 仕事を辞めた 等

● 男女別の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] 黙って、がまんした

全体①	男性	女性	差異
66.5%	70.1%	63.1%	7.0ポイント

[項目] 友人や同僚、知人など身近な人に相談した

全体②	男性	女性	差異
27.2%	17.9%	33.0%	15.1ポイント

【項目】 家族や親戚に相談した

全体③	男性	女性	差異
26.0%	19.4%	30.1%	10.7 ^{ポイント}

- 男女別で人権侵害を受けた時の対応について回答傾向に差異がみられる項目がある（男女別で割合の高かった上位3項目）

<男性>

- ① 黙って、がまんした（70.1%）【全体① 66.5%】
- ② 家族や親戚に相談した（19.4%）【全体③ 26.0%】
- ③ 友人や同僚、知人など身近な人に相談した（17.9%）【全体② 27.2%】
- ③ 相手に抗議した（17.9%）【全体④ 20.8%】

<女性>

- ① 黙って、がまんした（63.1%）【全体① 66.5%】
- ② 友人や同僚、知人など身近な人に相談した（33.0%）【全体② 27.2%】
- ③ 家族や親戚に相談した（30.1%）【全体③ 26.0%】

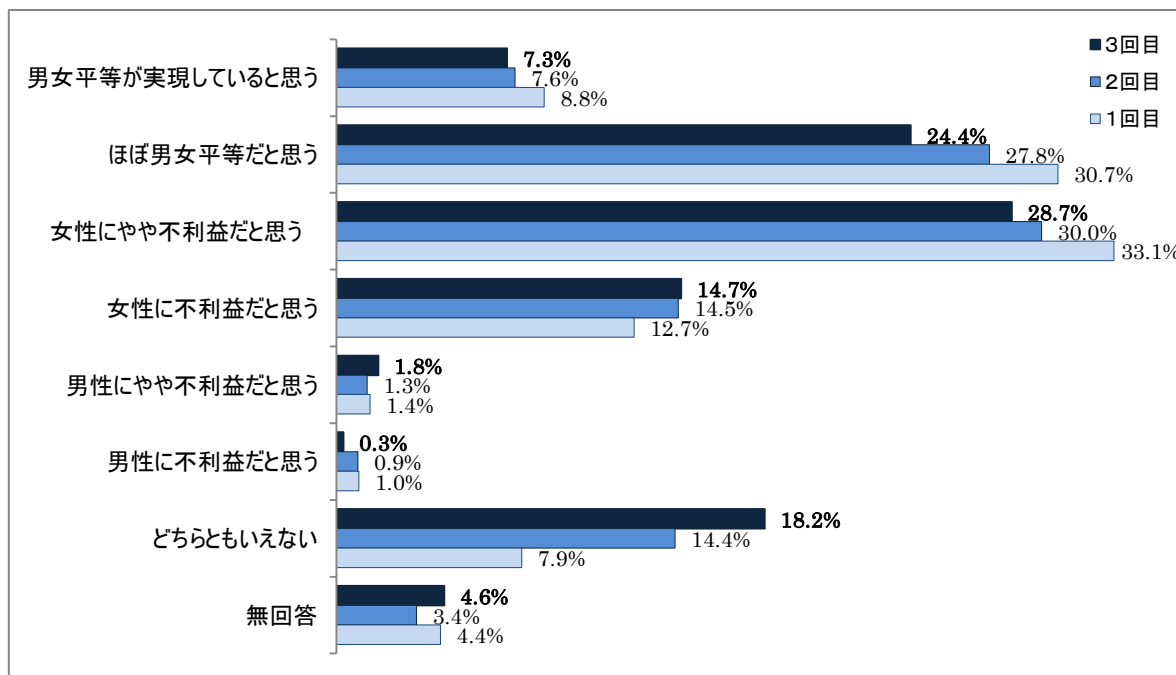
【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
黙って、がまんした	66.5%	70.0%
相手に抗議した	20.8%	16.2%
家族や親戚に相談した	26.0%	24.5%
友人や同僚、知人など身近な人に相談した	27.2%	21.7%
学校の先生や職場の上司などに相談した	12.7%	8.6%
弁護士に相談した	3.5%	2.8%
法務局や人権擁護委員に相談した	1.2%	1.7%
市役所や県、町村役場に相談した	2.3%	3.1%
警察に相談した	6.4%	6.2%
民間団体・ボランティアに相談した	1.7%	1.7%
忘れた、答えたくない	4.0%	3.1%
その他	5.2%	3.8%
無回答	0.6%	2.8%

2. 女性に関する人権問題について

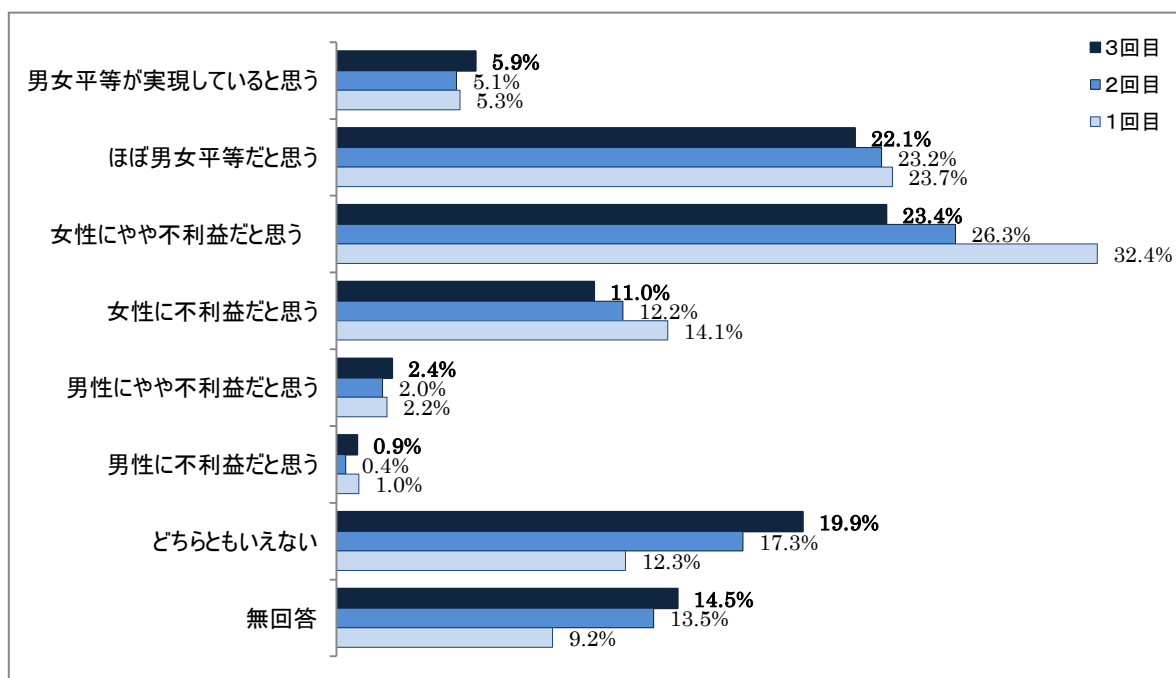
問2 あなたから見て、今の社会では男女平等が実現していると思いますか。

①【家庭の中では、どうだと思いますか。】(○は1つ)



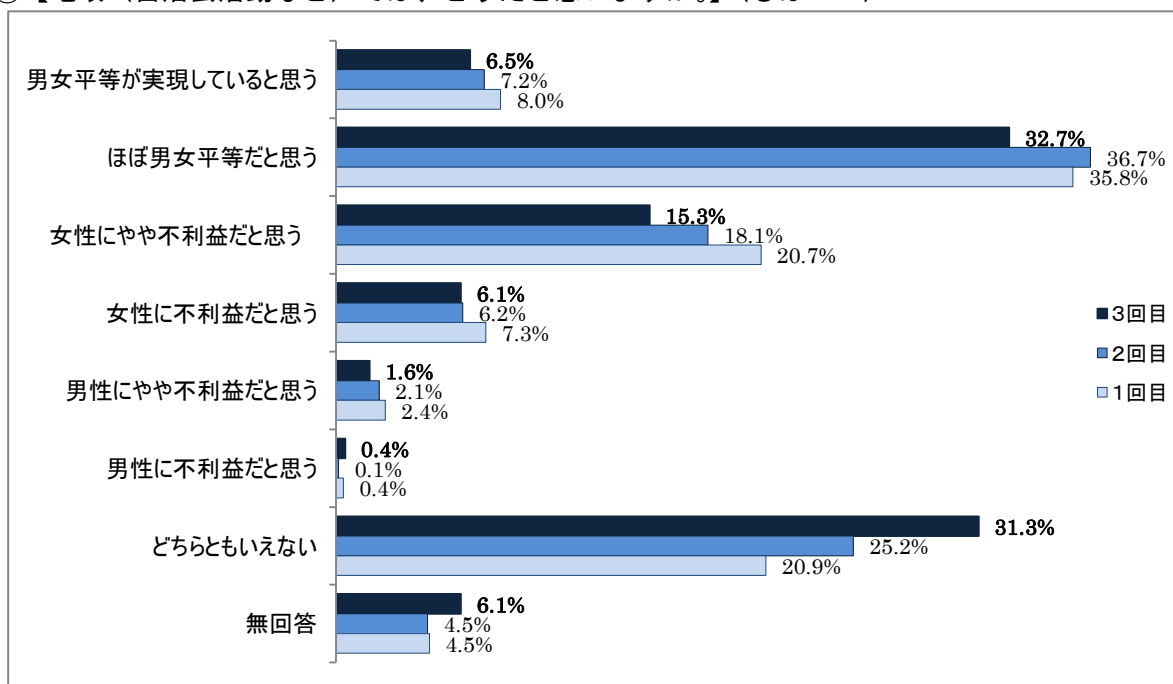
「男女平等が実現していると思う」(7.3%)と「ほぼ男女平等だと思う」(24.4%)をあわせて、31.7%の人が男女平等だと考えています。一方で、「女性に不利益だと思う」(14.7%)と「女性にやや不利益だと思う」(28.7%)をあわせて、43.4%の人が女性に不利益だと考えています。

②【職場では、どうだと思いますか。】(○は1つ)



「男女平等が実現していると思う」(5.9%)と「ほぼ男女平等だと思う」(22.1%)をあわせて、28.0%の人が男女平等だと考えています。一方で、「女性に不利益だと思う」(11.0%)と「女性にやや不利益だと思う」(23.4%)をあわせて、34.4%の人が女性に不利益だと考えています。

③【地域（自治会活動など）では、どうだと思いますか。】（○は1つ）



「男女平等が実現していると思う」（6.5%）と「ほぼ男女平等だと思う」（32.7%）をあわせて、39.2%の人が男女平等だと考えています。一方で、「女性に不利益だと思う」（6.1%）と「女性にやや不利益だと思う」（15.3%）をあわせて、21.4%の人が女性に不利益だと考えています。

- 男女別で回答傾向に差異がみられる項目がある

②【職場ではどう思いますか】

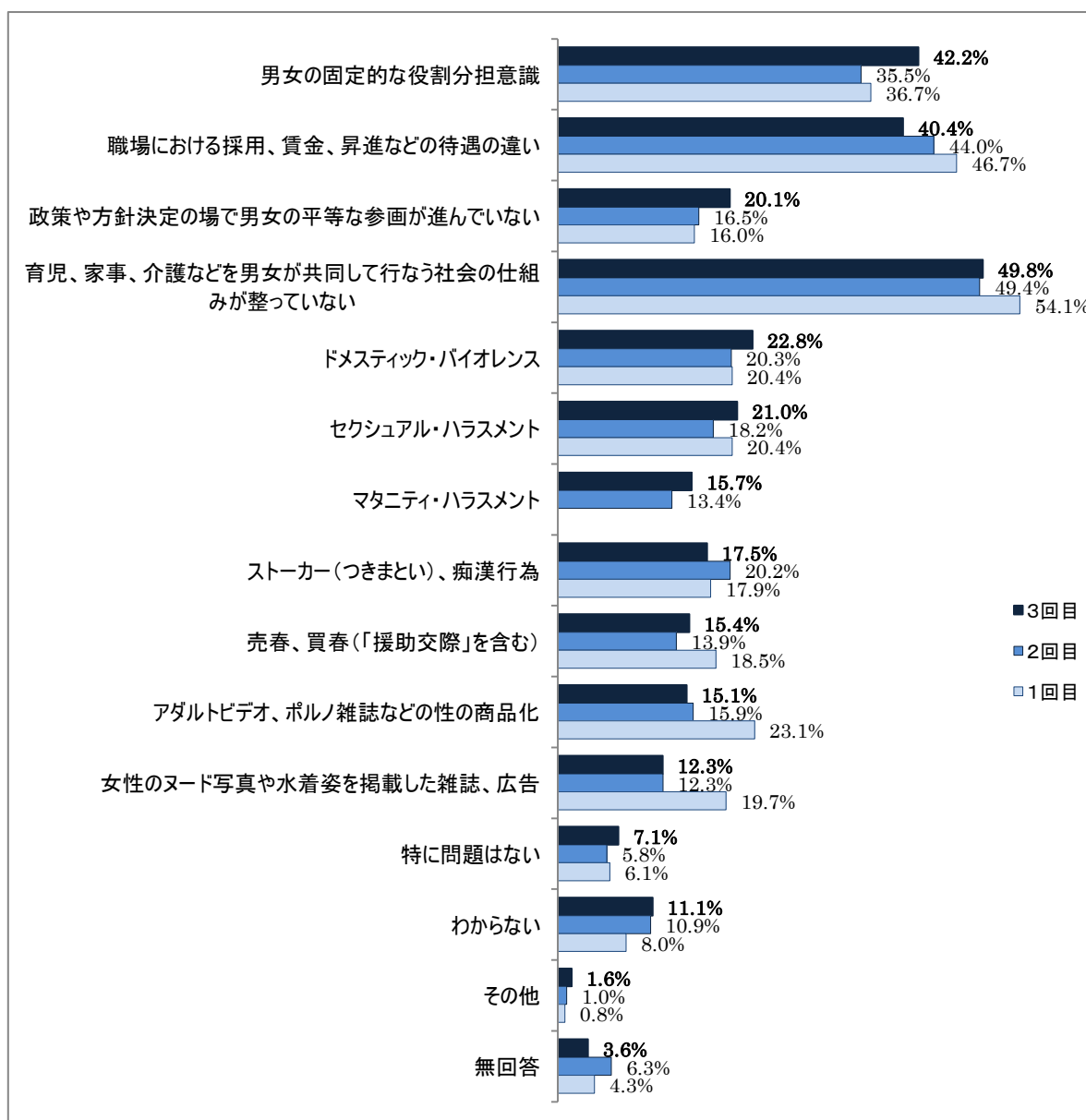
項目	全体	男性	女性	差異
男女平等が実現していると思う	28.0%	32.4%	24.7%	7.7ポイント
ほぼ男女平等だと思う				
女性やや不利益だと思う	34.4%	28.8%	38.9%	10.1ポイント
女性に不利益だと思う				

- （問24・P58）女性の問題に関心がある人（全体の17.9%）が「女性に不利益だと思う」傾向が高くなる

「女性にやや不利益だと思う」＋「女性に不利益だと思う」

項目	全体	関心がある	関心がない	差異
①家庭	43.4%	64.4%	38.8%	25.7ポイント
②職場	34.4%	47.9%	31.4%	16.5ポイント
③地域（自治会活動）	21.4%	41.3%	17.0%	24.3ポイント

問3 女性に関することで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



「育児、家事、介護などを男女が共同して行なう社会の仕組みが整っていない」(49.8%)が最も割合が高く、次いで「男女の固定的な役割分担意識」(42.2%)、「職場における採用、賃金、昇進などの待遇の違い」(40.4%)となっています。

前回調査と比較して、「男女の固定的な役割分担意識」が6.7ポイント増加し、上から2番目の割合となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・女性が性被害にあった時の立証の難しさ
- ・男性に「女性にだけは負けたくない」という意識があること
- ・男女に関係なく1人の人間としてそれぞれ尊重することが大事 等

- 割合の高かった2つの項目について、年代別・性別で回答傾向に違いがみられる
 [項目] 育児、家事、介護などを男女が共同して行なう社会の仕組みが整っていない
 <年代別> (最も割合の高い30歳代と低い70歳以上の差は20.5ポイント)

全体①	30歳代	18歳~20歳代	40歳代	60歳代	50歳代	70歳以上
49.8%	60.8%	54.8%	54.2%	54.3%	52.2%	40.3%

<性別>

全体①	男性	女性	差異
49.8%	44.7%	54.2%	9.5ポイント

[項目] 男女の固定的な役割分担意識

<年代別> (最も割合の高い30歳代と低い70歳以上の差は28.2ポイント)

全体②	30歳代	18歳~20歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
42.2%	58.8%	54.8%	51.8%	48.7%	40.2%	30.6%

<性別>

全体②	男性	女性	差
42.2%	36.9%	46.4%	9.5ポイント

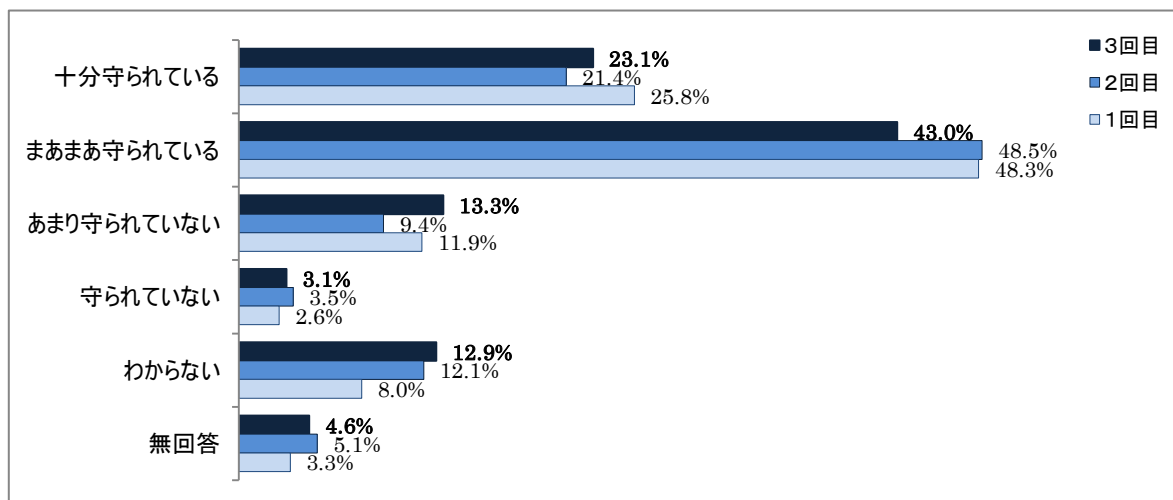
【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
男女の固定的な役割分担意識	42.2%	46.0%
職場における採用、賃金、昇進などの待遇の違い	40.4%	41.2%
政策や方針決定の場で男女の平等な参画が進んでいない	20.1%	-
育児、家事、介護などを男女が共同して行なう社会の仕組みが整っていない	49.8%	48.4%
痴漢行為、強制わいせつ等や強制性交等などの性犯罪	-	36.8%
ドメスティック・バイオレンス	22.8%	34.2%
セクシュアル・ハラスメント	21.0%	29.2%
マタニティ・ハラスメント	15.7%	-
ストーカー（つきまとい）、痴漢行為	17.5%	-
女性に対するストーカー行為等	-	25.3%
売春、買春（「援助交際」を含む）	15.4%	19.5%
アダルトビデオ、ポルノ雑誌などの性の商品化	15.1%	-
アダルトビデオやアダルト動画等への出演強要	-	16.5%
女性のヌード写真や水着姿を掲載した雑誌、広告	12.3%	16.7%
女性だけに用いられる言葉が使われる	-	7.0%
特に問題はない	7.1%	8.1%
わからない	11.1%	6.0%
その他	1.6%	1.3%
無回答	3.6%	3.8%

3. 子どもに関する人権問題について

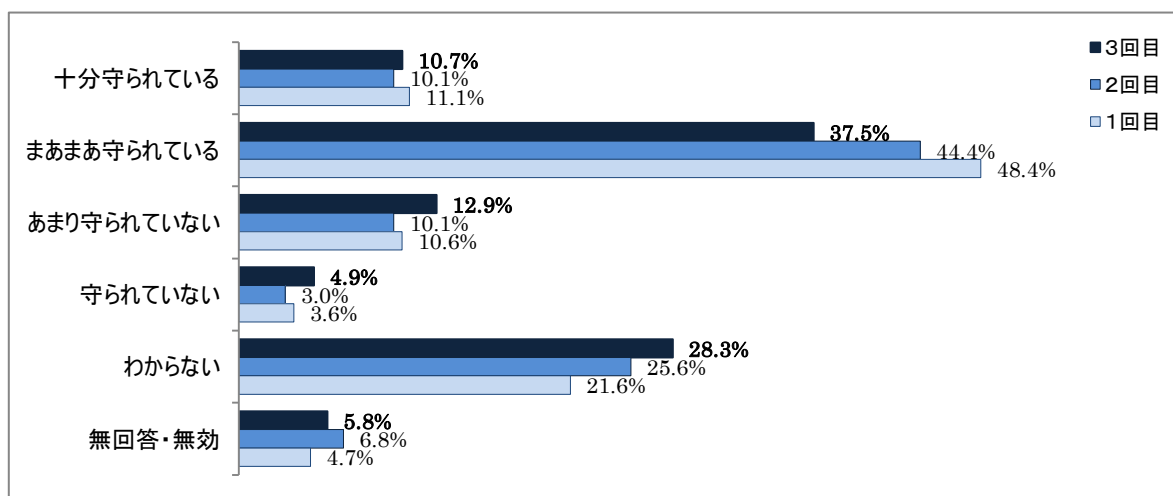
問4 あなたから見て、今、子どもの人権が守られていると思いますか。

①【家庭の中では、どうだと思いますか。】（○は1つ）



「十分に守られている」(23.1%)と「まあまあ守られている」(43.0%)をあわせると、66.1%の人が「子どもの人権は守られている」と考えています。一方、「守られていない」(3.1%)と「あまり守られていない」(13.3%)をあわせると、16.4%の人が「子どもの人権は守られていない」と考えています。

②【学校の中では、どうだと思いますか。】（○は1つ）



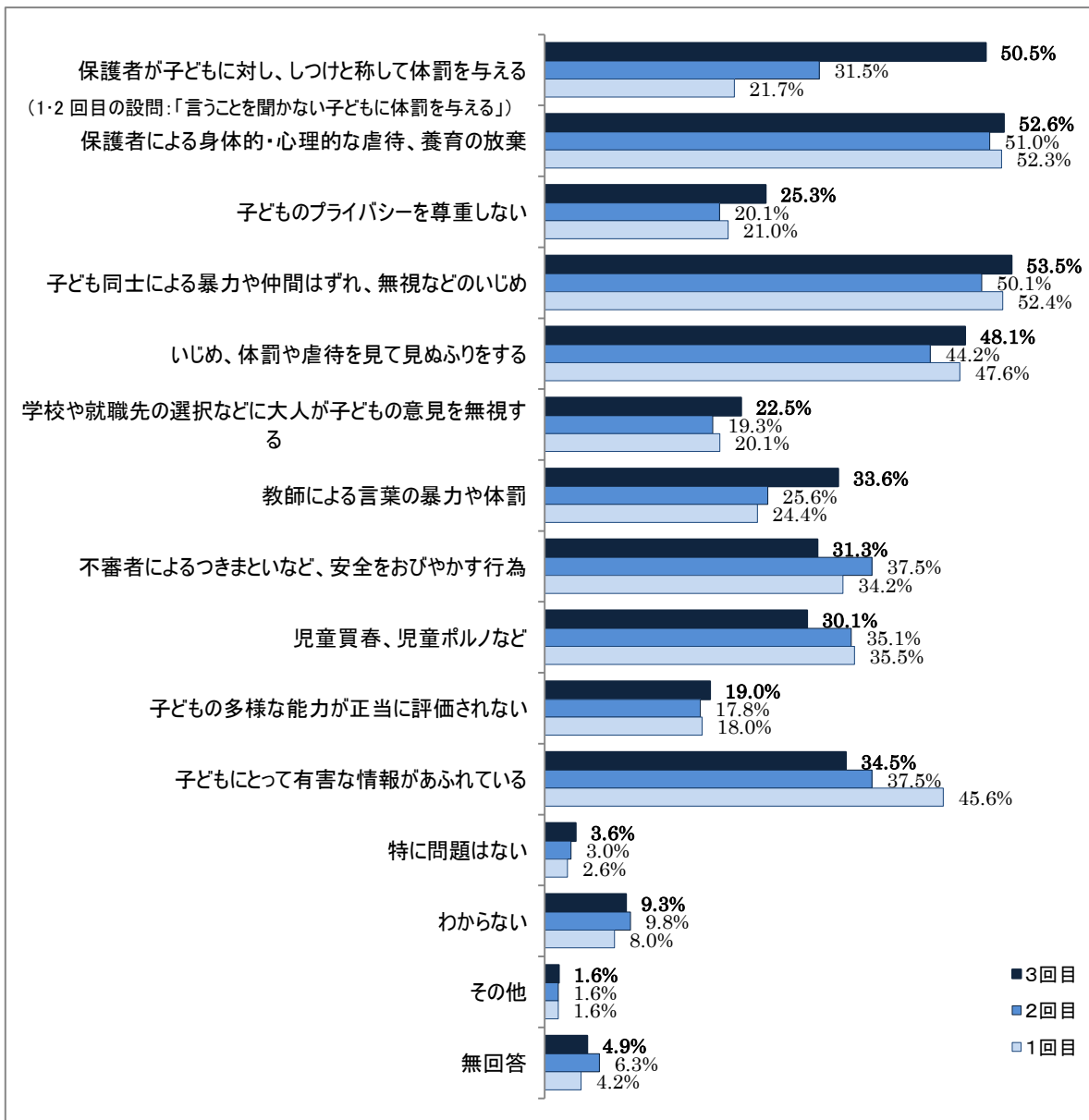
「十分に守られている」(10.7%)と「まあまあ守られている」(37.5%)をあわせると、48.2%の人が「子どもの人権は守られている」と考えおり、前回調査と比較すると、6.3ポイント減少しています。一方、「守られていない」(4.9%)と「あまり守られていない」(12.9%)をあわせると、17.8%の人が「子どもの人権は守られていない」と考えています。

- （問24・P58）子どもの人権に関心がある人（全体の57.0%）が「子どもの人権が守られていない」と思う傾向が高くなる

「あまり守られていない」＋「守られていない」

項目	全体	関心がある	関心がない	差異
①家庭	16.4%	21.0%	10.3%	10.7ポイント
②学校	17.8%	23.6%	10.0%	13.6ポイント

**問5 子どもに関することで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)**



「子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ」(53.5%)が最も割合が高く、次いで「保護者が身体的、心理的に虐待する、または養育を放棄する」(52.6%)、「保護者が子どもに対して、しつけと称して体罰を与える」(50.5%)となっており、以上の項目の割合が5割を超えています。特に、「保護者が子どもに対して、しつけと称して体罰を与える」は、前回調査と比較して19.0ポイント増加しています。

「その他」の意見の主な内容

- ・学校での問題 (成績等のランク、問題があった時の対応 等)
- ・子どもに対して愛情がない人や子どものことを信じない人が多い
- ・大人が責任から逃れる姿勢 等

- （問24・P58）子どもの人権に関心がある人（全体の57.0%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

〔項目〕子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ

全体①	関心がある	関心がない	差異
53.5%	63.9%	39.7%	24.2ポイント

〔項目〕保護者が身体的、心理的に虐待する、または養育を放棄する

全体②	関心がある	関心がない	差異
52.6%	64.2%	37.2%	26.9ポイント

〔項目〕保護者が子どもに対し、しつけと称して体罰を与える

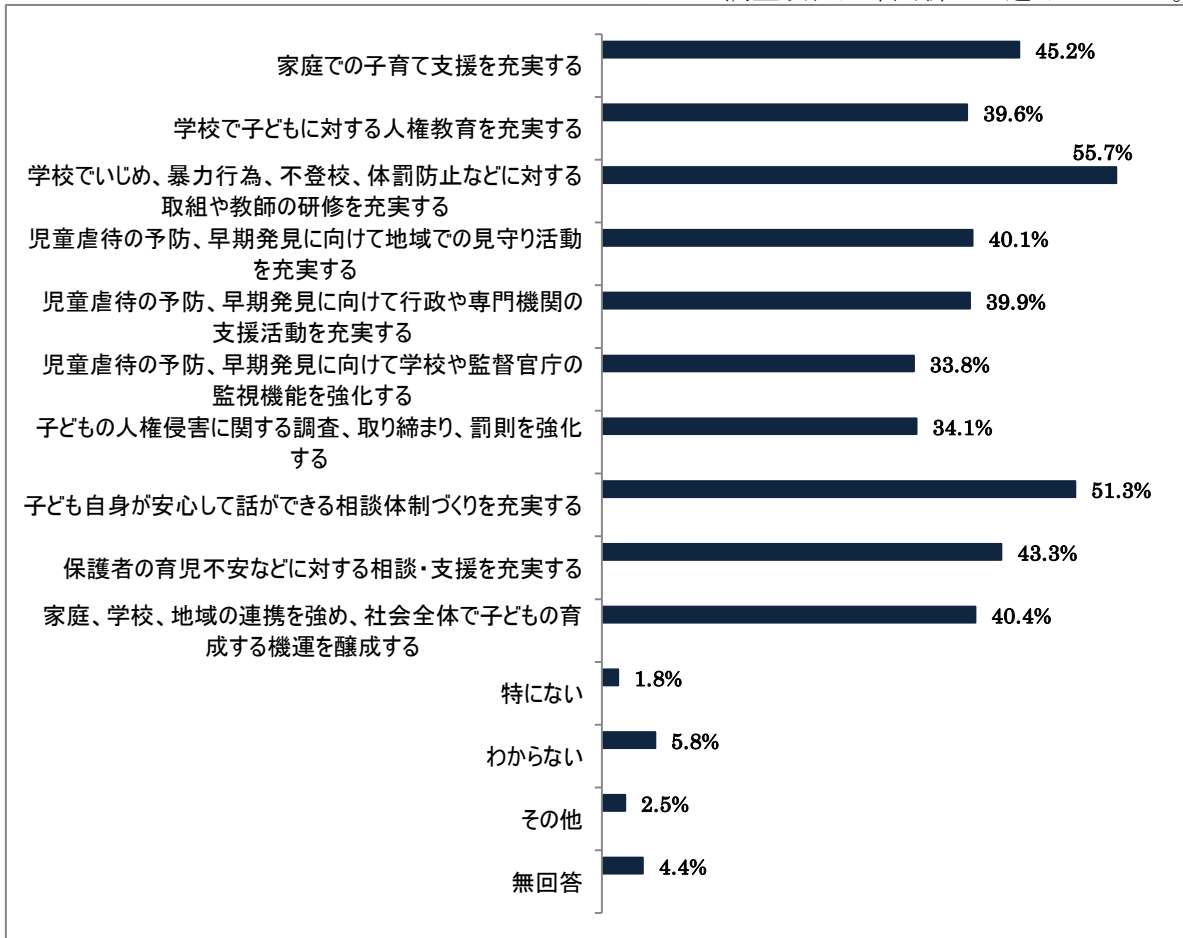
全体③	関心がある	関心がない	差異
50.5%	62.9%	34.1%	28.8ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
保護者が子どもに対し、しつけと称して体罰を与える	50.5%	47.2%
保護者が身体的、心理的に虐待する、または養育を放棄する	52.6%	69.8%
「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しない	25.3%	-
子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ	53.5%	62.8%
いじめをしている人や、いじめられている人、体罰や虐待を見て見ぬふりをする	48.1%	57.3%
学校や就職先の選択などについて、大人が子どもの意見を無視する	22.5%	-
大人が子どもの意見を尊重しない	-	30.3%
教師による言葉の暴力や体罰	33.6%	36.7%
不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	31.3%	-
児童買春、児童ポルノなど	30.1%	37.6%
子どもの多様な能力が正当に評価されない	19.0%	20.3%
子どもにとって有害な情報（暴力や性など）があふれている	34.5%	33.8%
特に問題はない	3.6%	4.3%
わからない	9.3%	3.8%
その他	1.6%	1.4%
無回答	4.9%	2.3%

問6 子どもを差別や虐待から守り、人権が尊重されるためには、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

※この調査項目は今回新たに追加しました。



「学校でいじめ、暴力行為、不登校、体罰防止などに対する取組や教師の研修を充実する」(55.7%)が最も割合が高く、次いで「子ども自身が安心して話ができる相談体制づくりを充実する」(51.3%)、「家庭での子育て支援を充実する」(45.2%)となっており、上位2つの項目が5割を超えています。

「その他」の意見の主な内容

- ・地域の大人や保護者のモラル向上（親の意識を高める）
- ・いじめをする側（子ども、保護者）への対策
- ・SNSの使い方
- ・子どもの人権をもっと尊重して、過保護にしない 等

- （問24・P58）子どもの人権に関心がある人（全体の57.0%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] 学校でいじめ、暴力行為、不登校、体罰防止などに対する取組や教師の研修を充実する

全体①	関心がある	関心がない	差異
55.7%	64.2%	44.5%	19.7ポイント

[項目] 子ども自身が安心して話ができる相談体制づくりを充実する

全体②	関心がある	関心がない	差異
51.3%	58.4%	41.7%	16.7ポイント

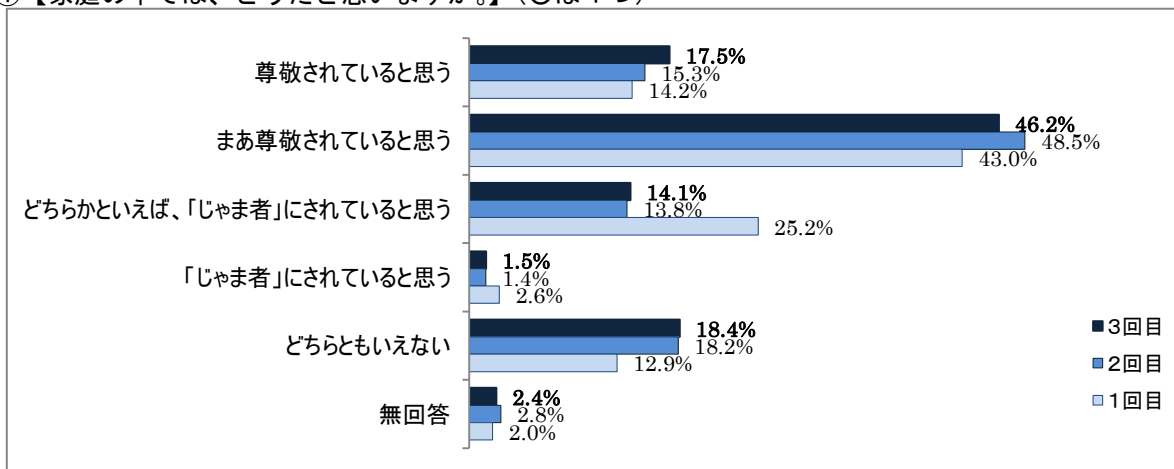
[項目] 家庭での子育て支援を充実する

全体③	関心がある	関心がない	差異
45.2%	53.5%	34.1%	19.4ポイント

4. 高齢者に関する人権問題について

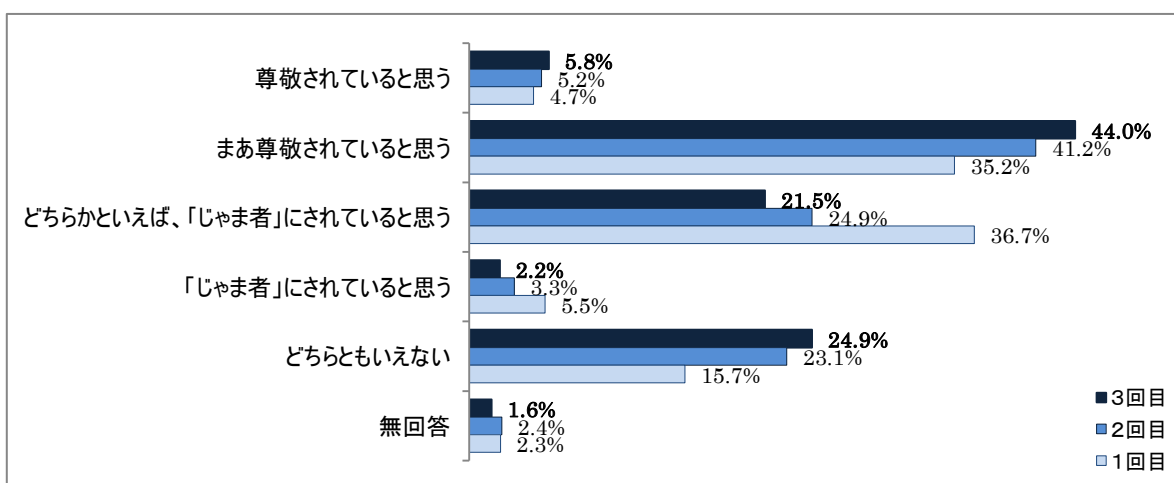
問7 あなたから見て、今の社会で高齢者がおかれている状況をどう感じていますか。

①【家庭の中では、どうだと思いますか。】（○は1つ）



「尊敬されていると思う」(17.5%)と「まあ尊敬されていると思う」(46.2%)をあわせると、63.7%の人が「高齢者は家庭の中で尊敬されている」と考えています。一方、『じゃま者』にされていると思う(1.5%)と「どちらかといえば『じゃま者』にされていると思う」(14.1%)をあわせると、15.6%の人が「高齢者は家庭の中で『じゃま者』にされている」と考えています。

②【社会全体の中では、どうだと思いますか。】（○は1つ）



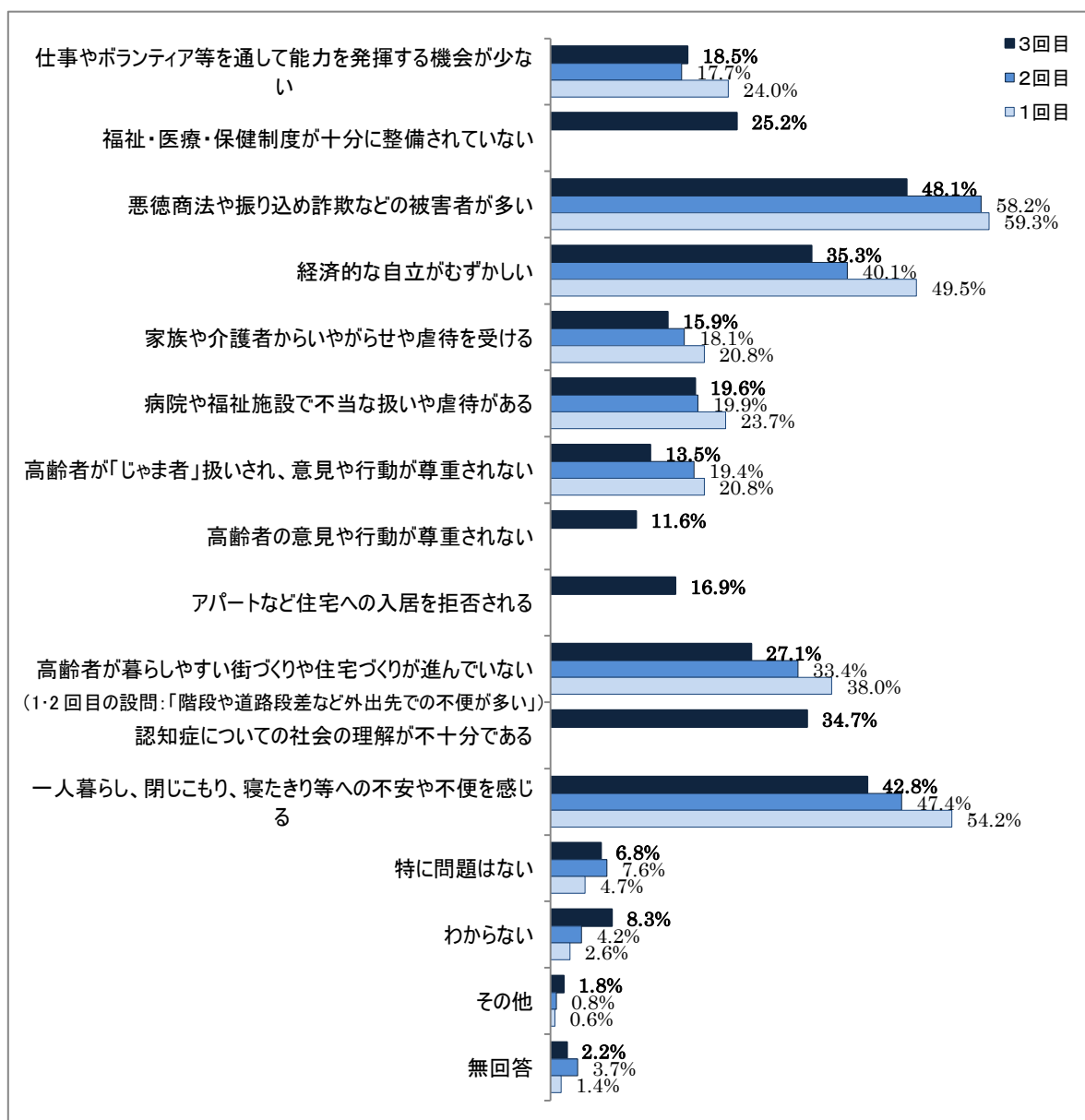
「尊敬されていると思う」(5.8%)と「まあ尊敬されていると思う」(44.0%)をあわせると、49.8%の人が「高齢者は社会全体の中で尊敬されている」と考えています。一方、『じゃま者』にされていると思う(2.2%)と「どちらかといえば『じゃま者』にされていると思う」(21.5%)をあわせると、23.7%の人が「高齢者は社会全体の中で『じゃま者』にされている」と考えています。

- （問24・P58）高齢者の人権に関心がある人（全体の28.1%）が「じゃま者にされている」と思う傾向にある

「どちらかといえば「じゃま者」にされている」＋「『じゃま者』にされている」

項目	全体	関心がある	関心がない	差異
①家庭	15.6%	22.1%	13.0%	9.1ポイント
②社会全体	23.7%	31.1%	20.8%	10.3ポイント

問8 高齢者に関することで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)



「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い」(48.1%)が最も割合が高く、次いで「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安や不便を感じる」(42.8%)、「経済的な自立がむずかしい」(35.3%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・同居をしたいが、若者が仕事で忙しすぎて同居できない
- ・サポートする側の知識不足
- ・交通機関、移動手段の問題（買い物、通院が不便など）
- ・仲間づくりが苦手な人がいる 等

- (問24・P58) 高齢者の人権に関心がある人(全体の28.1%)とそうでない人の回答傾向(割合の高かった上位3項目)

[項目] 悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い

全体①	関心がある	関心がない	差異
48.1%	54.2%	45.8%	8.4ポイント

〔項目〕 高齢者が一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安や不便を感じること

全体②	関心がある	関心がない	差異
42.8%	57.4%	37.1%	20.3ポイント

〔項目〕 経済的な自立がむずかしい

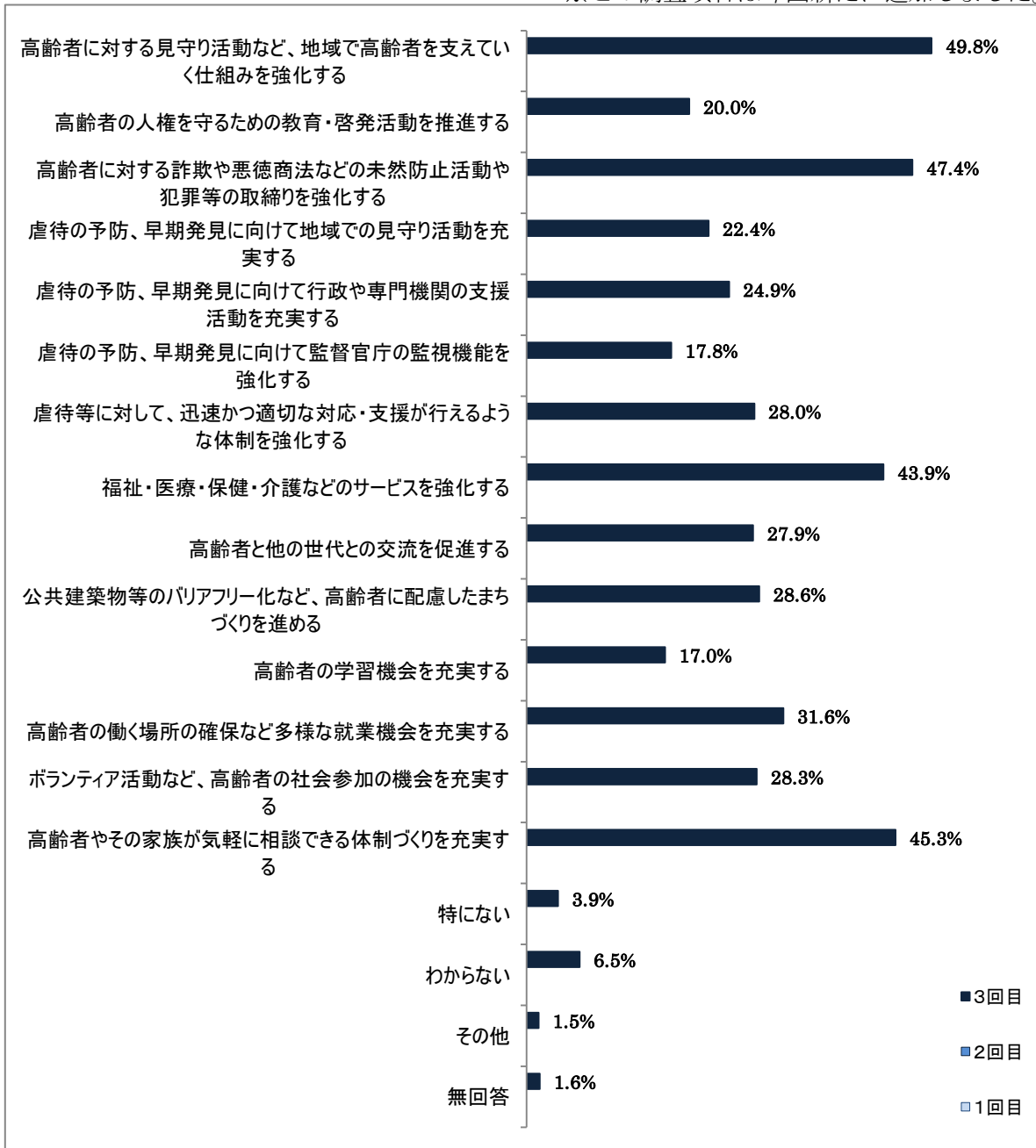
全体③	関心がある	関心がない	差異
35.3%	44.7%	31.5%	13.2ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
仕事やボランティア等を通して自分の能力を発揮する機会が少ない	18.5%	-
高齢者が働く場所や働く機会が少ない	-	36.6%
福祉・医療・保健制度が十分に整備されていない	25.2%	29.4%
悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い	48.1%	52.0%
経済的な自立がむずかしい	35.3%	35.0%
家族や介護者からいやがらせや虐待を受ける	15.9%	25.3%
病院や福祉施設で不当な扱いや虐待がある	19.6%	30.3%
高齢者が「じゃま者」扱いされ、意見や行動が尊重されない	13.5%	21.5%
高齢者の意見や行動が尊重されない	11.6%	15.1%
アパートなど住宅への入居を拒否される	16.9%	19.1%
道路の段差解消やエレベーターの設置など、その他高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいない	27.1%	30.1%
認知症についての社会の理解が不十分である	34.7%	35.4%
高齢者が一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安や不便を感じること	42.8%	-
特に問題はない	6.8%	6.2%
わからない	8.3%	4.2%
その他	1.8%	1.0%
無回答	2.2%	1.9%

問9 高齢者を差別や虐待から守り、高齢者の人権が尊重されるためには、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

※この調査項目は今回新たに追加しました。



「高齢者に対する見守り活動など、地域で高齢者を支えていく仕組みを強化する」(49.8%)が最も割合が高く、次いで「高齢者に対する詐欺や悪徳商法などの未然防止活動や犯罪等の取締りを強化する」(47.4%)、「高齢者やその家族が気軽に相談できる体制づくりを充実する」(45.3%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・ 高齢者が不安なく暮らせる住宅、団地づくり
- ・ 高齢者に関わる人を増やす機関をつくる
- ・ まず医療従事者の人員を確保すべき 等

- (問24・P58) 高齢者の人権に関心がある人(全体の28.1%)とそうでない人の回答傾向(割合の高かった上位3項目)

[項目] 高齢者に対する見守り活動など、地域で高齢者を支えていく仕組みを強化する

全体①	関心がある	関心がない	差異
49.8%	67.4%	42.9%	24.5ポイント

[項目] 高齢者に対する詐欺や悪徳商法などの未然防止活動や犯罪等の取締りを強化する

全体②	関心がある	関心がない	差異
47.4%	56.8%	43.7%	13.1ポイント

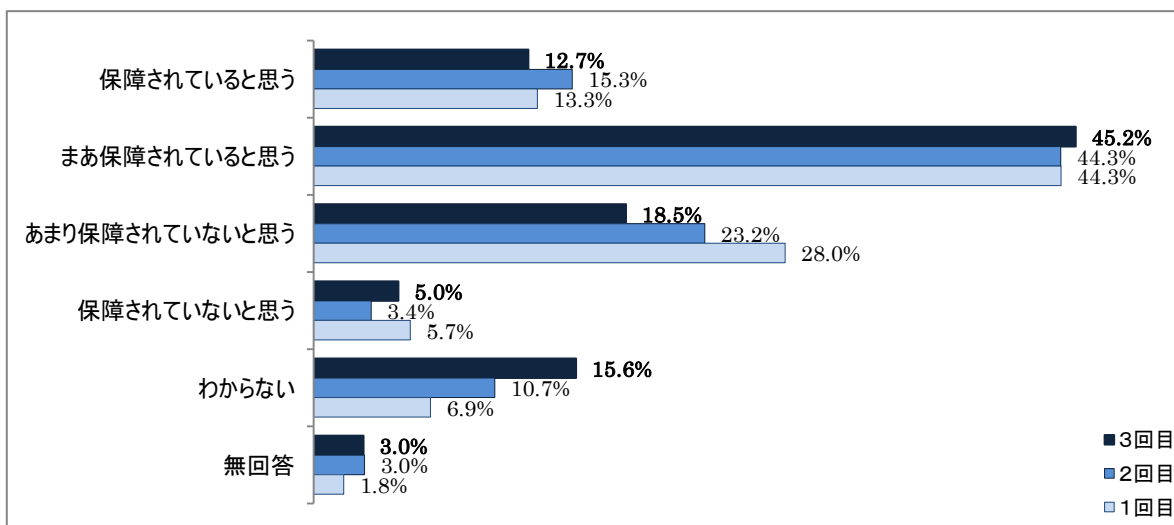
[項目] 高齢者やその家族が気軽に相談できる体制づくりを充実する

全体③	関心がある	関心がない	差異
45.3%	59.5%	39.8%	19.7ポイント

5. 障がいのある人に関する人権問題について

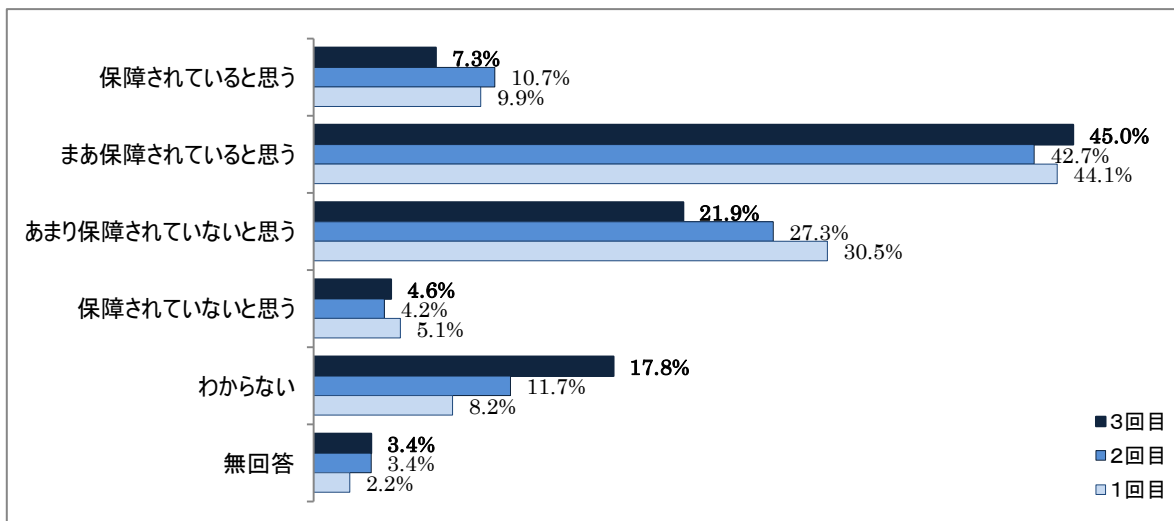
問10 あなたから見て、今の社会で障がいのある人がおかれている状況について、人権が保障されていると思いますか。

①【法律や制度の上では、どうだと思いますか。】（○は1つ）



「保障されていると思う」（12.7%）と「まあ保障されていると思う」（45.2%）をあわせると、57.9%の人が「障がいのある人の人権が保障されている」と考えています。一方、「保障されていないと思う」（5.0%）と「あまり保障されていないと思う」（18.5%）をあわせると、23.5%の人が「障がいのある人の人権が保障されていない」と考えています。

②【日常生活の上では、どうだと思いますか。】（○は1つ）



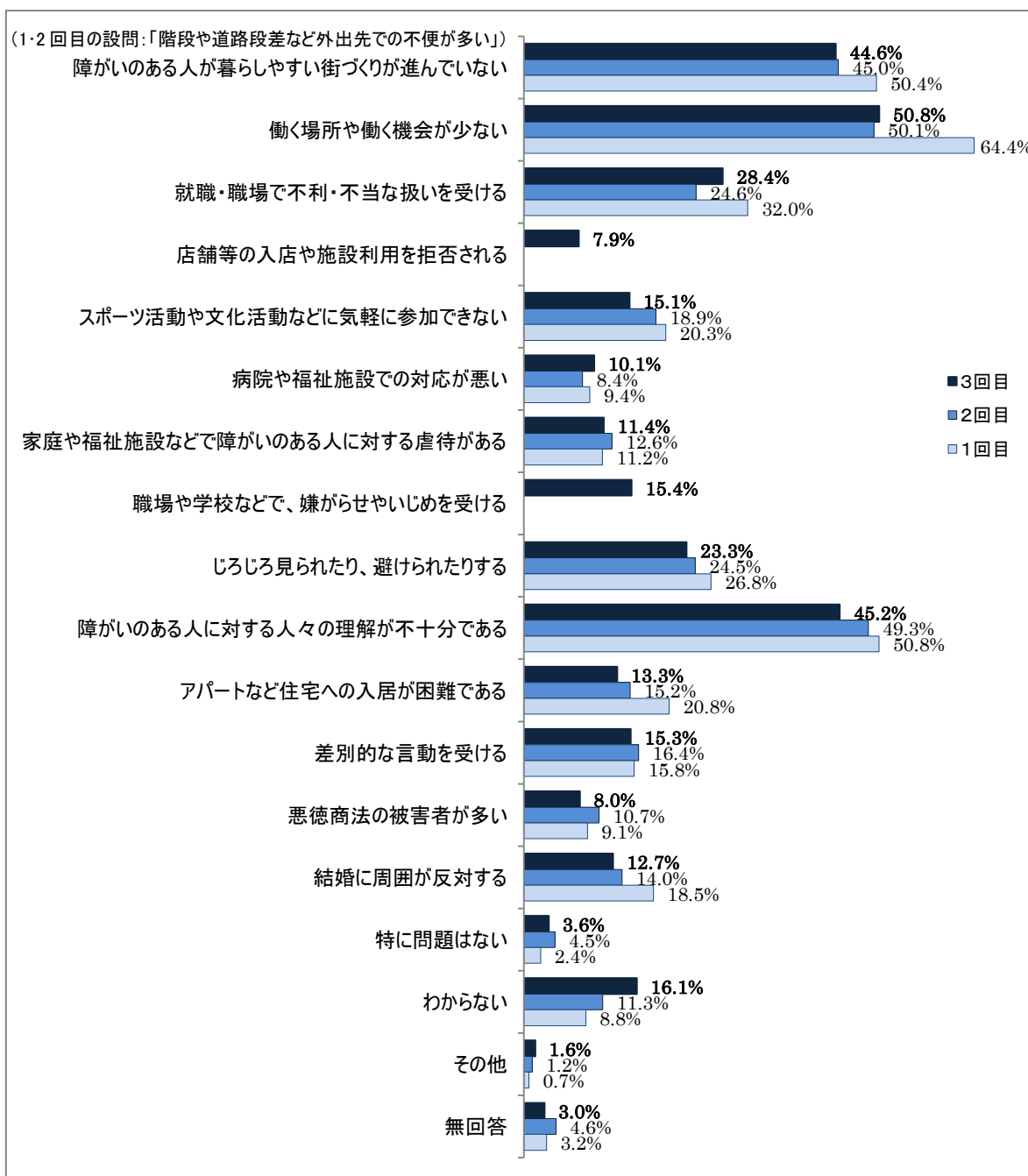
「保障されていると思う」（7.3%）と「まあ保障されていると思う」（45.0%）をあわせると、52.3%の人が「障がいのある人の人権が保障されている」と考えています。一方、「保障されていないと思う」（4.6%）と「あまり保障されていないと思う」（21.9%）をあわせると、26.5%の人が「障がいのある人の人権が保障されていない」と考えています。

- （問24・P58）障がいのある人の人権に関心がある人（全体の28.6%）が「障がいのある人の人権が保障されていない」と思う傾向にある

「保障されていない」＋「あまり保障されていない」

項目	全体	関心がある	関心がない	差異
①法律や制度の上	23.5%	36.3%	18.5%	17.8ポイント
②日常生活	26.5%	37.3%	22.2%	15.1ポイント

問11. 障がいのある人に関することで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



「働く場所や働く機会が少ない」(50.8%)が最も割合が高く、次いで「障がいのある人に対する人々の理解が不十分である」(45.2%)、「道路の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい街づくりが進んでいない」(44.6%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・バス、乗り物に配慮がない
- ・障がい者用の駐車場が少ない
- ・重度障がいのある子どもを一定期間預かるような施設が少ない
- ・障がいのある人に限らず、人権上問題があるような態度をとる人や環境、社会の仕組みに問題がある 等

- （問24・P58）障がいのある人の人権に関心がある人（全体の28.6%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

〔項目〕働く場所や働く機会が少ない

全体①	関心がある	関心がない	差異
50.8%	74.6%	41.3%	33.3ポイント

〔項目〕障がいのある人に対する人々の理解が不十分である

全体②	関心がある	関心がない	差異
45.2%	64.2%	37.6%	26.7ポイント

〔項目〕道路の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい街づくりが進んでいない

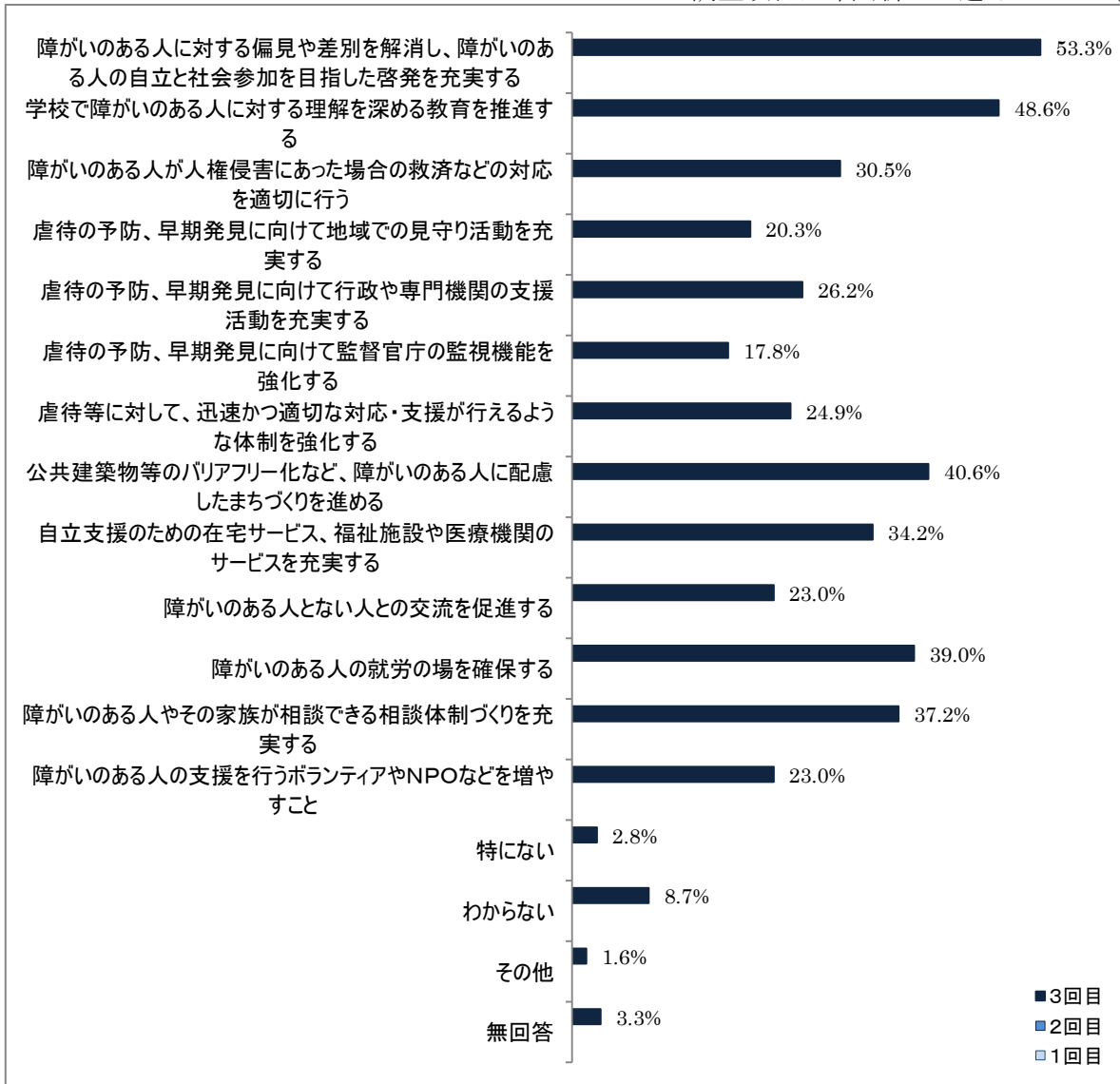
全体③	関心がある	関心がない	差異
44.6%	58.5%	39.0%	19.5ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
道路の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい街づくりが進んでいない	44.6%	50.2%
働く場所や働く機会が少ない	50.8%	51.2%
就職・職場で不利・不当な扱いを受ける	28.4%	38.9%
店舗等の入店や施設利用を拒否される	7.9%	17.5%
スポーツ活動や文化活動などに気軽に参加できない	15.1%	17.9%
病院や福祉施設での対応が悪い	10.1%	-
家庭や福祉施設などで障がいのある人に対する虐待がある	11.4%	22.2%
職場や学校などで、嫌がらせやいじめを受ける	15.4%	27.4%
じろじろ見られたり、避けられたりする	23.3%	29.8%
障がいのある人に対する人々の理解が不十分である	45.2%	46.9%
アパートなど住宅への入居が困難である	13.3%	16.7%
差別的な言動を受ける	15.3%	24.2%
悪徳商法の被害者が多い	8.0%	12.7%
結婚に周囲が反対する	12.7%	17.6%
特に問題はない	3.6%	6.1%
わからない	16.1%	8.8%
その他	1.6%	0.7%
無回答	3.0%	3.0%

問12 障がいのある人を差別や虐待から守り、障がいのある人の人権が尊重されるためには、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

※この調査項目は今回新たに追加しました。



「障がいのある人に対する偏見や差別を解消し、障がいのある人の自立と社会参加を目指した啓発を充実する」(53.3%)が最も割合が高く、次いで「学校で障がいのある人に対する理解を深める教育を推進する」(48.6%)、「公共建築物等のバリアフリー化など、障がいのある人に配慮したまちづくりを進める」(40.6%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・障がいのある、なしに関わらず相手を尊重する気持ちを養う
- ・障がいのある人とそうでない人が同じ空間で小さい頃から育ちあえる環境が必要
- ・身体障がい、知的障がい、一人ひとり違うので皆が理解する必要がある
- ・就労の場だけでなく報酬の面でも差別されないようにする 等

- (問24・P58) 障がいのある人の人権に関心がある人(全体の28.6%)とそうでない人の回答傾向(割合の高かった上位3項目)

[項目] 障がいのある人に対する偏見や差別を解消し、障がいのある人の自立と社会参加を目指した啓発を充実する

全体①	関心がある	関心がない	差異
53.3%	70.5%	46.5%	24.0ポイント

[項目] 学校で障がいのある人に対する理解を深める教育を推進する

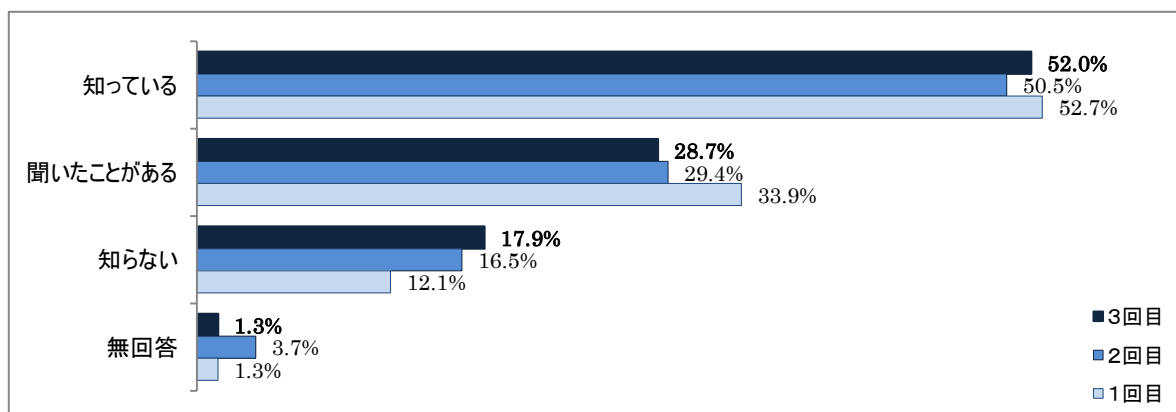
全体②	関心がある	関心がない	差異
48.6%	69.4%	40.2%	29.2ポイント

[項目] 公共建築物等のバリアフリー化など、障がいのある人に配慮したまちづくりを進める

全体③	関心がある	関心がない	差異
40.6%	56.5%	34.2%	22.3ポイント

6. 同和問題（部落差別）について

問13 あなたは、「同和問題」や「部落差別」などと言われる人権問題があることを知っていますか。（〇は1つ）

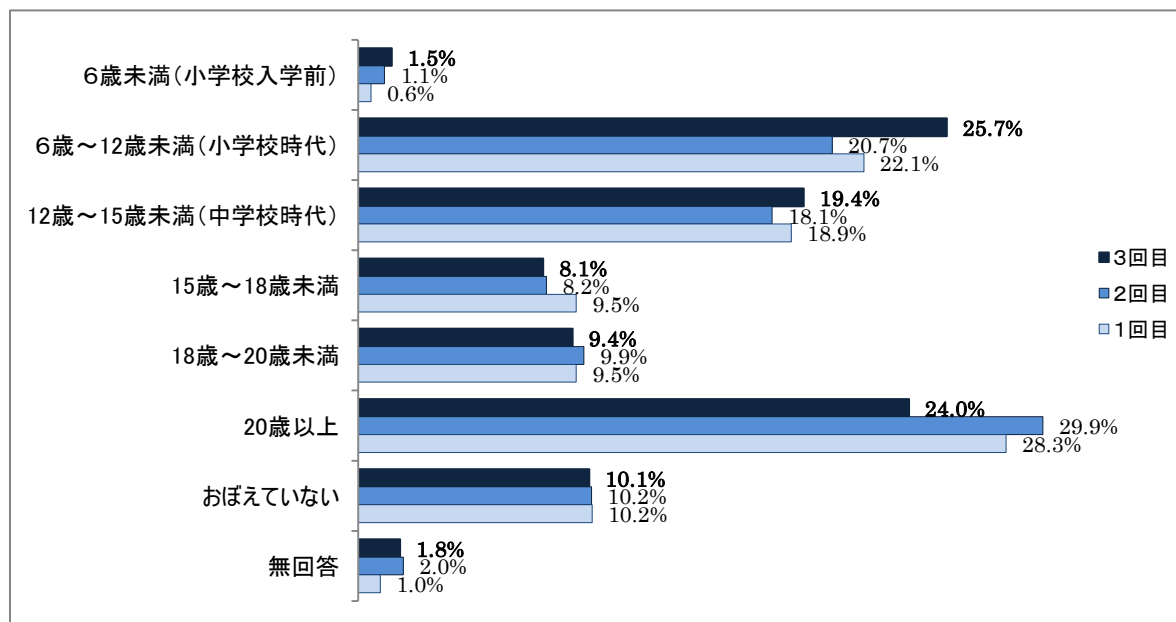


「知っている」(52.0%)と「聞いたことがある」(28.7%)をあわせて、同和問題（部落差別）について何らかの形で知っている人は、80.7%となっています。一方、「知らない」は17.9%となっています。

● 年代別の回答傾向（「知っている」と「聞いたことがある」をあわせた割合）

全体	30歳代	50歳代	40歳代	70歳以上	60歳代	18歳～20歳代
80.7%	86.3%	86.1%	83.1%	80.1	78.7	69.8%

問13-1 問13で「1. 知っている」「2. 聞いたことがある」と回答された方におたずねします。同和問題について、はじめて知ったのはいつ頃ですか。（〇は1つ）



「6歳～12歳未満（小学校時代）」(25.7%)が最も割合が高く、次いで「20歳以上」(24.0%)、「12歳～15歳未満（中学校時代）」(19.4%)となっています。

- はじめて知った時期については、年代別で異なる回答傾向がみられる

[項目] 6歳～12歳未満（小学校時代）

全体①	40歳代	30歳代	18歳～20歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
25.7%	58.0%	54.5%	43.3%	26.3%	13.2%	11.6%

[項目] 12歳～15歳未満（中学校時代）

全体③	18歳～20歳代	50歳代	70歳以上	30歳代	60歳代	40歳代
19.4%	33.3%	23.2%	20.8%	15.9%	14.7%	14.5%

[項目] 15歳～18歳未満

全体⑥	60歳代	18歳～20歳代	50歳代	70歳以上	40歳代	30歳代
8.1%	12.4%	10.0%	9.1%	8.1%	2.9%	0.0%

[項目] 18歳～20歳未満

全体⑤	70歳以上	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	18歳～20歳代
9.4%	13.3%	10.9%	8.1%	5.8%	4.5%	0.0%

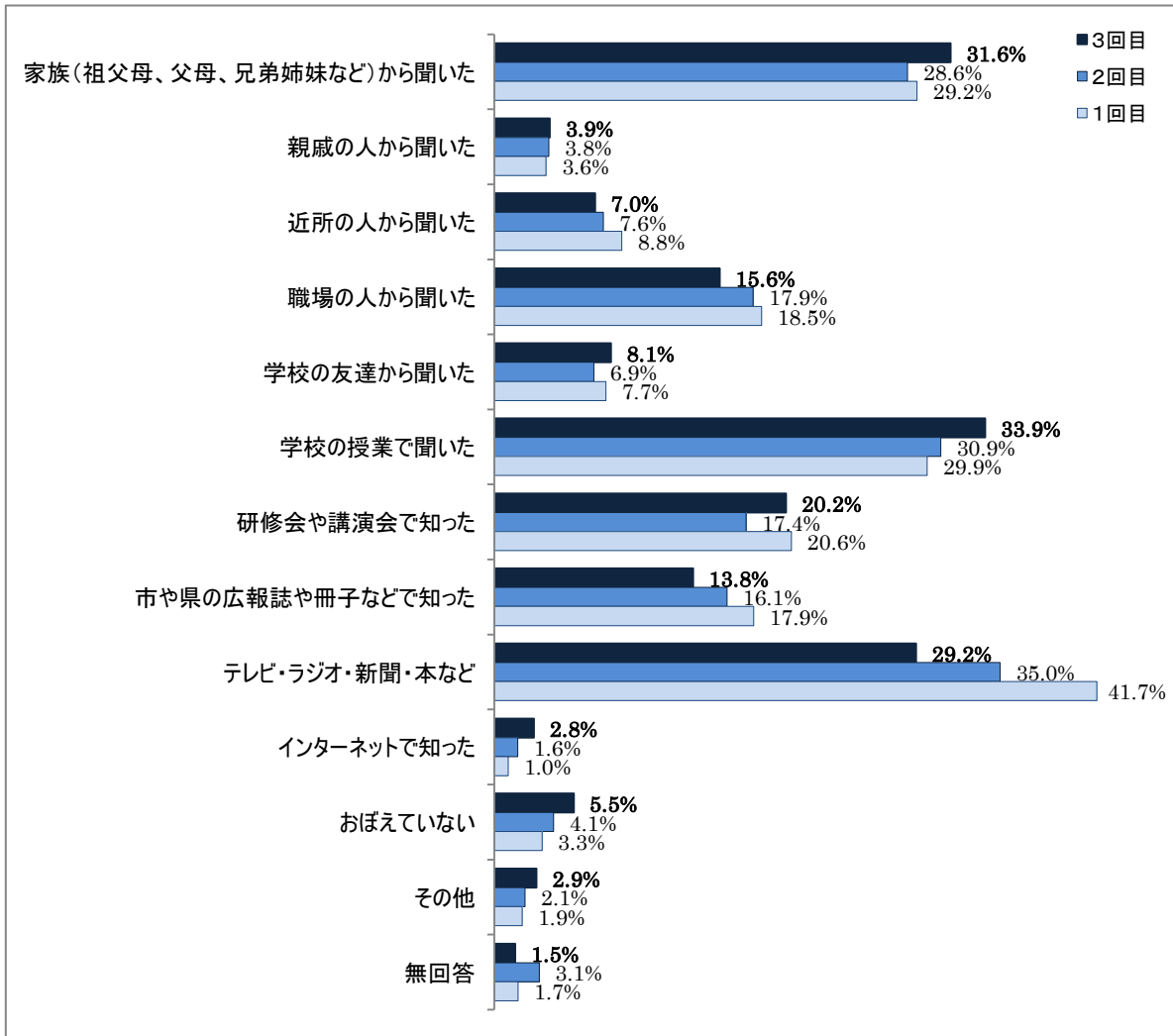
[項目] 20歳以上

全体②	70歳以上	60歳代	50歳代	30歳代	40歳代	18歳～20歳代
24.0%	33.5%	31.8%	23.2%	9.1%	7.2%	0.0%

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	項目	県の調査
6歳未満（小学校入学前）	1.5%	中学生以前	33.5%
6歳～12歳未満（小学校時代）	25.7%	高校生のとき	10.1%
12歳～15歳未満（中学校時代）	19.4%	学生の頃	7.8%
15歳～18歳未満	8.1%	社会人になってから	27.7%
18歳～20歳未満	9.4%	覚えてない	9.8%
20歳以上	24.0%	同和問題について知らない	8.9%
おぼえていない	10.1%	答えたくない	0.4%
無回答・無効	1.8%	無回答	1.9%

問13-2 問13で「1. 知っている」「2. 聞いたことがある」と回答された方におたずねします。これまでに同和問題のことをどのようにして知る機会がありましたか。(〇はいくつでも)



「学校の授業で聞いた」(33.9%)が最も割合が高く、次いで「家族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)から聞いた」(31.6%)、「テレビ・ラジオ・新聞・本など」(29.2%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・仕事で関係があった
- ・何となく感じていた
- ・同和地区出身の友人(知人)から聞いた 等

● 年代別の回答傾向(割合の高かった上位3項目)

[項目] 学校の授業で聞いた

全体①	18歳~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
33.9%	83.3%	75.0%	69.6%	37.4%	16.3%	12.1%

[項目] 家族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)から聞いた

全体②	30歳代	70歳以上	60歳代	50歳代	40歳代	18歳~20歳代
31.6%	36.4%	35.8%	31.8%	28.3%	27.5%	20.0%

[項目] テレビ・ラジオ・新聞・本など

全体③	60歳代	70歳以上	50歳代	40歳代	30歳代	18歳~20歳代
29.2%	36.4%	32.4%	31.3%	23.2%	13.6%	6.7%

● 年代別で回答傾向に差異がみられる（年代別で割合の高かった上位3項目）

<18歳～20歳代>

- ①学校の授業で聞いた（83.3%）【全体① 33.9%】
- ②家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた（20.0%）【全体② 31.6%】
- ③インターネットで知った（16.7%）【全体⑫ 2.8%】

<30歳代>

- ①学校の授業で聞いた（75.0%）【全体① 33.9%】
- ②家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた（36.4%）【全体② 31.6%】
- ③研修会や講演会で知った（15.9%）【全体④ 20.2%】
- ③職場の人から聞いた（15.9%）【全体⑤ 15.6%】

<40歳代>

- ①学校の授業で聞いた（69.6%）【全体① 33.9%】
- ②家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた（27.5%）【全体② 31.6%】
- ③テレビ・ラジオ・新聞・本など（23.2%）【全体③ 29.2%】

<50歳代>

- ①学校の授業で聞いた（37.4%）【全体① 33.9%】
- ②テレビ・ラジオ・新聞・本など（31.3%）【全体③ 29.2%】
- ③家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた（28.3%）【全体② 31.6%】

<60歳代>

- ①テレビ・ラジオ・新聞・本など（36.4%）【全体③ 29.2%】
- ②家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた（31.8%）【全体② 31.6%】
- ③研修会や講演会で知った（25.6%）【全体④ 20.2%】

<70歳以上>

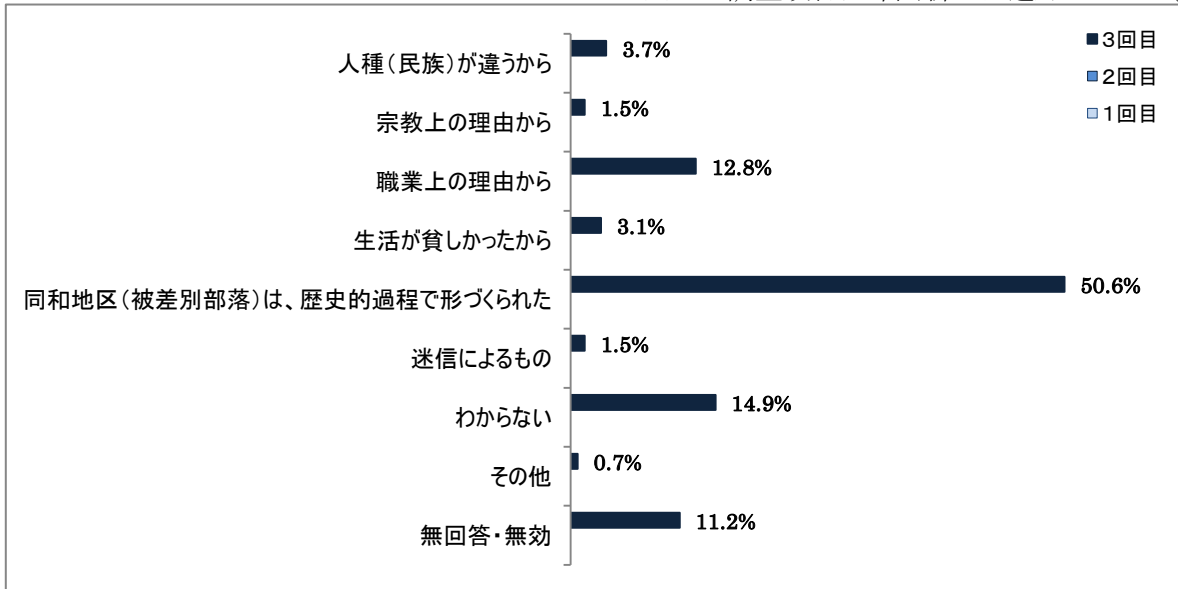
- ①家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた（35.8%）【全体② 31.6%】
- ②テレビ・ラジオ・新聞・本など（32.4%）【全体③ 29.2%】
- ③研修会や講演会で知った（24.9%）【全体④ 20.2%】

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

	今回の調査	県の調査
家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）から聞いた	31.6%	10.2%
親戚の人から聞いた	3.9%	0.9%
近所の人から聞いた	7.0%	2.7%
職場の人から聞いた	15.6%	5.9%
学校の友達から聞いた	8.1%	2.8%
学校の授業で聞いた	33.9%	23.5%
研修会や講演会で知った	20.2%	4.4%
市や県の広報誌や冊子などで知った	13.8%	2.4%
テレビ・ラジオ・新聞・本など	29.2%	13.6%
インターネットで知った	2.8%	0.3%
おぼえていない	5.5%	20.1%
同和問題について知らない	-	7.0%
その他	2.9%	1.6%
無回答	1.5%	4.7%

問13-3 問13で「1. 知っている」「2. 聞いたことがある」と回答された方におたずねします。あなたは「同和地区」（被差別部落地区）などとして、差別を受けてきた地区はどのような理由でできたとお考えですか。（〇は1つ）

※この調査項目は今回新たに追加しました。



「同和地区（被差別部落）は、歴史的過程で形づくられた」（50.6%）が最も割合が高く、次いで「わからない」（14.9%）、「職業上の理由から」（12.8%）となっています。

- （問24・P58）同和問題に関心のある人（全体の8.6%）とそうでない人に回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] 同和地区（被差別部落）は、歴史的過程で形づくられた

全体①	関心がある	関心がない	差異
50.6%	59.3%	49.7%	9.6ポイント

[項目] わからない

全体②	関心がある	関心がない	差異
14.9%	3.7%	16.1%	12.4ポイント

[項目] 職業上の理由から

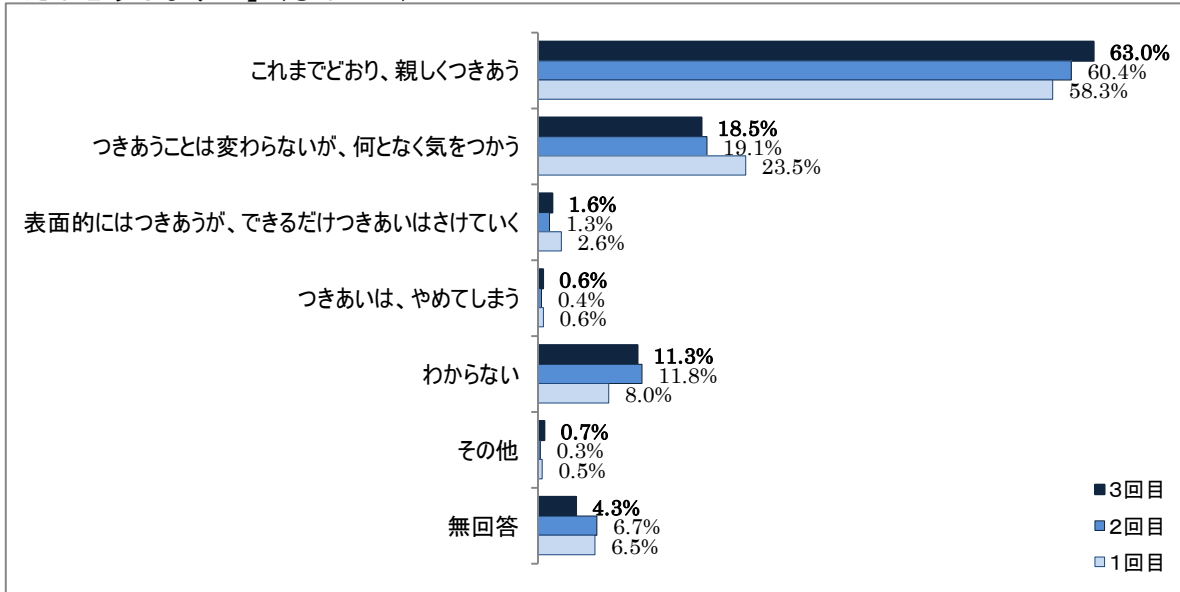
全体③	関心がある	関心がない	差異
12.8%	13.0%	12.8%	0.2ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
人種（民族）が違うから	3.7%	3.5%
宗教上の理由から	1.5%	0.7%
職業上の理由から	12.8%	6.9%
生活が貧しかったから	3.1%	4.7%
同和地区（被差別部落）は、歴史的過程で形づくられた	50.6%	50.0%
迷信によるもの	1.5%	2.6%
わからない	14.9%	28.8%
その他	0.7%	0.5%
無回答	11.2%	2.4%

問14 あなたのお考えに最も近いものはどれですか。

①【仮に、日頃から親しくつきあっている隣近所の人と同和地区出身者だとわかった場合、あなたはどのようにしますか】(○は1つ)



「これまでどおり、親しくつきあう」(63.0%)が最も割合が高く、次いで「つきあうことは変わらないが、何となく気をつかう」(18.5%)、「わからない」(11.3%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・大人の態度によって子どもが変わる部分もある
- ・別に意識する必要はない
- ・知らないので知った時に考える 等

● 年代別の回答傾向(最も割合が高かった項目)

[項目] これまでどおり親しく付き合う

全体①	18歳~20歳代	40歳代	50歳代	30歳代	60歳代	70歳以上
63.0%	74.4%	72.3%	67.8%	66.7%	61.0%	55.6%

● (問24・P58) 同和問題に関心のある人(全体の8.6%)とそうでない人の回答傾向

[項目] これまでどおり、親しくつきあう

全体①	関心がある	関心がない	差異
63.0%	65.5%	62.7%	2.8 ポイント

[項目] つきあうことは変わらないが、何となく気をつかう

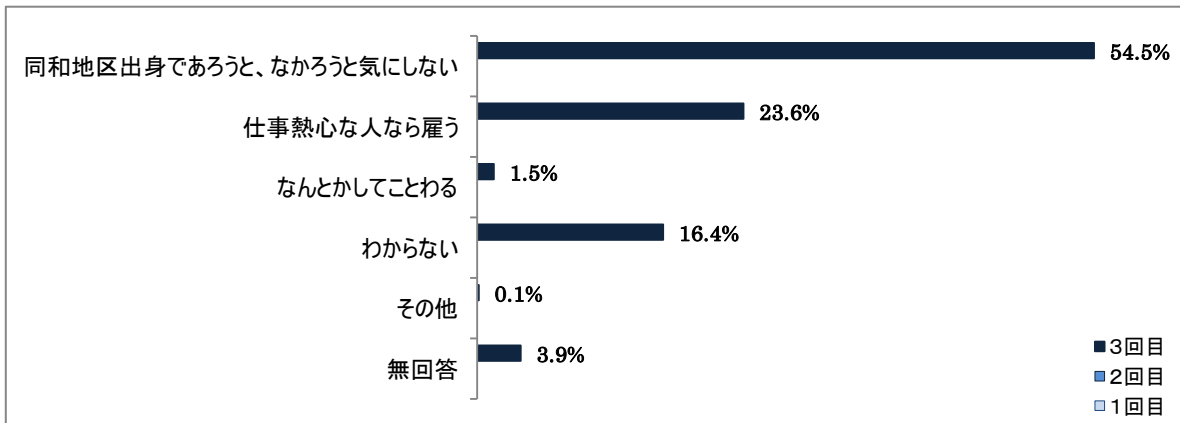
全体②	関心がある	関心がない	差異
18.5%	22.4%	18.2%	4.2 ポイント

[項目] わからない

全体③	関心がある	関心がない	差異
11.3%	1.7%	12.2%	10.5 ポイント

②【仮に、あなたが人を雇う時、その人が同和地区出身だと分かった場合、あなたは どうしますか】（○は1つ）

※この調査項目は今回新たに追加しました。



「同和地区出身であろうと、なかろうと気にしない」が54.5%と最も割合が高く、次いで「仕事熱心な人なら雇う」（23.6%）、「わからない」（16.4%）となっています。

● 年代別の回答傾向（最も割合が高かった項目）

〔項目〕 同和地区出身であろうと、なかろうと気にしない

全体①	18歳～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
54.5%	67.4%	58.8%	65.1%	67.0%	47.0%	46.8%

● （問24・P58）同和問題に関心のある人（全体の8.6%）とそうでない人の回答傾向（割合が高かった上位3項目）

〔項目〕 同和地区出身であろうと、なかろうと気にしない

全体①	関心がある	関心がない	差異
54.5%	63.8%	53.6%	10.2ポイント

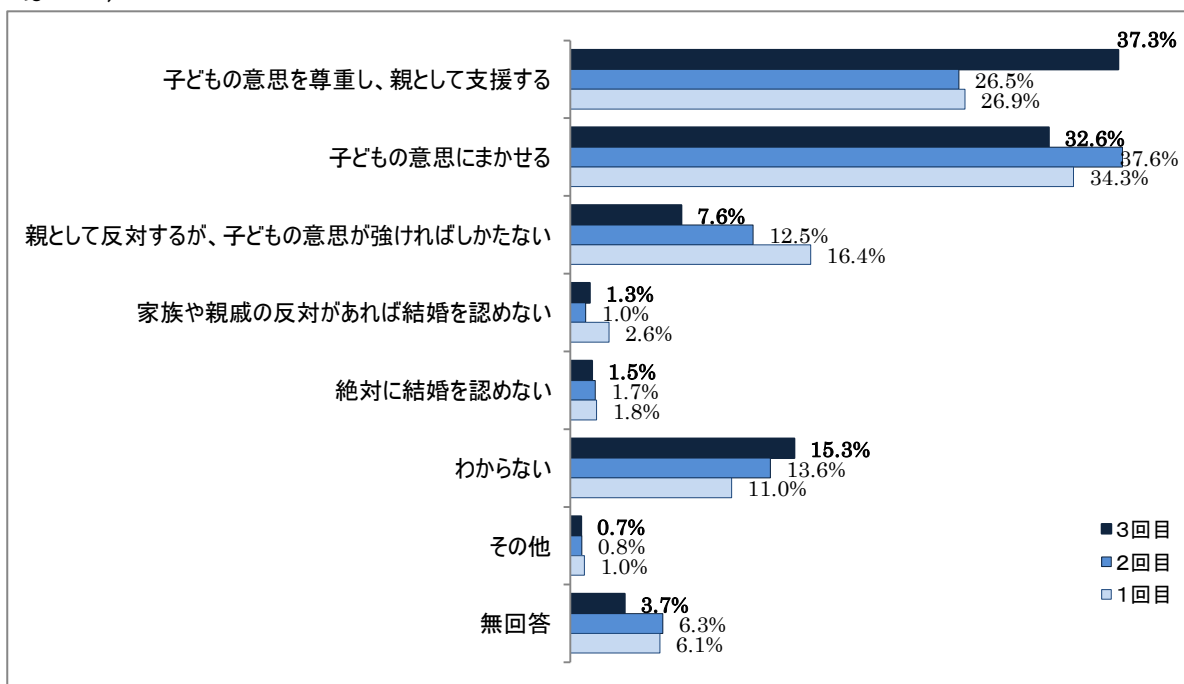
〔項目〕 仕事熱心な人なら雇う

全体②	関心がある	関心がない	差異
23.6%	25.9%	23.3%	2.6ポイント

〔項目〕 わからない

全体③	関心がある	関心がない	差異
16.4%	3.4%	17.7%	14.2ポイント

③【仮に、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合（お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください）、あなたはどうしますか】（〇は1つ）



「子どもの意思を尊重し、親として支援する」（37.3%）が最も割合が高く、前回調査よりも10.8ポイント増加しています。次いで「子どもの意思にまかせる」（32.6%）、「わからない」（15.3%）となっています。一方、「親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない」（7.6%）、「家族や親戚の反対があれば結婚を認めない」（1.3%）、「絶対に結婚を認めない」（1.5%）の結婚に反対する側の意見は、前回調査よりも相対的に減少しています。

「その他」の意見の主な内容

- ・全く気にしない
- ・親として、相手の人格を見極めたい
- ・相手が真面目な方なら気にしない 等

● 年代別の回答傾向（最も割合が高かった項目）

[項目] 子どもの意思を尊重し、親として支援する

全体①	18歳～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
37.3%	51.2%	47.1%	45.8%	43.5%	32.9%	29.6%

● （問24・P58）同和問題に関心のある人（全体の8.6%）とそうでない人の回答傾向（割合が高かった上位3項目）

[項目] 子どもの意思を尊重し、親として支援する

全体①	関心がある	関心がない	差異
37.3%	56.9%	35.5%	21.4ポイント

[項目] 子どもの意思にまかせる

全体②	関心がある	関心がない	差異
32.6%	22.4%	33.5%	11.1ポイント

[項目] わからない

全体③	関心がある	関心がない	差異
15.3%	0.0%	16.7%	16.7ポイント

- （問25・P60）講演会や研修会に何回も参加した人（全体の6.2%）と1～2回参加した人（全体の10.8%）と参加したことがない（全体の80.7%）の回答傾向

〔項目〕子どもの意思を尊重し、親として支援する

全体①	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
37.3%	57.1%	44.1%	35.4%

〔項目〕子どもの意思にまかせる

全体②	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
32.6%	35.7%	37.0%	32.7%

〔項目〕わからない

全体③	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
15.3%	0.0%	8.2%	26.7%

〔項目〕親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない

全体④	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
7.6%	0.0%	6.8%	6.7%

〔項目〕絶対に結婚を認めない

全体⑤	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
1.5%	0.0%	2.7%	1.5%

〔項目〕家族や親戚の反対があれば結婚を認めない

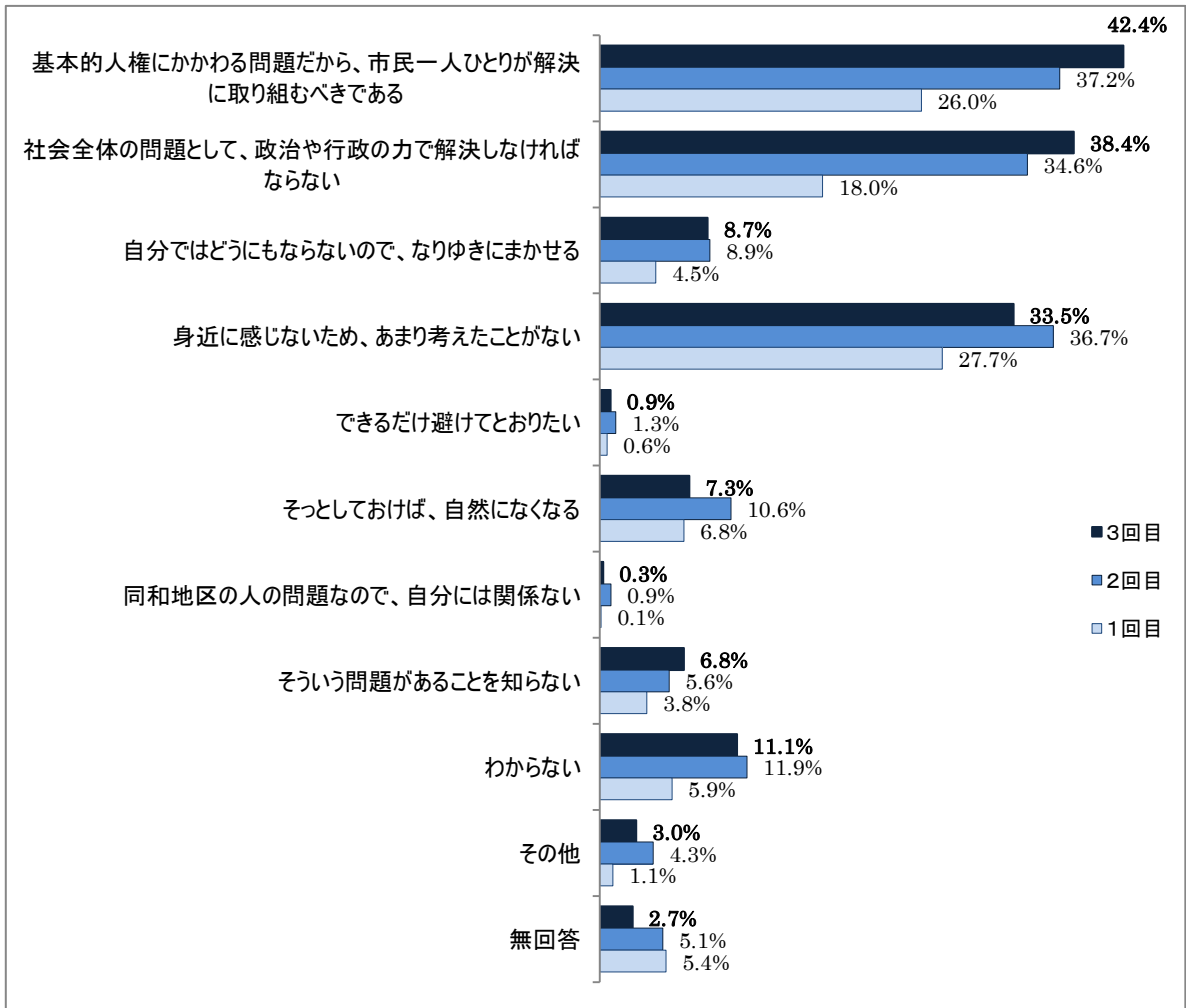
全体⑥	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
1.3%	0.0%	2.7%	1.1%

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
子どもの意思を尊重し、親として支援する	37.3%	30.8%
子どもの意思にまかせる	32.6%	29.5%
親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない	7.6%	10.6%
家族や親戚の反対があれば結婚を認めない	1.3%	1.6%
絶対に結婚を認めない	1.5%	1.5%
わからない	15.3%	22.5%
その他	0.7%	1.0%
無回答	3.7%	2.5%

問15 あなたは、同和問題（部落差別）についてどのように考えますか。（〇はいくつでも）

※ 1回目～単数選択（〇は一つ）、2回目・3回目～複数選択（〇はいくつでも）



「基本的人権にかかわる問題だから、市民一人ひとりが解決に取り組むべきである」（42.4%）が最も割合が高く、次いで、「社会全体の問題として、政治や行政の力で解決しなければならない」（38.4%）、「身近に感じないため、あまり考えたことがない」（33.5%）となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・一人ひとりがきちんと理解し、差別を許さない人になっていくことが大切
- ・未だに差別意識がある人はその理由を教えてほしい
- ・同じ人間である、何も問題ない
- ・被差別部落が生まれた歴史的な背景を勉強してもらいたい
- ・知らなくてもよい、時間が過ぎれば感じなくなる 等

- （問24・P58）同和問題に関心がある人（全体の8.6%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

〔項目〕 基本的人権にかかわる問題だから、市民一人ひとりが解決に取り組むべきである

全体①	関心がある	関心がない	差異
42.4%	81.0%	38.7%	42.3ポイント

〔項目〕 社会全体の問題として、政治や行政の力で解決しなければならない

全体②	関心がある	関心がない	差異
38.4%	74.1%	35.0%	39.1ポイント

〔項目〕 身近に感じないため、あまり考えたことがない

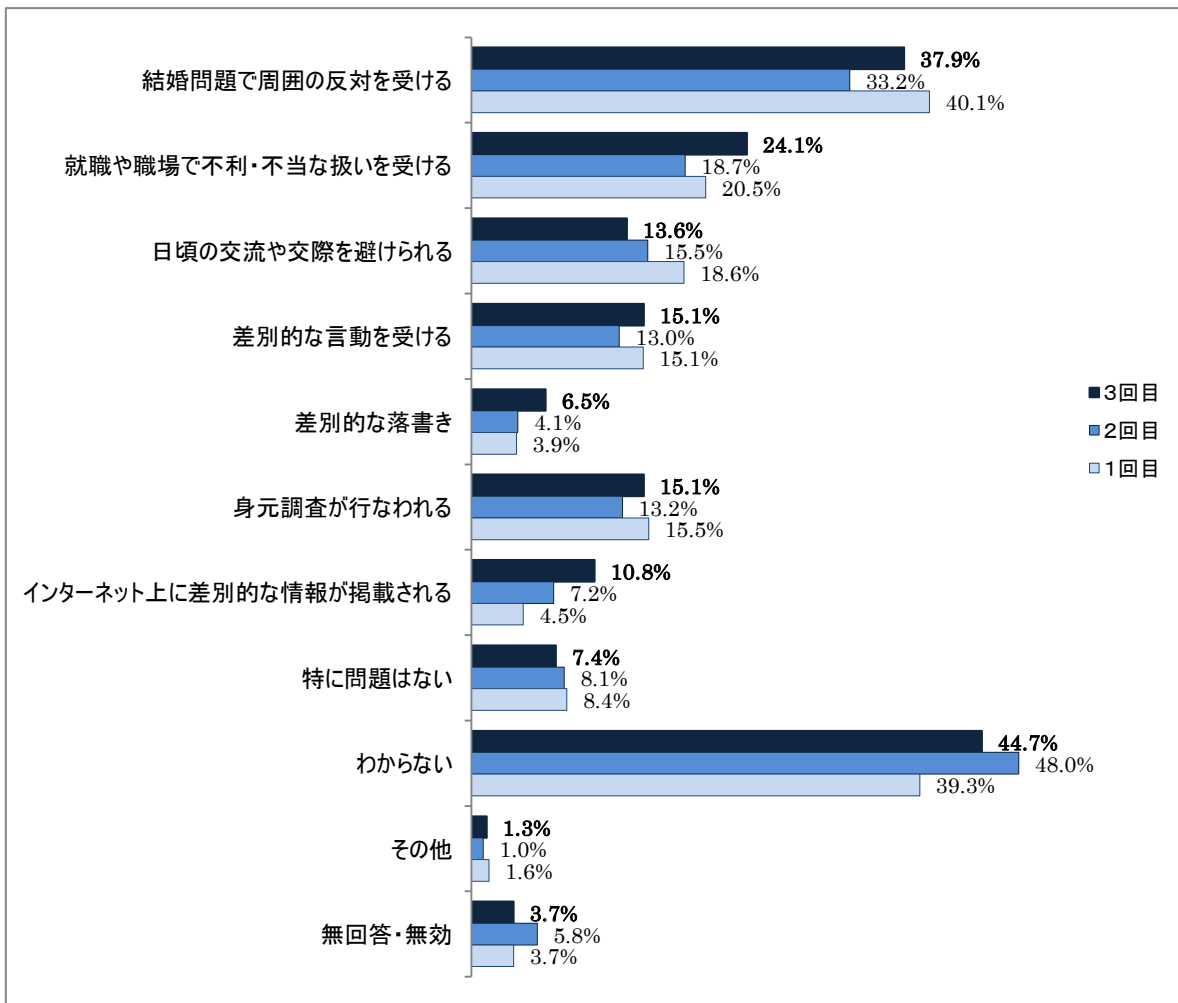
全体③	関心がある	関心がない	差異
33.5%	13.8%	35.3%	21.5ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
基本的人権にかかわる問題だから、市民一人ひとりが解決に取り組むべきである	42.4%	-
社会全体の問題として、政治や行政の力で解決しなければならない	38.4%	-
基本的人権にかかわる問題であり、社会の問題として考えなければならない	-	36.5%
自分ではどうにもならないので、なりゆきにまかせる	8.7%	3.7%
身近に感じないため、あまり考えたことがない	33.5%	31.8%
できるだけ避けてとおりたい	0.9%	1.0%
そっとしておけば、自然になくなる	7.3%	4.8%
同和地区の人の問題なので、自分には関係ない	0.3%	0.3%
そういう問題があることを知らない	6.8%	4.6%
わからない	11.1%	13.5%
その他	3.0%	1.7%
無回答	2.7%	2.1%

※今回の調査～複数選択（○はいくつでも）、県の調査～単数選択（○は一つ）

問16 あなたは、同和問題（部落差別）に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（〇はいくつでも）



「わからない」(44.7%)が最も割合が高く、次いで、「結婚問題で周囲の反対を受ける」(37.9%)、「就職や職場で不利・不当な扱いを受ける」(24.1%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・同和問題（部落差別）の話が未だに出てくるとは信じられない
- ・差別のある事実を知らない
- ・インターネット上の嘘情報の拡散 等

- （問24・P58）同和問題に関心がある人（全体の8.6%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] わからない

全体①	関心がある	関心がない	差異
44.7%	10.3%	48.0%	37.6ポイント

[項目] 結婚問題で周囲の反対を受ける

全体②	関心がある	関心がない	差異
37.9%	74.1%	34.5%	39.6ポイント

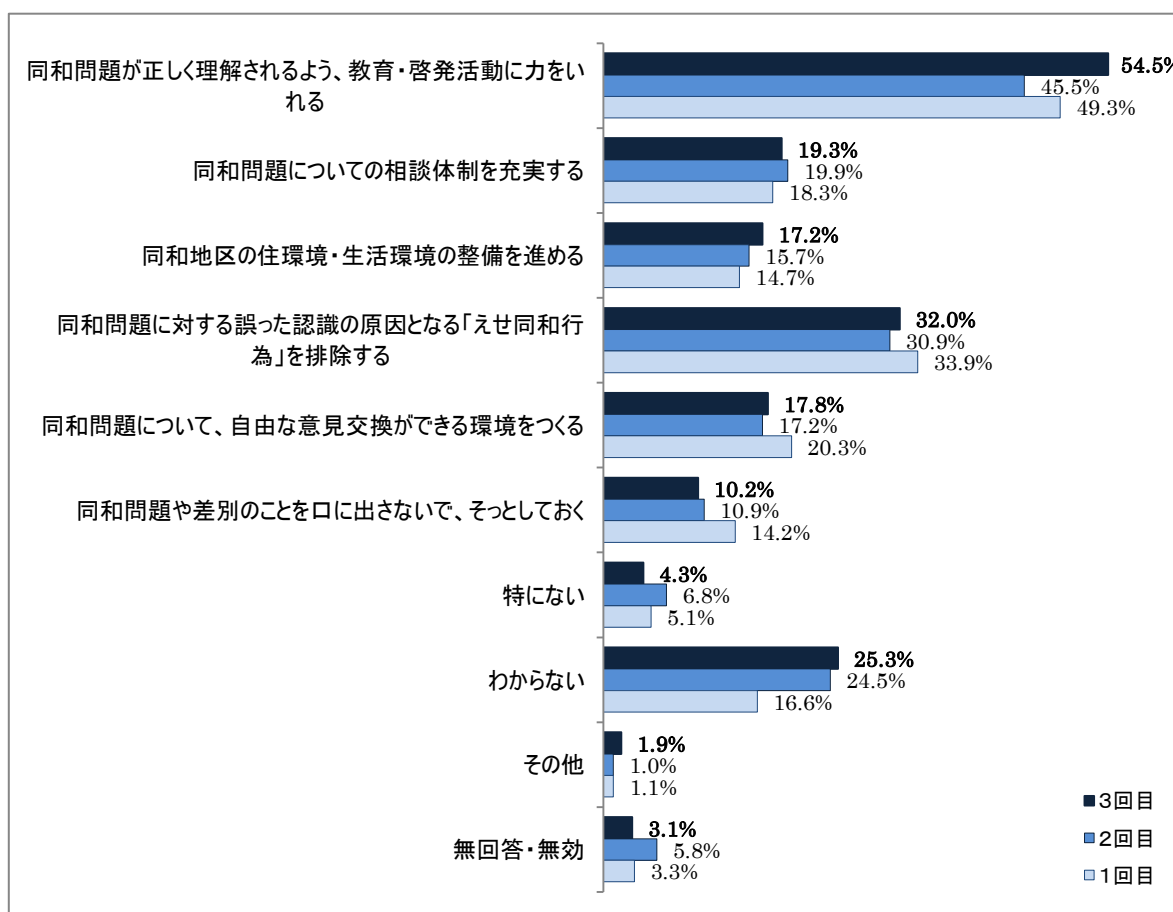
[項目] 就職や職場で不利・不当な扱いを受ける

全体③	関心がある	関心がない	差異
24.1%	40.3%	20.7%	39.6ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

	今回の調査	県の調査
結婚問題で周囲の反対を受ける	37.9%	37.8%
就職や職場で不利・不当な扱いを受ける	24.1%	21.0%
日頃の交流や交際を避けられる	13.6%	-
差別的な言動を受ける	15.1%	20.3%
差別的な落書き	6.5%	6.4%
身元調査が行なわれる	15.1%	23.6%
インターネット上に差別的な情報が掲載される	10.8%	11.6%
特に問題はない	7.4%	11.3%
わからない	44.7%	36.8%
その他	1.3%	2.0%
無回答	3.7%	2.6%

問17 あなたは、同和問題（部落差別）を解決するためにはどのようなことをすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）



「同和問題が正しく理解されるよう、教育・啓発活動に力を入れる」(54.5%)が最も割合が高く、次いで、「同和問題に対する誤った認識の原因となる「えせ同和行為」を排除する」(32.0%)、「わからない」(25.3%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・学校での教育を充実させていく
- ・自分が差別される側に立った時どう思うのかを教えてもらいたい
- ・人は皆社会の中では平等であるべき（生まれてくるところを選べない）
- ・そっとしておけば時代の推移と共になくなる。寝た子は起こさない方が良い 等

- （問24・P58）同和問題に関心がある人（全体の8.6%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

〔項目〕同和問題が正しく理解されるよう、教育・啓発活動に力をいれる

全体①	関心がある	関心がない	差異
54.5%	89.7%	51.2%	38.4% ^{※1}

〔項目〕同和問題に対する誤った認識の原因となる「えせ同和行為」を排除する

全体②	関心がある	関心がない	差異
32.0%	74.1%	28.0%	46.1% ^{※1}

〔項目〕わからない

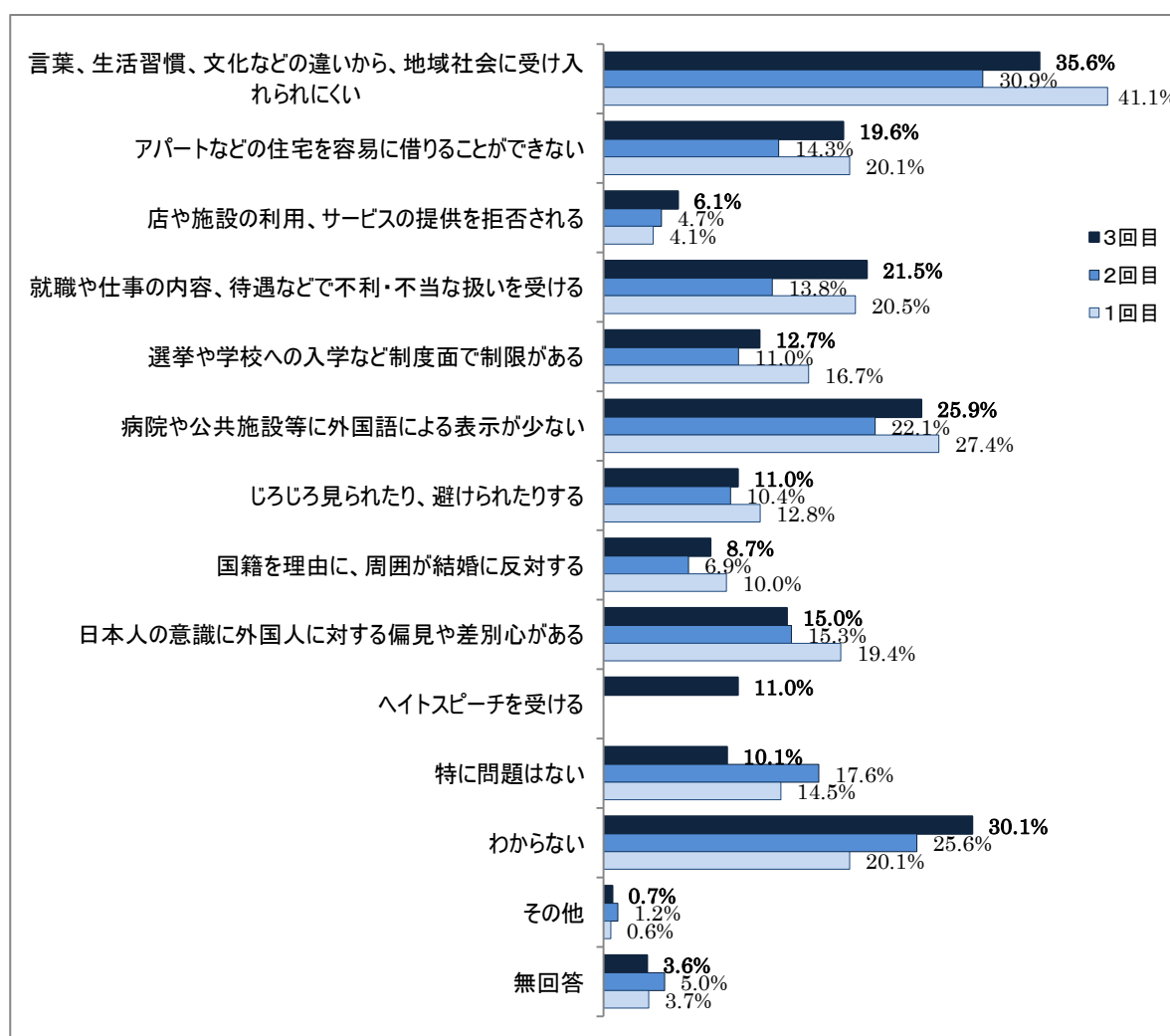
全体③	関心がある	関心がない	差異
25.3%	3.4%	27.4%	23.9% ^{※1}

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
同和問題が正しく理解されるよう、教育・啓発活動に力をいれる	54.5%	48.8%
同和問題についての相談体制を充実する	19.3%	19.1%
同和地区の住環境・生活環境の整備を進める	17.2%	15.3%
同和問題に対する誤った認識の原因となる「えせ同和行為」を排除する	32.0%	29.8%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	17.8%	20.9%
同和問題や差別のことを口に出さなくて、そっとしておく	10.2%	-
特になし	4.3%	5.9%
わからない	25.3%	24.3%
その他	1.9%	3.1%
無回答	3.1%	2.5%

7. 外国人に関する人権問題について

問18 外国人に関することで、人権上に特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



「言葉、生活習慣、文化などの違いから、地域社会に受け入れられにくい」(35.6%)が最も割合が高く、次いで、「わからない」(30.1%)、「病院や公共施設等に外国語による表示が少ない」(25.9%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・日本人と外国人相互にすれ違いがある（お互い理解できていない部分がある）
- ・お互い近づく努力が必要 等

● 年代別の回答傾向（最も割合が高かった項目）

[項目] 言葉、生活習慣、文化などの違いから、地域社会に受け入れられにくい

全体①	18歳～20歳代	30歳代	50歳代	60歳代	40歳代	70歳以上
35.6%	48.8%	47.1%	40.0%	35.4%	33.7%	29.2%

- （問24・P58）外国人の人権問題に関心がある人（全体の6.4%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

〔項目〕言葉、生活習慣、文化などの違いから、地域社会に受け入れられにくい

全体①	関心がある	関心がない	差異
35.6%	67.4%	33.4%	34.1ポイント

〔項目〕わからない

全体②	関心がある	関心がない	差異
30.1%	9.3%	31.5%	22.2ポイント

〔項目〕病院や公共施設等に外国語による表示が少ない

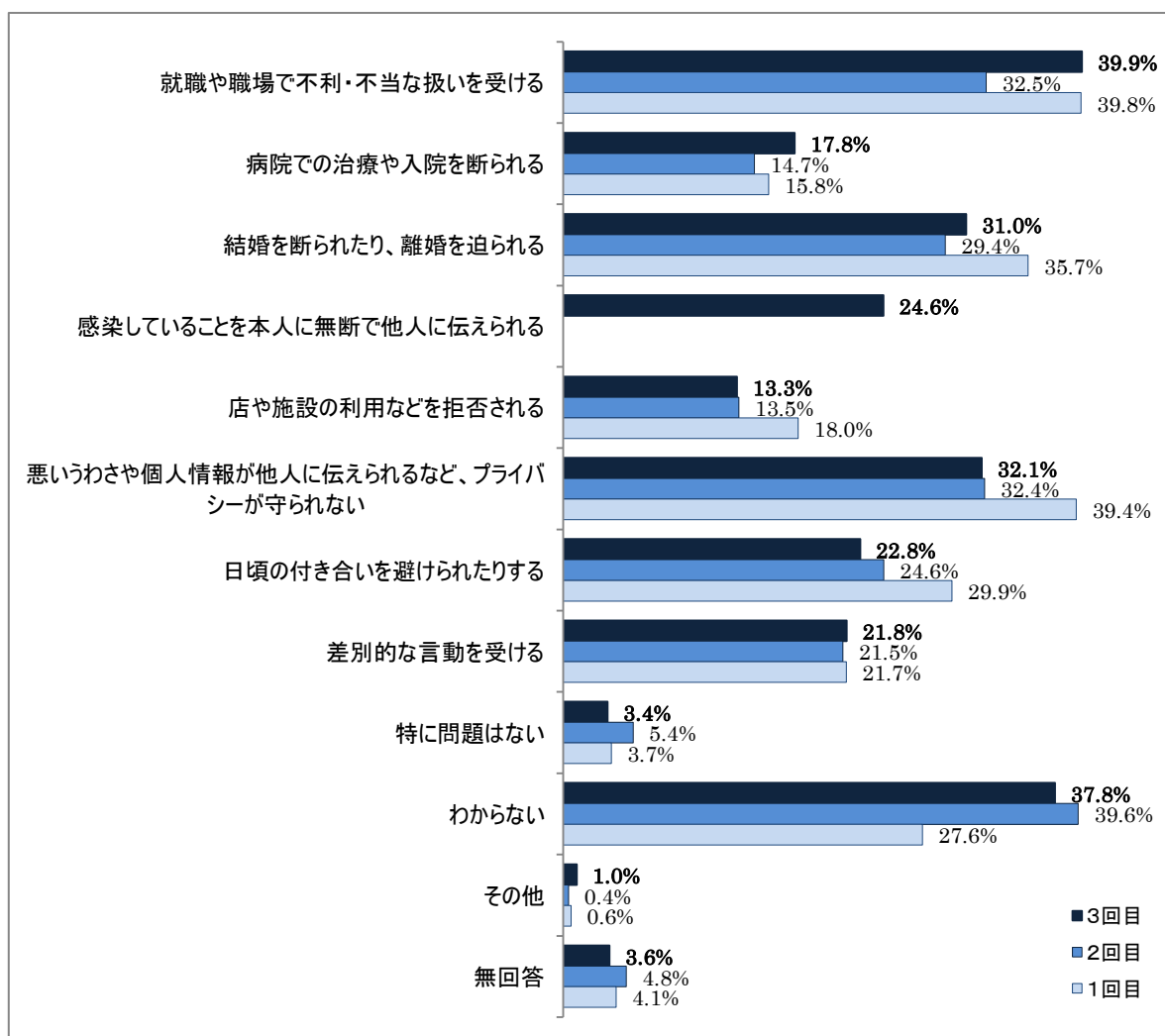
全体③	関心がある	関心がない	差異
25.9%	65.1%	23.3%	41.9ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

	今回の調査	県の調査
言葉、生活習慣、文化などの違いから、地域社会に受け入れられにくい	35.6%	31.7%
アパートなどの住宅を容易に借りることができない	19.6%	17.1%
店や施設の利用、サービスの提供を拒否される	6.1%	10.2%
就職や仕事の内容、待遇などで不利・不当な扱いを受ける	21.5%	21.0%
選挙や学校への入学など制度面で制限がある	12.7%	12.1%
病院や公共施設等に外国語による表示が少ない	25.9%	26.6%
じろじろ見られたり、避けられたりする	11.0%	13.7%
国籍を理由に、周囲が結婚に反対する	8.7%	8.3%
日本人の意識に外国人に対する偏見や差別心がある	15.0%	19.6%
ヘイトスピーチを受ける	11.0%	14.7%
特に問題はない	10.1%	18.4%
わからない	30.1%	19.5%
その他	0.7%	1.6%
無回答	3.6%	3.8%

8. HIV感染者・ハンセン病患者等に関する人権問題について

問19 HIV（エイズウイルス）感染者やハンセン病患者・回復者に関することで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）



「就職や職場で不利・不当な扱いを受ける」（39.9%）が最も割合が高く、次いで、「わからない」（37.8%）、「悪いうわさや個人情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない」（32.1%）となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・何となく敬遠される
- ・出会ったことがない
- ・周りにいない 等

- （問24・P58）HIV感染者・ハンセン病患者等に関する人権問題に関心がある人（全体の9.2%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] 就職や職場で不利・不当な扱いを受ける

全体①	関心がある	関心がない	差異
39.9%	74.2%	36.4%	37.8ポイント

[項目] わからない

全体②	関心がある	関心がない	差異
37.8%	16.1%	40.0%	23.8ポイント

[項目] 悪いうわさや個人情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない

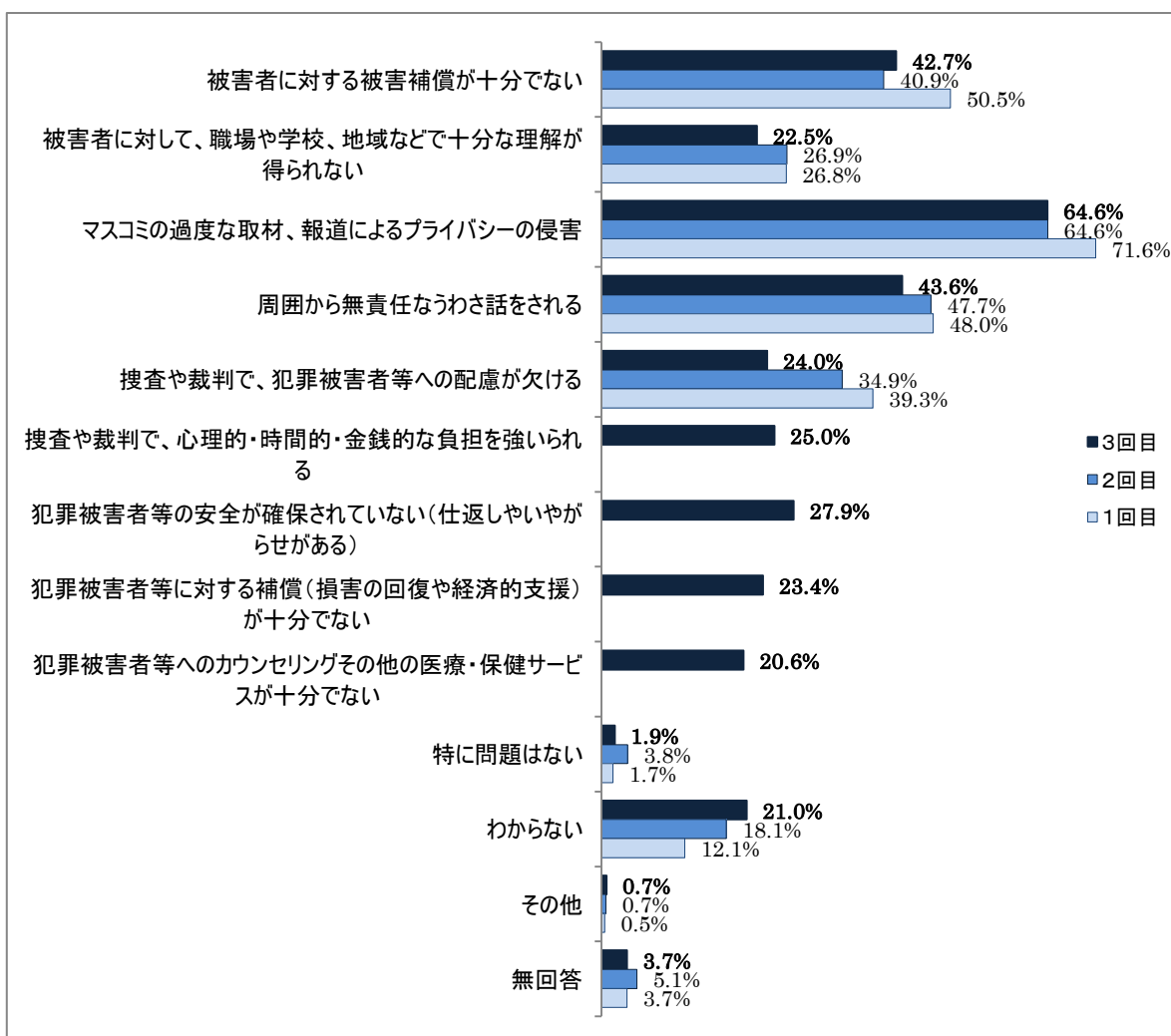
全体③	関心がある	関心がない	差異
32.1%	66.1%	28.7%	37.4%

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

	今回の調査	県の調査
就職や職場で不利・不当な扱いを受ける	39.9%	36.3%
病院での治療や入院を断られる	17.8%	24.3%
結婚を断られたり、離婚を迫られる	31.0%	29.3%
感染していることを本人に無断で他人に伝えられる	24.6%	30.6%
店や施設の利用などを拒否される	13.3%	-
地域社会で仲間ずれにされたり、悪意のある噂をながされる	-	32.3%
マスコミによるプライバシーの侵害	-	24.0%
悪いうわさや個人情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない	32.1%	-
日頃の付き合いを避けられたりする	22.8%	-
差別的な言動を受ける	21.8%	32.2%
特に問題はない	3.4%	8.0%
わからない	37.8%	28.5%
その他	1.0%	0.8%
無回答	3.6%	3.8%

9. 犯罪被害者に関する人権問題

問20 犯罪被害者（犯罪によって被害を受けた人、及び家族またはその遺族）に関することで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）



「マスコミの過度な取材、私生活の平穏が保てなくなったり、報道によってプライバシーの侵害を受けたりする」(64.6%)が最も割合が高く、次いで、「周囲から無責任なうわさ話をされる」(43.6%)、「被害者に対する被害補償が十分でない」(42.7%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・犯罪加害者は守られるが被害者が守られていない（実名報道など）
- ・犯罪加害者の量刑が被害者にとって妥当とは言えない場合がある
- ・例えば、DV被害者は加害者から身を隠す必要があるため負担が大きい 等

- （問24・P58）犯罪被害者とその家族や遺族の人権に関心がある人（全体の23.7%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] マスコミの過度な取材、私生活の平穏が保てなくなったり、報道によってプライバシーの侵害を受けたりする

全体①	関心がある	関心がない	差異
64.6%	87.5%	57.5%	30.0ポイント

[項目] 周囲から無責任なうわさ話をされる

全体②	関心がある	関心がない	差異
43.6%	68.1%	35.9%	32.2ポイント

【項目】 被害者に対する被害補償が十分でない

全体③	関心がある	関心がない	差異
42.7%	70.6%	34.0%	36.6%

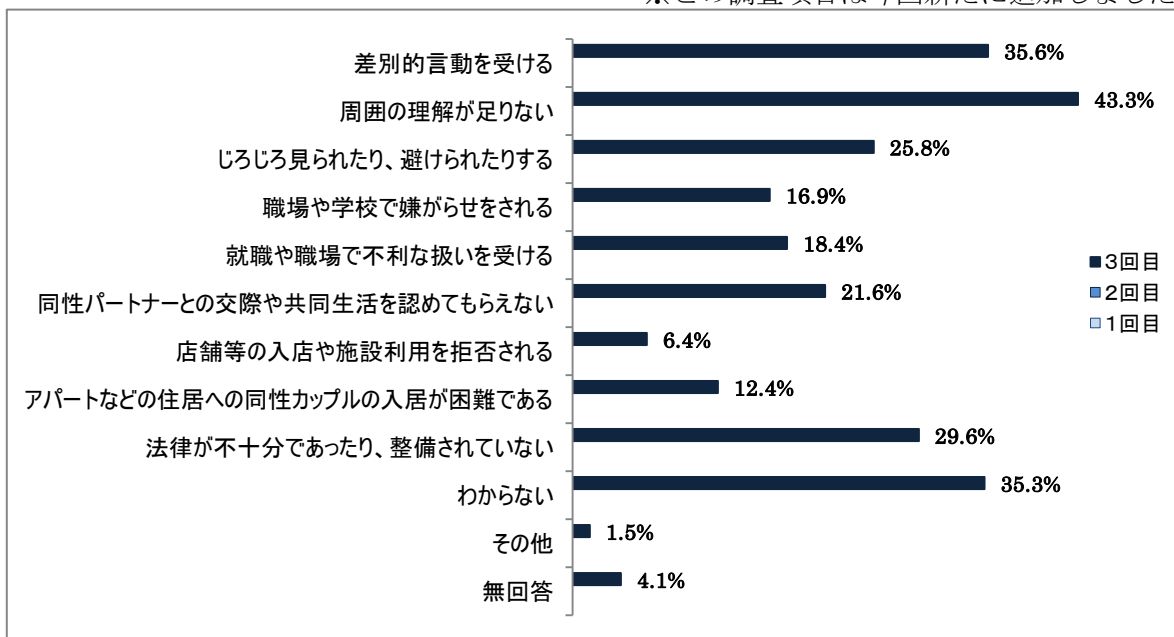
【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
被害者に対する被害補償が十分でない	42.7%	-
被害者に対して、職場や学校、地域などで十分な理解が得られない	22.5%	32.9%
マスコミの過度な取材、私生活の平穩が保てなくなったり、報道によってプライバシーの侵害を受けたりする	64.6%	66.2%
周囲から無責任なうわさ話をされる	43.6%	45.7%
捜査や裁判で、犯罪被害者等への配慮が欠ける	24.0%	29.7%
捜査や裁判で、心理的・時間的・金銭的な負担を強いられる	25.0%	28.9%
犯罪被害者等の安全が確保されていない（仕返しやいやがらせがある）	27.9%	35.0%
犯罪被害者等に対する補償（損害の回復や経済的支援）が十分でない	23.4%	29.4%
犯罪被害者等へのカウンセリングその他の医療・保健サービスが十分でない	20.6%	23.5%
特に問題はない	1.9%	5.0%
わからない	21.0%	15.2%
その他	0.7%	0.7%
無回答	3.7%	2.6%

10. 性的少数者に関する人権問題

問21 同性愛者や両性愛者など性的指向に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

※この調査項目は今回新たに追加しました。



「周囲の理解が足りない」(43.3%)が最も割合が高く、次いで、「差別的言動を受ける」(35.6%)、「わからない」(35.3%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・これから解決していく問題（昔から存在するのにやっと表面化している）
- ・若者の理解は進んでいる
- ・かかわりたくない 等

● 年代別の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] 周囲の理解が足りない

全体①	30歳代	18歳～20歳代	50歳代	60歳代	40歳代	70歳以上
43.3%	68.6%	62.8%	45.2%	45.1%	44.6%	31.0%

[項目] 差別的言動を受ける

全体②	18歳～20歳代	50歳代	30歳代	40歳代	60歳代	70歳以上
35.6%	58.1%	45.2%	45.1%	41.0%	32.3%	24.5%

[項目] わからない

全体③	70歳以上	60歳代	40歳代	50歳代	18歳～20歳代	30歳代
35.3%	49.5%	38.4%	28.9%	27.0%	16.3%	9.8%

● (問24・P58) 性的指向の異なる人の人権問題に関心がある人（全体の9.9%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] 周囲の理解が足りない

全体①	関心がある	関心がない	差異
43.3%	82.1%	39.0%	43.1ポイント

[項目] 差別的言動を受ける

全体②	関心がある	関心がない	差異
35.6%	74.6%	31.3%	43.4ポイント

[項目] わからない

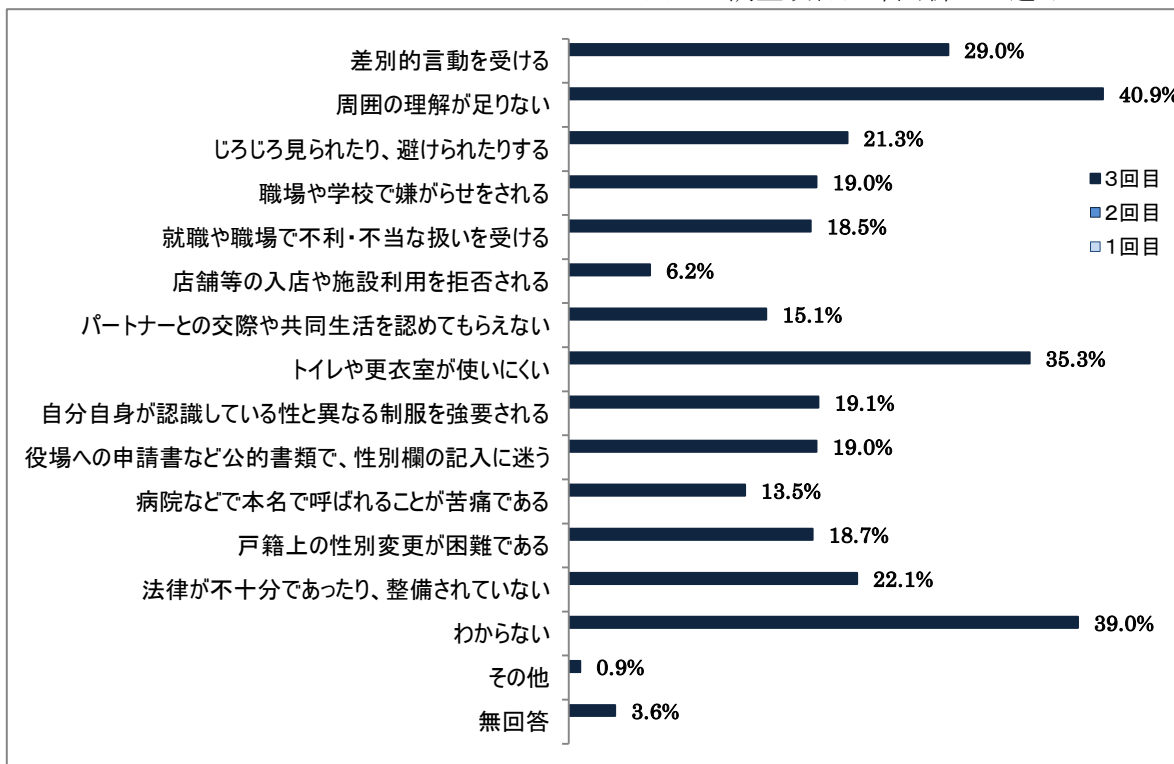
全体③	関心がある	関心がない	差異
35.3%	7.5%	38.3%	30.9%

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
差別的言動を受ける	35.6%	34.5%
周囲の理解が足りない	43.3%	47.4%
じろじろ見られたり、避けられたりする	25.8%	25.8%
職場や学校で嫌がらせをされる	16.9%	21.0%
就職や職場で不利な扱いを受ける	18.4%	21.4%
同性パートナーとの交際や共同生活を認めてもらえない	21.6%	25.7%
店舗等の入店や施設利用を拒否される	6.4%	9.6%
アパートなどの住居への同性カップルの入居が困難である	12.4%	16.0%
法律が不十分であったり、整備されていない	29.6%	-
わからない	35.3%	34.7%
その他	1.5%	2.0%
無回答	4.1%	3.9%

問22 トランスジェンダーなど性自認に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

※この調査項目は今回新たに追加しました。



「周囲の理解が足りない」（40.9%）が最も割合が高く、次いで、「わからない」（39.0%）、「トイレや更衣室が使いにくい」（35.3%）となっています

「その他」の意見の主な内容

- ・病院によっては、名前ではなく受付番号で呼んでいるので取り入れたら良い
- ・本人でないとわからない 等

● 年代別の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] 周囲の理解が足りない

全体①	18歳～20歳代	30歳代	50歳代	40歳代	60歳代	70歳以上
40.9%	65.1%	62.7%	53.9%	43.4%	39.6%	24.5%

[項目] わからない

全体②	70歳以上	60歳代	50歳代	40歳代	18歳～20歳代	30歳代
39.0%	55.6%	42.7%	27.8%	27.7%	18.6%	17.7%

[項目] トイレや更衣室が使いにくい

全体③	18歳～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
35.3%	55.8%	51.0%	41.0%	40.0%	34.8%	23.6%

● （問24・P58）トランスジェンダーなど性自認に関する人権問題に関心がある人（全体の11.9%）とそうでない人の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

[項目] 周囲の理解が足りない

全体①	関心がある	関心がない	差異
40.9%	62.9%	38.7%	24.2% ^{※1}

[項目] わからない

全体②	関心がある	関心がない	差異
39.0%	22.6%	40.6%	18.0% ^{※1}

[項目] トイレや更衣室が使いにくい

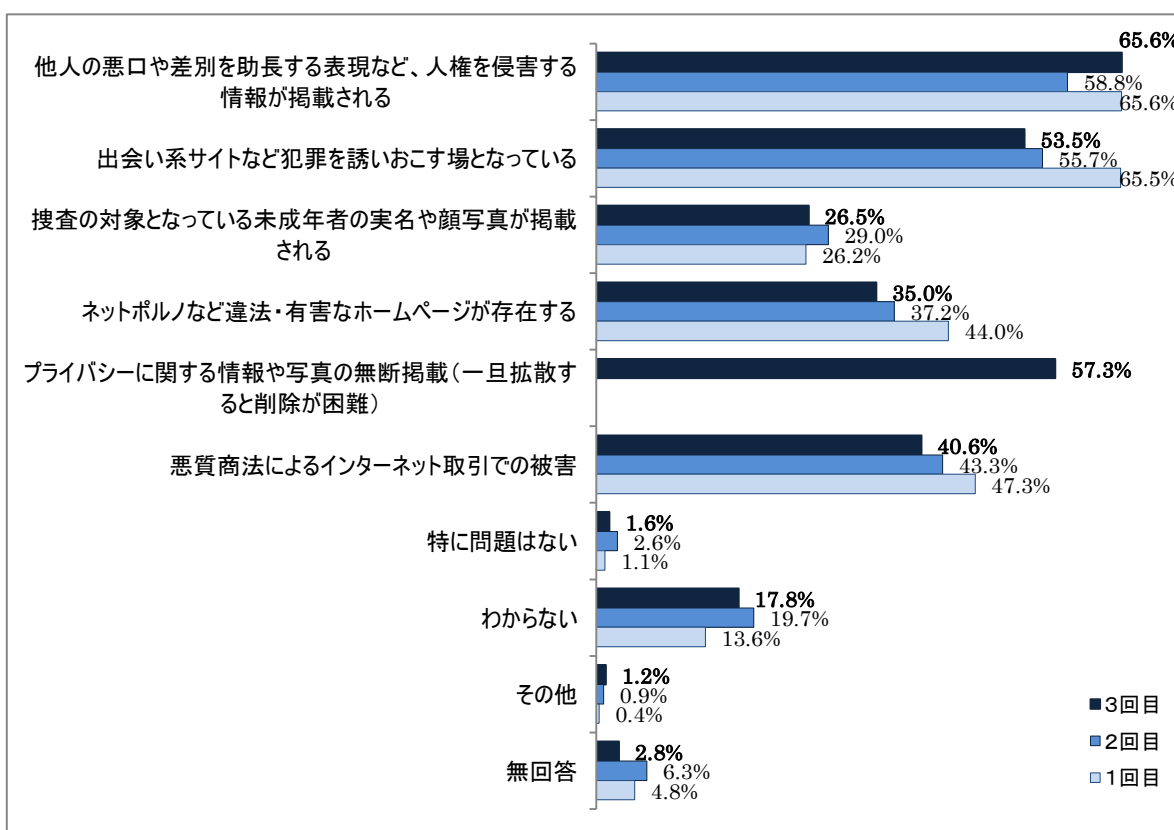
全体③	関心がある	関心がない	差異
35.3%	69.4%	31.8%	37.5% ^{※1}

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
差別的言動を受ける	29.0%	33.2%
周囲の理解が足りない	40.9%	45.7%
じろじろ見られたり、避けられたりする	21.3%	23.5%
職場や学校で嫌がらせをされる	19.0%	22.9%
就職や職場で不利・不当な扱いを受ける	18.5%	22.0%
店舗等の入店や施設利用を拒否される	6.2%	10.1%
パートナーとの交際や共同生活を認めてもらえない	15.1%	19.5%
トイレや更衣室が使いにくい	35.3%	37.3%
自分自身が認識している性と異なる制服を強要される	19.1%	23.7%
役場への申請書など公的書類で、性別欄の記入に迷う	19.0%	19.9%
病院などで本名で呼ばれることが苦痛である	13.5%	15.6%
戸籍上の性別変更が困難である	18.7%	21.0%
法律が不十分であったり、整備されていない	22.1%	-
わからない	39.0%	34.1%
その他	0.9%	1.5%
無回答	3.6%	4.5%

1.1. インターネットによる人権侵害の問題について

問23 インターネットを利用するうえで、人権上どのような問題が起きていると思いますか。(〇はいくつでも)



「他人の悪口や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報が掲載される」(65.6%)が最も割合が高く、このほかに「プライバシーに関する情報や写真が無断で掲載されており、一旦拡散してしまうと削除が困難である」(57.3%)、「出会い系サイトなど犯罪を誘いおこす場となっている」(53.5%)の割合が5割を超えています。次いで、「悪質商法によるインターネット取引での被害」(40.6%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・インターネットに法整備がついていけない
- ・事実無根の情報の拡散
- ・インターネットをしていない 等

- (問24・P58) インターネットによる人権侵害に問題に関心がある人(全体の34.1%)とそうでない人の回答傾向(割合の高かった上位3項目)

[項目] 他人の悪口や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報が掲載される

全体①	関心がある	関心がない	差異
65.6%	84.3%	56.0%	28.4ポイント

[項目] プライバシーに関する情報や写真が無断で掲載されており、一旦拡散してしまうと削除が困難である

全体②	関心がある	関心がない	差異
57.3%	80.9%	45.2%	35.7ポイント

[項目] 出会い系サイトなど犯罪を誘いおこす場となっている

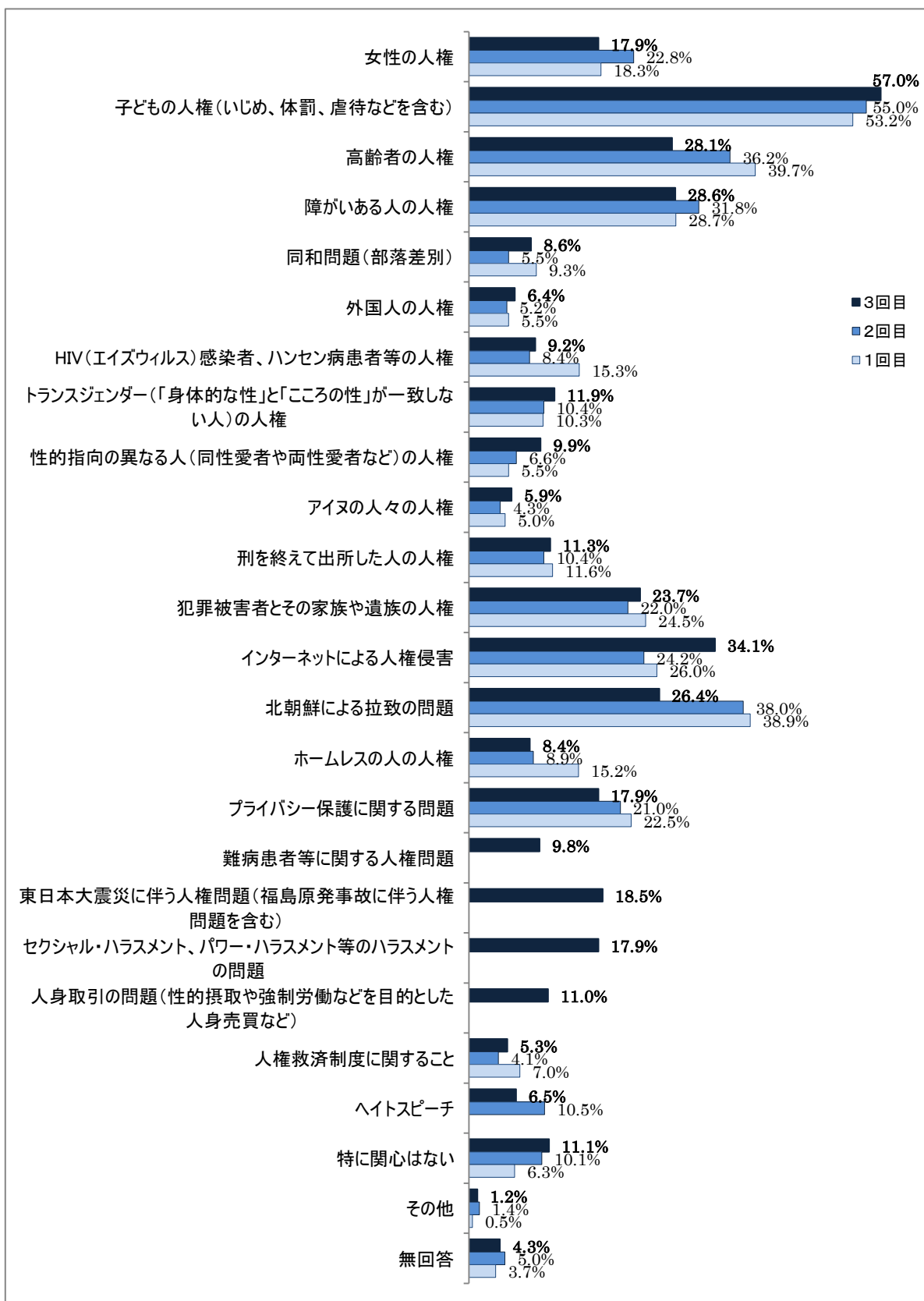
全体③	関心がある	関心がない	差異
53.5%	70.9%	44.5%	26.4ポイント

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
他人の悪口や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報が掲載される	65.6%	63.8%
出会い系サイトなど犯罪を誘いおこす場となっている	53.5%	53.8%
捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載される	26.5%	24.4%
ネットポルノなど違法・有害なホームページが存在する	35.0%	25.8%
プライバシーに関する情報や写真が無断で掲載されており、一旦拡散してしまうと削除が困難である	57.3%	59.3%
悪質商法によるインターネット取引での被害	40.6%	-
特に問題はない	1.6%	3.7%
わからない	17.8%	14.9%
その他	1.2%	0.8%
無回答	2.8%	2.9%

12. 人権全般・啓発活動について

問24 社会には人権に関わるさまざまな問題がありますが、現在、あなたが関心を持っているものはどの問題ですか。(〇はいくつでも)



「子どもの人権(いじめ、体罰、虐待などを含む)」(57.0%)が最も割合が高く、次いで、「インターネットによる人権侵害」(34.1%)、「障がいのある人の人権」(28.6%)、「高齢者の人権」(28.1%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・職場での差別
- ・当事者の方は大変だが身近に感じない
- ・日々の生活で精一杯で人権について関心を持つ余裕がない 等

● 年代別の回答傾向（割合の高かった上位3項目）

〔項目〕 子どもの人権

全体①	30歳代	60歳代	40歳代	50歳代	70歳以上	18歳～20歳代
57.0%	66.7%	64.3%	61.4%	53.0%	52.8%	48.8%

〔項目〕 インターネットによる人権侵害

全体②	40歳代	50歳代	30歳代	18歳～20歳代	60歳代	70歳以上
34.1%	53.0%	44.3%	39.2%	32.6%	27.4%	25.5%

〔項目〕 障がいのある人の人権

全体③	30歳代	60歳代	50歳代	18歳～20歳代	70歳以上	40歳代
28.6%	33.3%	31.7%	31.3%	30.2%	26.9%	20.5%

● 年代別で関心のある人権問題の差異がみられる（年代別で割合の高かった上位3項目）

* 各年代の横の囲み数字は、年代別の平均回答項目数（特に関心はない、無回答・無効は除く）

<18歳～20歳代> **3.8項目**

①子どもの人権（48.8%）【全体① 57.0%】

②女性の人権（34.9%）【全体⑧ 17.9%】

③インターネットによる人権侵害（32.6%）【全体② 34.1%】

<30歳代> **4.8項目**

①子どもの人権（66.7%）【全体① 57.0%】

②インターネットによる人権侵害（39.2%）【全体② 34.1%】

②女性の人権（39.2%）【全体⑧ 17.9%】

<40歳代> **3.5項目**

①子どもの人権（61.4%）【全体① 57.0%】

②インターネットによる人権侵害（53.0%）【全体② 34.1%】

③犯罪被害者とその家族や遺族の人権（26.5%）【全体⑥ 23.7%】

<50歳代> **3.8項目**

①子どもの人権（53.0%）【全体① 57.0%】

②インターネットによる人権侵害（44.3%）【全体② 34.1%】

③障がいのある人の人権（31.3%）【全体③ 28.6%】

<60歳代> **3.9項目**

①子どもの人権（63.4%）【全体① 57.0%】

②障がいのある人の人権（31.7%）【全体③ 28.6%】

③高齢者の人権（31.1%）【全体④ 28.1%】

<70歳以上> **3.5項目**

①子どもの人権（52.8%）【全体① 57.0%】

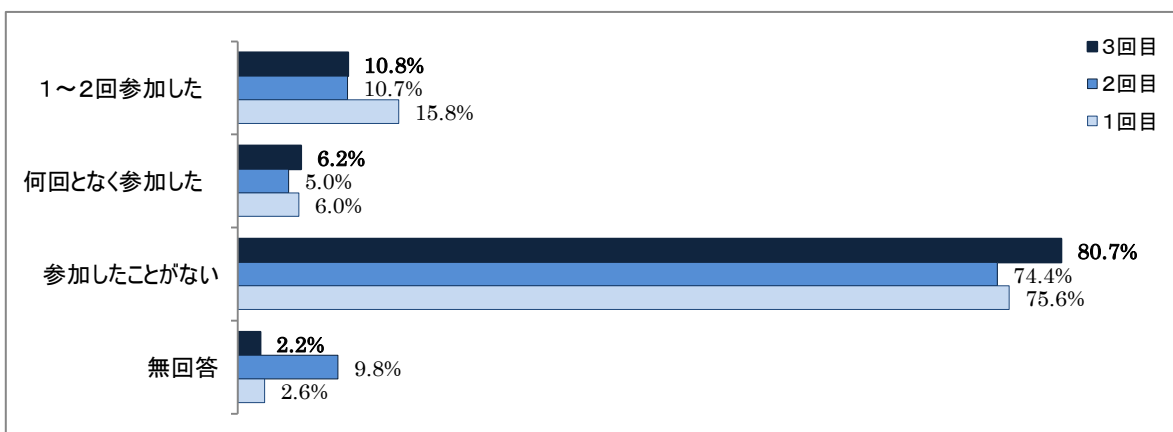
②北朝鮮による拉致問題（37.5%）【全体⑤ 26.4%】

③高齢者の人権（31.9%）【全体④ 28.1%】

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
女性の人権	17.9%	31.7%
子どもの人権（いじめ、体罰、虐待などを含む）	57.0%	69.4%
高齢者の人権	28.1%	34.0%
障がいのある人の人権	28.6%	39.1%
同和問題（部落差別）	8.6%	7.3%
外国人の人権	6.4%	7.2%
HIV（エイズウィルス）感染者、ハンセン病患者等の人権	9.2%	7.1%
トランスジェンダー（「身体的な性」と「こころの性」が一致しない人）の人権	11.9%	14.6%
性的指向の異なる人（同性愛者や両性愛者など）の人権	9.9%	12.0%
アイヌの人々の人権	5.9%	4.2%
刑を終えて出所した人の人権	11.3%	6.3%
犯罪被害者とその家族や遺族の人権	23.7%	13.3%
インターネットによる人権侵害	34.1%	31.4%
北朝鮮による拉致の問題	26.4%	25.3%
ホームレスの人の人権	8.4%	5.8%
プライバシー保護に関する問題	17.9%	20.7%
難病患者等に関する人権問題	9.8%	10.2%
東日本大震災に伴う人権問題（福島原発事故に伴う人権問題を含む）	18.5%	14.3%
セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等のハラスメントの問題	17.9%	-
パワー・ハラスメントの問題	-	37.2%
人身取引の問題（性的摂取や強制労働などを目的とした人身売買など）	11.0%	8.4%
人権救済制度に関すること	5.3%	-
ヘイトスピーチ	6.5%	-
特に関心はない	11.1%	4.8%
その他	1.2%	1.2%
無回答・無効	4.3%	2.6%

問25 延岡市では、地域、職場、団体などで人権問題に関する研修会や講演会、出前講座などを行っていますが、参加されたことがありますか。（〇は1つ）



「1～2回参加した」(10.8%)と「何回となく参加した」(6.2%)をあわせると、参加したことのある人の割合は17.0%となっています。また、「参加したことがない」は80.7%となっています。

● 職業別の回答傾向

[項目] 1～2回参加した

全体②	自営業	事業所従業員	公務員	教員	福祉・医療・保健	家事に従事	学生	無職
10.8%	14.3%	6.0%	13.0%	37.5%	6.3%	8.0%	0.0%	15.0%

[項目] 何回となく参加した

全体③	自営業	事業所従業員	公務員	教員	福祉・医療・保健	家事に従事	学生	無職
6.2%	5.7%	1.5%	34.8%	37.5%	9.4%	4.0%	0.0%	6.5%

[項目] 参加したことがない

全体①	自営業	事業所従業員	公務員	教員	福祉・医療・保健	家事に従事	学生	無職
80.7%	80.0%	91.5%	52.2%	25.0%	84.4%	85.3%	100.0%	73.5%

● 年代別の回答傾向

[項目] 1～2回参加した

全体②	18歳～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
10.8%	0.0%	7.8%	9.6%	11.3%	9.8%	14.8%

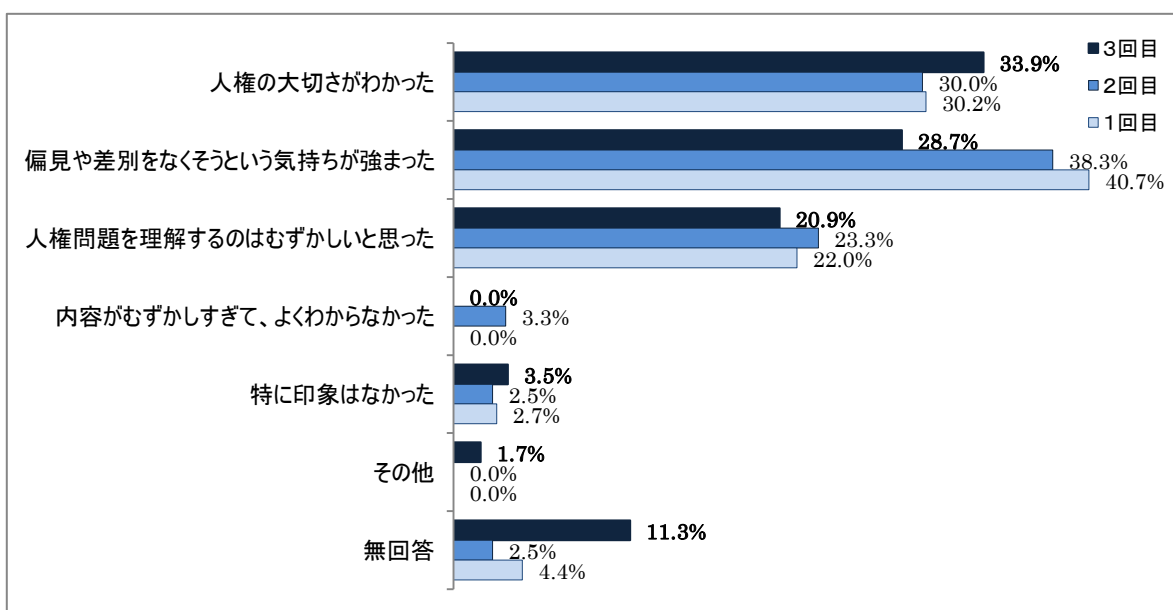
[項目] 何回となく参加した

全体③	18歳～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
6.2%	0.0%	7.8%	6.0%	7.0%	8.5%	5.1%

[項目] 参加したことがない

全体①	18歳～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
80.7%	100.0%	82.4%	84.3%	80.9%	80.5%	75.5%

問26 問25で「1または2」と答えた方におたずねします。研修会や講演会に参加して、どのような印象を受けたか、あなたの印象に最も近いものを選んでください。(○は1つ)



「人権の大切さがわかった」(33.9%)が最も割合が高く、次いで「差別や偏見をなくそうという気持ちが強まった」(28.7%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・研修内容がいつも同じ感じ
- ・抽象的すぎてよく分からなかった 等

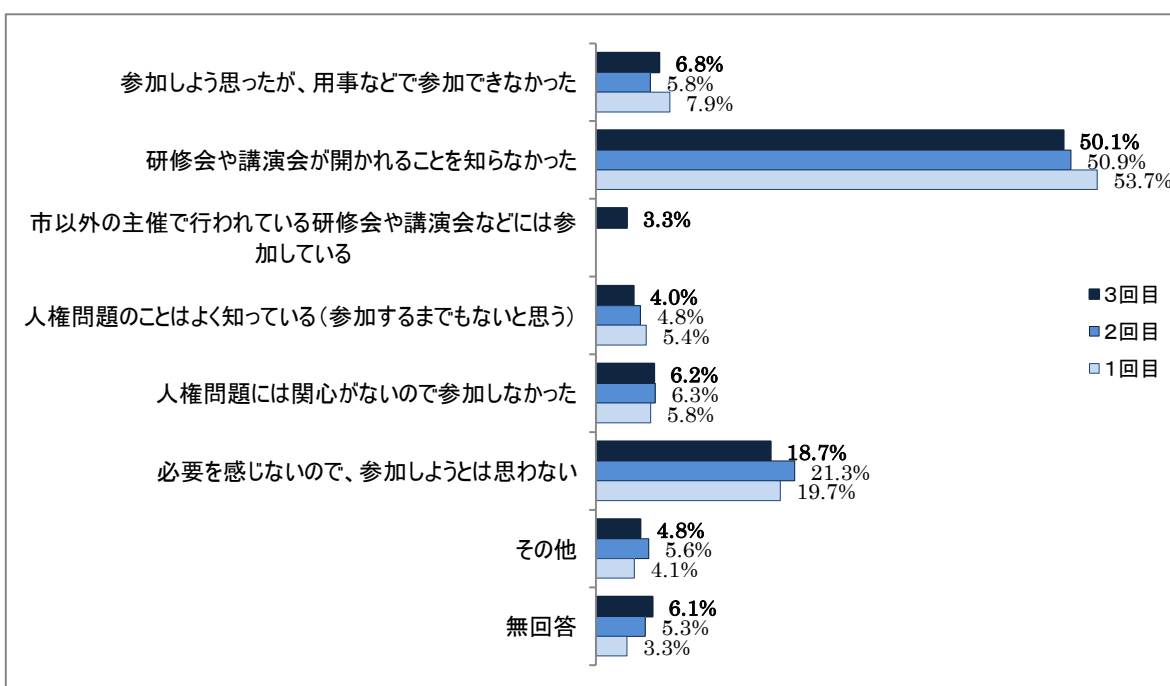
● 年代別の傾向（最も割合の高かった項目）

[項目] 人権の大切さがわかった

全体①	30歳代	50歳代	60歳代	40歳代	70歳以上
33.9%	50.0%	38.1%	33.3%	30.8%	30.2%

*18歳～20歳代は回答者の数が0

問27 問25で「3」と答えた方におたずねします。参加しなかったのはなぜですか。（○は1つ）



「研修会や講演会が開かれることを知らなかった」（50.1%）が最も割合が高く、次いで「必要を感じないので、参加しようとは思わない」（18.7%）となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・家庭や仕事の都合（介護、引っ越したばかり、休みが少ない 等）
- ・高齢のため
- ・もっと広く広報して欲しい 等

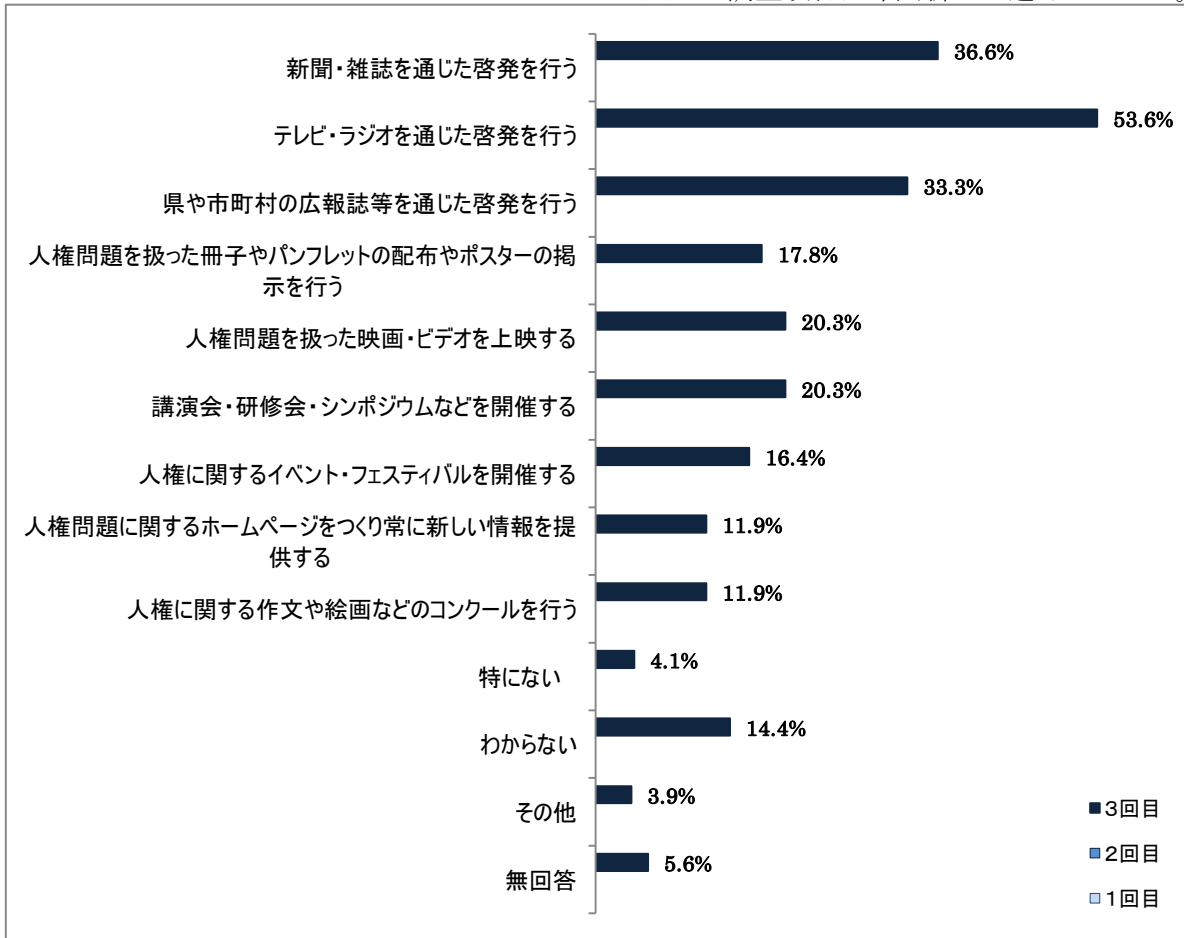
● 年代別の傾向（最も割合の高かった項目）

[項目] 研修会や講演会が開かれることを知らなかった

全体①	18歳～20歳代	40歳代	30歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
50.1%	69.8%	64.3%	57.1%	57.0%	44.7%	37.4%

問28 人権を尊重する意識を高める啓発手法として、どのようなものが効果があると思いますか。(〇はいくつでも)

※この調査項目は今回新たに追加しました。



「テレビ・ラジオを通じた啓発を行う」(53.6%)が最も割合が高く、次いで「新聞・雑誌を通じた啓発を行う」(36.6%)、「県や市町村の広報誌等を通じた啓発を行う」(33.3%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・学校の教育（一貫した教育、教職員の養成 等）
- ・家庭や企業での教育
- ・YouTubeなどのインターネットの活用
- ・免許更新時に啓発を行う 等

- （問25・P60）講演会や研修会に何回も参加した人（全体の6.2%）と1～2回参加した人（全体の10.8%）と参加したことがない（全体の80.7%）の回答傾向（割合の高かった上位5項目）

[項目] テレビ・ラジオを通じた啓発を行う

全体①	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
53.6%	64.3%	46.6%	54.7%

[項目] 新聞・雑誌を通じた啓発を行う

全体②	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
33.6%	38.1%	34.2%	37.6%

[項目] 県や市町村の広報誌等を通じた啓発を行う

全体③	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
33.3%	47.6%	27.4%	33.8%

〔項目〕 人権問題を扱った映画・ビデオを上映する

全体④	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
20.3%	54.8%	31.5%	16.7%

〔項目〕 講演会・研修会・シンポジウムなどを開催する

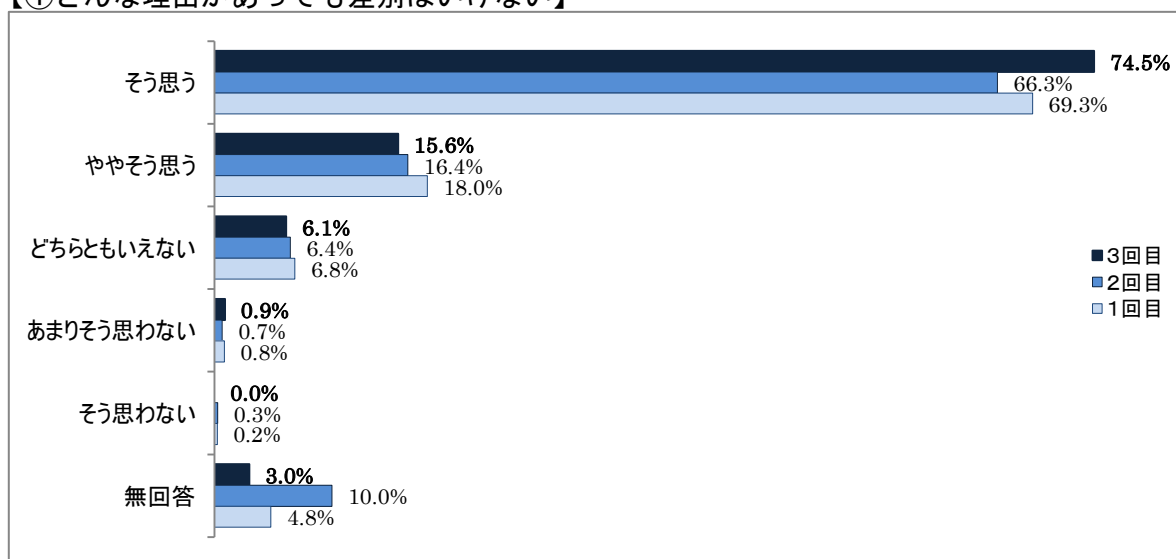
全体④	何回となく参加	1・2回参加	参加なし
20.3%	52.4%	35.6%	16.3%

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
新聞・雑誌を通じた啓発を行う	36.6%	46.3%
テレビ・ラジオを通じた啓発を行う	53.6%	63.0%
県や市町村の広報誌等を通じた啓発を行う	33.3%	35.5%
人権問題を扱った冊子やパンフレットの配布やポスターの掲示を行う	17.8%	20.2%
人権問題を扱った映画・ビデオを上映する	20.3%	19.9%
講演会・研修会・シンポジウムなどを開催する	20.3%	16.5%
人権に関するイベント・フェスティバルを開催する	16.4%	17.8%
人権問題に関するホームページをつくり常に新しい情報を提供する	11.9%	17.6%
人権に関する作文や絵画などのコンクールを行う	11.9%	11.1%
障がいのある人や高齢者などと触れあいの機会を設ける	-	29.5%
特になし	4.1%	3.3%
わからない	14.4%	8.3%
その他	3.9%	4.1%
無回答	5.6%	3.9%

問29 人権に関する次の①～⑦について、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。(〇はそれぞれ1つ)

【①どんな理由があっても差別はいけない】

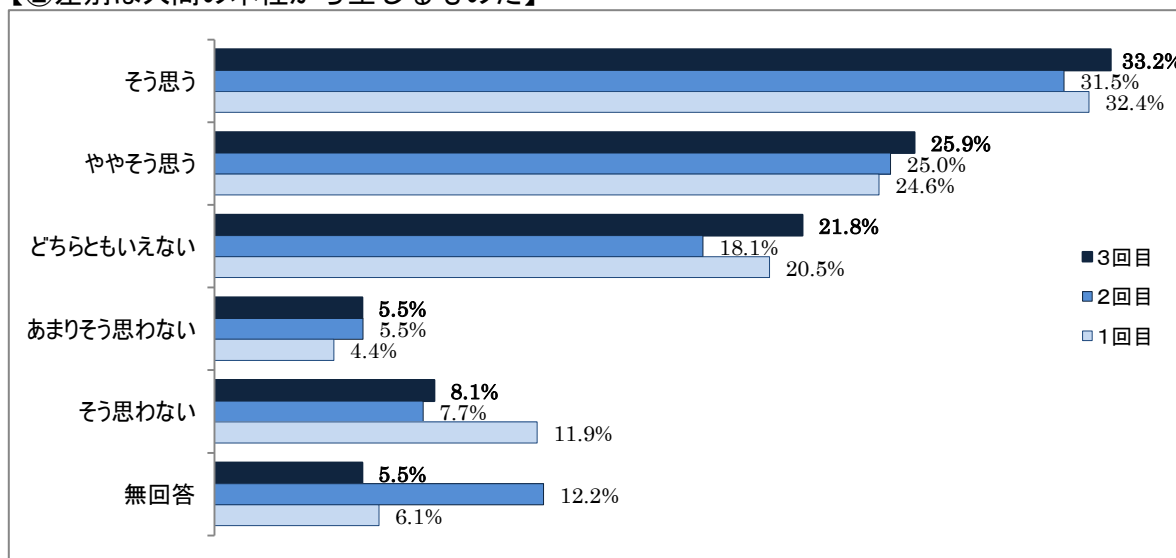


「そう思う」(74.5%)と「ややそう思う」(15.6%)をあわせると、9割(90.1%)の人がどんな理由があっても差別はいけないと思っています。

● 「そう思う」の年代別の回答傾向

全体①	70歳以上	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	18歳～20歳代
74.5%	79.6%	75.6%	73.0%	71.1%	70.6%	62.8%

【②差別は人間の本性から生じるものだ】

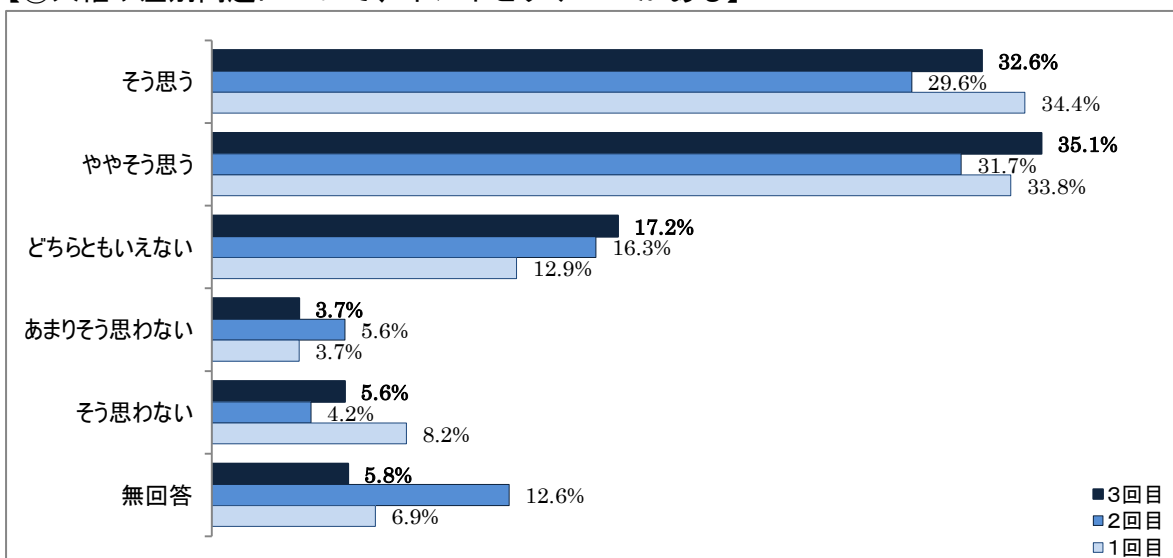


「そう思う」(33.2%)と「ややそう思う」(25.9%)をあわせると、6割近く(59.1%)の人が差別は人間の本性から生じるものだと思っています。

● 「そう思う」の年代別の回答傾向

全体①	40歳代	50歳代	60歳代	18歳～20歳代	70歳以上	30歳代
33.2%	38.6%	36.5%	36.0%	34.9%	30.1%	21.6%

【③人権や差別問題について、ホンネとタテマエがある】

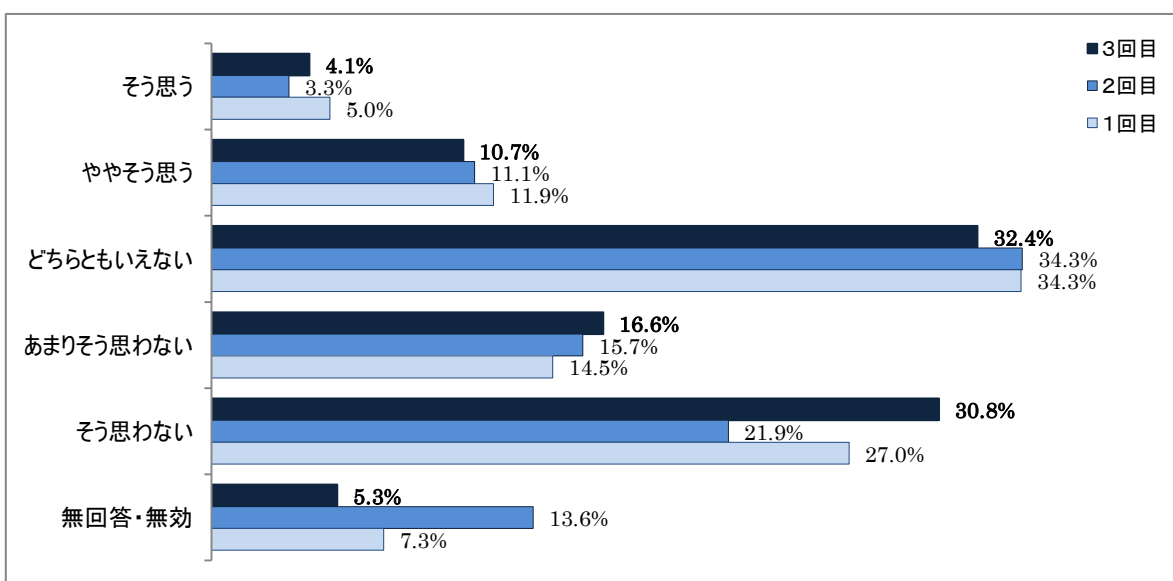


「そう思う」(32.6%)と「ややそう思う」(35.1%)をあわせると、7割近く(67.7%)の人が人権や差別問題について、ホンネとタテマエがあると思っています。

● 「そう思う」の年代別の回答傾向

全体②	50歳代	40歳代	18歳~20歳代	60歳代	70歳以上	30歳代
32.6%	37.4%	37.3%	34.9%	31.7%	29.6%	27.5%

【④差別は、差別される人(側)に原因がある】



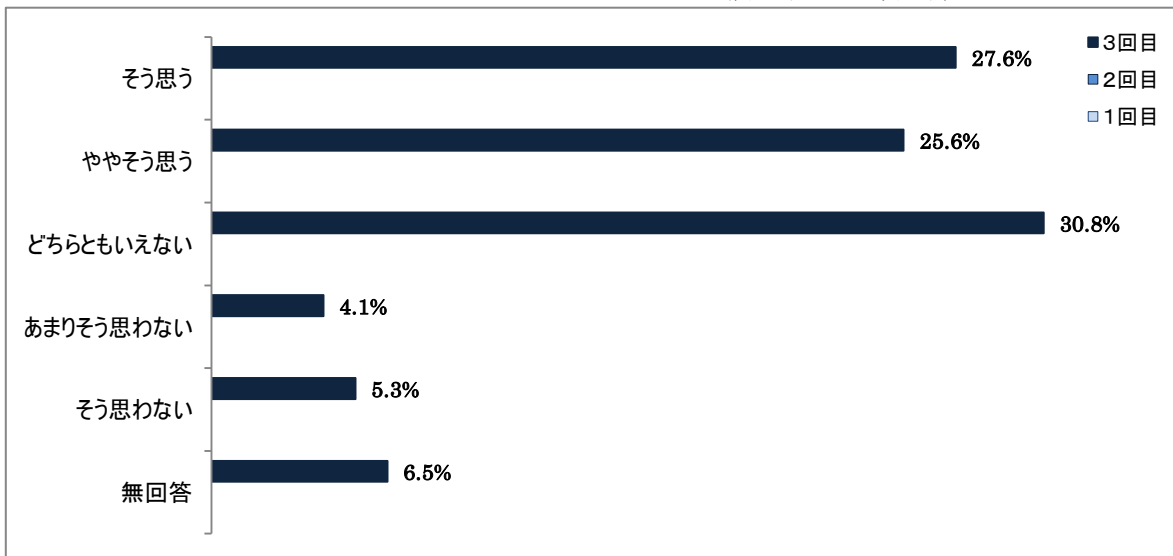
「そう思う」(4.1%)と「ややそう思う」(10.7%)をあわせると、14.8%の人が差別は、差別される人(側)に原因があると思っています。一方、「そう思わない」(30.8%)と「あまりそう思わない」(16.6%)をあわせると5割弱(47.4%)の人が否定的に思っており、前回調査から、9.8ポイント高くなっています。

● 「そう思わない」の年代別の回答傾向

全体②	30歳代	50歳代	40歳代	70歳以上	60歳代	18歳~20歳代
30.8%	39.2%	35.7%	33.7%	28.7%	28.7%	23.3%

【⑤差別は、差別する人(側)に原因がある】

※この調査項目は今回新たに追加しました。

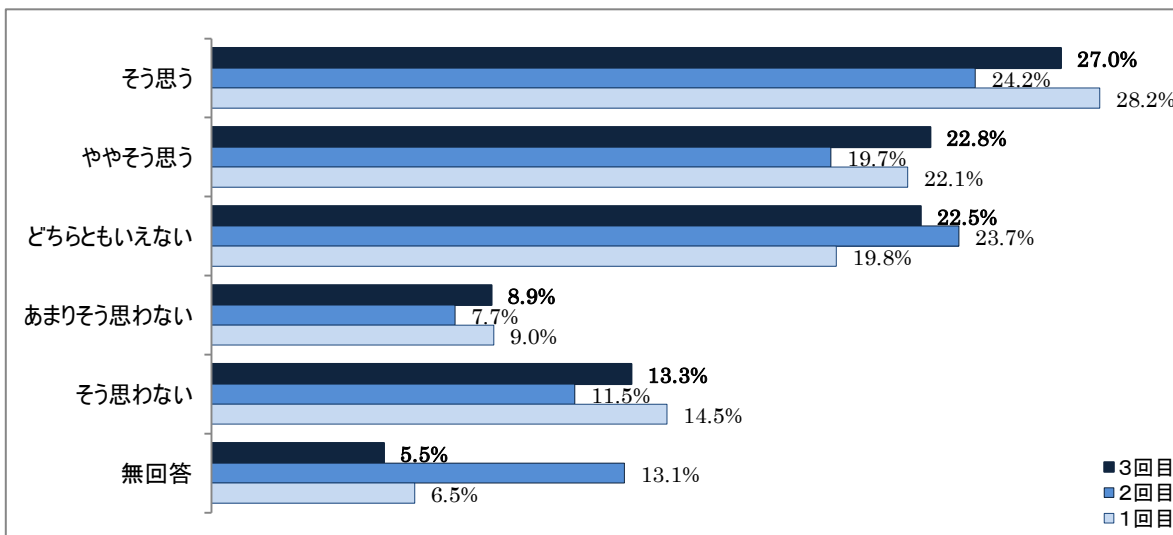


「そう思う」(27.6%)と「ややそう思う」(25.6%)をあわせると、5割以上(53.2%)の人が差別は、差別する人(側)に原因があると思っています。一方、「そう思わない」(5.3%)と「あまりそう思わない」(4.1%)をあわせると1割弱(9.4%)の人が否定的に思っています。

●「そう思う」の年代別の回答傾向

全体②	40歳代	18歳~20歳代	60歳代	30歳代	50歳代	70歳以上
27.6%	33.7%	30.2%	29.9%	29.4%	27.0%	23.1%

【⑥差別、差別というから、いつまでも差別がなくなる】

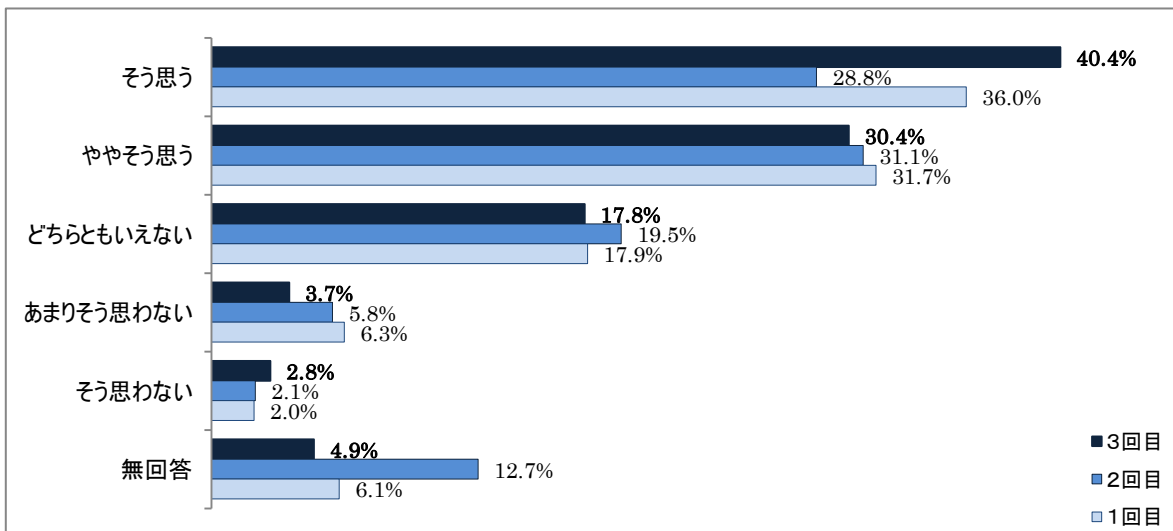


「そう思う」(27.0%)と「ややそう思う」(22.8%)をあわせると、5割弱(49.8%)の人が差別、差別というから、いつまでも差別がなくなると思っています。一方、「そう思わない」(13.3%)と「あまりそう思わない」(8.9%)をあわせると2割強(22.2%)の人が否定的に思っています。

●「そう思う」の年代別の回答傾向

全体①	70歳以上	18歳~20歳代	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代
27.0%	30.6%	27.9%	26.2%	26.1%	24.1%	23.1%

【⑦人権問題は大切なので、様々な人権問題に関心をもちたい】

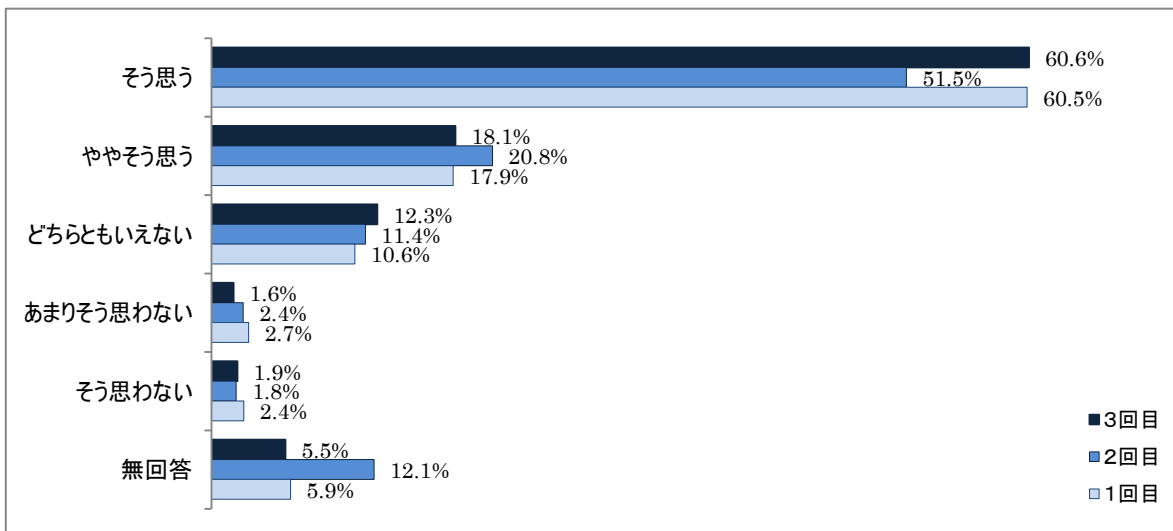


「そう思う」(40.4%)と「ややそう思う」(30.4%)をあわせると、7割以上(70.8%)の人が人権問題は大切なので、様々な人権問題に関心をもちたいと思っており、前回調査より10.9ポイント高くなっています。一方、「そう思わない」(2.8%)と「あまりそう思わない」(3.7%)をあわせると6.5%の人が否定的に思っています。

● 「そう思う」の年代別の回答傾向

全体①	70歳以上	60歳代	40歳代	50歳代	18歳~20歳代	30歳代
40.4%	45.8%	41.5%	39.8%	39.1%	30.2%	29.4%

【⑧人権は一部の人の問題ではなく、すべて市民の問題である】



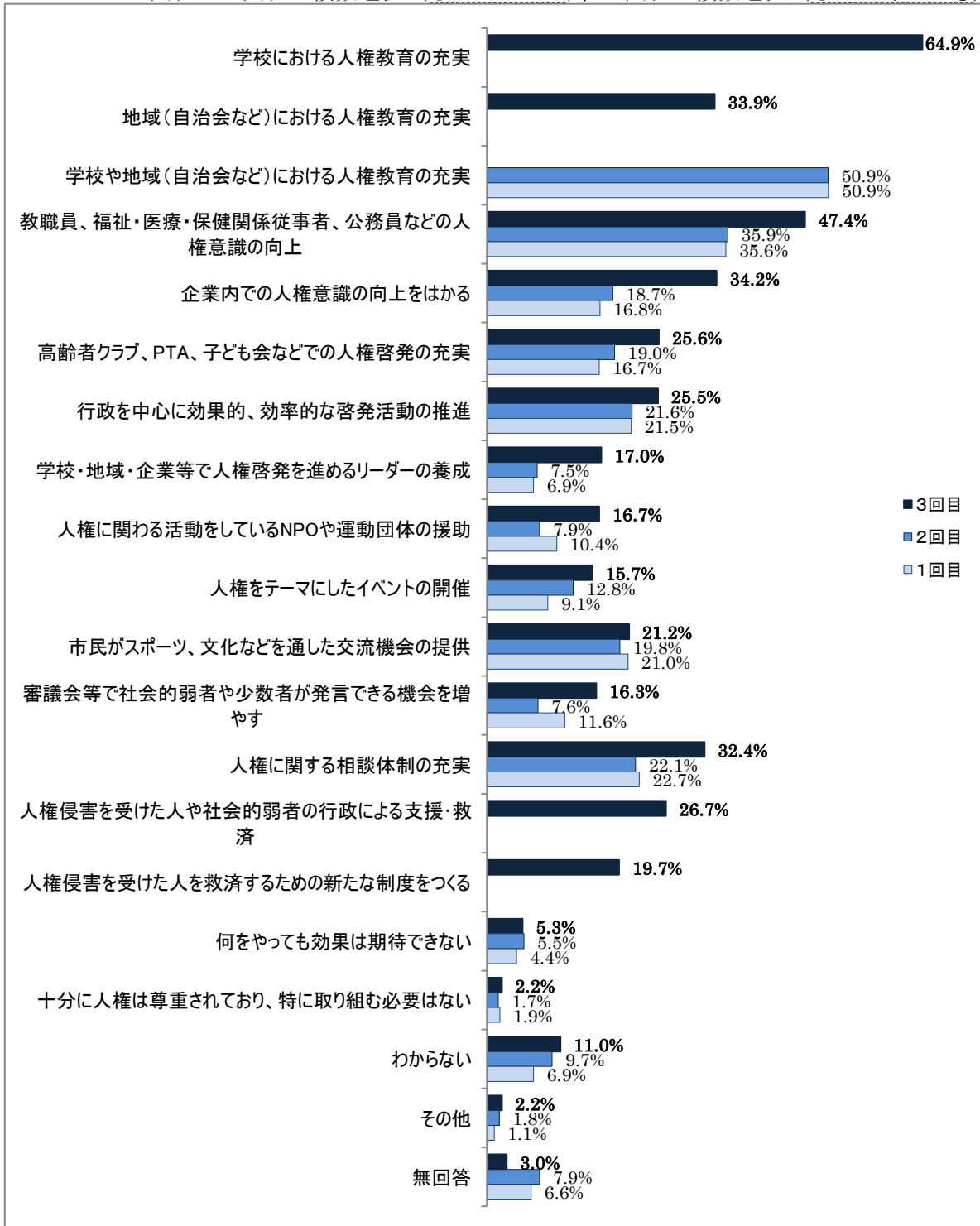
「そう思う」(60.6%)と「ややそう思う」(18.1%)をあわせると、8割近く(78.7%)の人が人権は一部の人の問題でなく、すべての市民の問題であると思っています。一方、「そう思わない」(1.9%)と「あまりそう思わない」(1.6%)をあわせると3.5%の人が否定的に思っています。

● 「そう思う」の年代別の回答傾向

全体①	40歳代	50歳代	60歳代	30歳代	70歳以上	18歳~20歳代
60.6%	63.9%	61.7%	61.6%	60.8%	59.3%	58.1%

問30 あなたは、延岡市がめざす人権が尊重されるまちづくりを実現するために、今後どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

※ 1回目・2回目～複数選択 (〇は3つまで)、3回目～複数選択 (〇はいくつでも)



「学校における人権教育を充実させる」(64.9%)が最も割合が高く、次いで「教職員、福祉・医療・保健関係従事者、公務員などの人権意識の向上をはかる」(47.4%)、「企業内での人権意識の向上をはかる」(34.2%)となっています。

「その他」の意見の主な内容

- ・相手を尊重する意識を持つ
- ・困っている人に寄り添える人をいかに増やすか
- ・学ぶ機会、自由に意見交換できる場の保障
- ・取締りの強化、厳罰化(特にセクハラ) 等

- 割合の高い上位2項目の年代別の回答傾向（上位2項目はいずれの年代も同じ項目）

〔項目〕学校における人権教育を充実させる

全体①	30歳代	40歳代	18歳～20歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
64.9%	78.4%	69.9%	69.8%	68.7%	62.8%	59.3%

〔項目〕教職員、福祉・医療・保健関係従事者、公務員などの人権意識の向上をはかる

全体②	18歳～20歳代	50歳代	70歳以上	30歳代	60歳代	40歳代
47.4%	51.2%	50.4%	48.1%	47.1%	46.3%	43.4%

【今回の調査（3回目）と県の調査の比較】

項目	今回の調査	県の調査
学校における人権教育を充実させる	64.9%	71.2%
地域（自治会など）における人権教育を充実させる	33.9%	46.4%
家庭において人権に関する教育を充実させる	-	45.6%
教職員、福祉・医療・保健関係従事者、公務員などの人権意識の向上をはかる	47.4%	-
企業内での人権意識の向上をはかる	34.2%	39.2%
諸団体（高齢者クラブ、PTA、子ども会など）における人権啓発を充実する	25.6%	-
行政を中心に効果的、効率的な啓発活動を進める	25.5%	-
学校・地域・企業等で人権啓発を進めるリーダーを養成する	17.0%	30.2%
人権に関わる活動をしているNPOや運動団体を援助する	16.7%	-
人権をテーマにしたイベントを開催する	15.7%	-
市民がスポーツ、文化などを通して交流を深める機会を提供する	21.2%	-
審議会等で社会的弱者や少数者が発言できる機会を増やす	16.3%	-
人権に関する相談体制を充実する	32.4%	35.8%
行政が、人権侵害を受けた人や社会的に弱い立場にある人を支援・救済する	26.7%	37.0%
人権侵害を受けた人を救済するための新たな制度をつくる	19.7%	25.4%
人権問題に関する啓発のための施設を充実させる	-	12.5%
何をやっても効果は期待できない	5.3%	3.3%
十分に人権は尊重されており、特に取り組む必要はない	2.2%	2.2%
特になし	-	1.7%
わからない	11.0%	6.6%
その他	2.2%	1.3%
無回	3.0%	3.2%

◎人権問題に関するご意見やご要望などがございましたら、自由にお書きください。

寄せられましたご意見を記述内容に応じて分類し、特徴的なご意見を掲載しました。

掲載にあたっては、文意を変えない範囲で原文の一部を変更しています。なお、掲載していないご意見につきましても、今後の人権教育・啓発を推進する上での貴重なご意見として参考にさせていただきます。

1) 人権全般に関すること

- 一番は心の問題で、形より心で、心から差別をしない人づくりが必要だと思う。差別をされる人は、何が一番つらいかと言えば、それは、差別する人の心ではないだろうか。私も、日頃から上から目線になっていないだろうかと気にかけている。皆が人を上にも下にも見ない社会が幸せな社会だと思う。このようなアンケートをすることは、その意識のあらわれで素晴らしいことだと思う。ありがとうございます。皆が幸せに暮らせる延岡市であってほしいです。(60歳代)
- 人権問題は時代と共に問題点が変化してくるのではと感じている。私共の幼い頃は身分制や同和問題がよく問題点として取り上げられていたが、最近はいじめや児童虐待、パワハラ等の問題がよく取り上げられていると思う。いずれの問題点にせよ人が社会の中で生きていく上で、不当な差別や強制というものを放置してはいけないし、又、我々がそれらの諸問題に対して無関心であってはならないと思う。(70歳以上)
- 専門家ではないのでうまく表現できませんが、より多くの人々が関心を持つことだと思います。マスコミ、新聞、テレビ等をよく見て勉強していきたいと考えています。(70歳以上)
- デリケートな問題なのでとにかく難しいと思うが、無関心にだけはなりたくないと思う。(60歳代)
- 人権問題は難しい問題なので一人ひとりが正しく理解することが大事だと思います。(誤った解釈や先入観を持たない)(40歳代)
- 「人権問題」は人々の自由や幸せ、人がその人らしく生きる権利なので、人によって考え方や幸せの感じ方が異なることになり難しい。自分自身が侵害を受けても相談しにくかったり、あきらめる、我慢する、耐える方が多いのではと思う。(私自身がそうだったから)小さいことでも積み重なって少しずつ大きくなり、耐えきれず今まで受けてきたことを他人にしてしまう(虐待とか)こともあると思う。現在は一人で頑張らなければいけないことが多い社会で、頑張れなければ劣等感を背負ってしまう社会だと思う。(30歳代)
- 日頃から気をつけているものの些細なことで人に嫌な思いをさせたりすることがあり反省しているところです。この機会にまた気をつけたいと思っています。(70歳以上)
- 核家族、母子・父子家庭、携帯ゲームなど人と人とのつながりがうすれてきていることは大きな問題だと思います。集団、仲間意識等を作りだせる環境、まち全体が1つになれるようになってくればいじめもなくなるのでは、と思います。心が育てばいいと思います。(50歳代)
- 些細なことでも本人にとっては人権問題と受け取るのか否かは個人によっても違いがあると思います。「人権」とは、そもそも日常生活の中で考えている人は少ないのではないのでしょうか。人権問題をどう解決していくのか考える前に、人権とは何であるのか。それぞれが考えている日常を作ることが先決なのではないのでしょうか。(50歳代)
- お互いに人権を尊重することが住み良い街づくりの第一歩だと思います。(60歳代)

- 人権について考えることがなかった。他人事の様に感じていた。この調査で色々な人権問題があるのだなぁと思った。もし、身近で起きてしまったら自分はどうか対処するのだろうかと思ってしまう。なかなか難しい問題である。(60歳代)

2) 女性に関すること

- 市における女性管理者が少なすぎる。少なくとも子どもに関する部署には女性管理者を置いてほしい。(70歳以上)
- 女性差別は嫁、姑問題と一緒に男性が居る限りなくならないと思いますが、幼少期からの周りの大人の教育で多少は変わるのではないかと思います。日本男性の女性に対する考え方を変えないと変わりません。(50歳代)

3) 子どもに関すること

- 初めてのアンケートでした。子育て中は子どものことで学校の担任に不信感がありました。事例のないことなどに対して個人の考えで対応されていると感じました。それと保健師の方でも同じことがありました。専門職のはずなのに…と思います。多様な研修でたくさん知識を習得して子ども達に対応してもらいたいです。(50歳代)
- 学校現場、スポーツ現場において、先生、指導者の生徒間の“いじめ”に対して、もっと強い意識をもち、指導、見守りをしてほしいと思います。見て見ぬふりはダメです。小さい芽のうち摘んでいかないといけない。(60歳代)
- 子どもに関するいじめや虐待、子どもが犯罪にまき込まれるような事件に心を痛めています。子どもの命を守るための見守り活動やお手伝いができれば手助けをしたい気持ちです。(50歳代)
- テレビを見ていると子どもの虐待死が多すぎる。子どもの命を守るために法律等も含め対策を考えてほしい。(40歳代)
- 子どもたちはSOSの出し方や、困ったときに相談するところはたくさんあることを知り、助けを求める力を身につけてほしい。学校で教えてほしい。保護者にも同様に教えてほしい。(30歳代)

4) 高齢者に関すること

- 私は高齢者ですが、自分の趣味を続けるために、アルバイトをしています。高齢者の就労意欲を失うような政治(行政)制度にならない様に願っています。若い人と平等と言いますが、若い人にはとても敵いません。今の若い人が私ぐらいの年齢になったらわかると思います。よろしくお願いします。(70歳以上)
- 人権に関する件 大賛成。高齢者から見て安心できる地域社会で生活出来ることはこれからの生涯に救いです。「隣の人は何をする人ぞ」挨拶もない出会うこともない、隣近所に関心がない、温かい優しい目はあまり見られない。私は高齢者へのボランティアをしています、助けを待っている人が多いです。(70歳以上)
- 今の私の地区では、有り難い程、高齢者に親切で支えていただいているので感謝致しております。長生き出来そうです。(70歳以上)

- 延岡で生まれ、育ち、子育てが終わると同時に親の介護をして来ましたが人権に関して深く考えたことはなかったです。最近の親子のいじめや教師間のいじめのニュースには驚かされました。私の子育て時代には考えられなかったことです。心の闇を感じます。私の住む地区でも核家族化が進み、お年寄りだけの家が増えています。我が家も直ぐに仲間入りかと覚悟していたところ子どもの1人が一緒に住もうと言ってくれました。私も同居していた両親が子育てに協力してくれて感謝の一言だったので、今度は主人と2人で出来る限り応援してあげたいと思っています。(60歳代)

5) 障がいのある人に関すること

- 知的障がい者は身体障がい者にくらべて、まわりの理解が少ないと思います。身体障がい者の方は、自分の意思が出され問題がありませんが、知的障がい者の方は難しい面があると思います。特に知的障がい者の方について周囲を理解させる啓発が必要だと思います。(60歳代)
- 夫は透析を受けており週3回病院へ通っています。何度か障がい者ハローワークに行きました。現在、少し大きな会社では障がい者を受け入れなければならないとなっていますが、なかなか仕事がないのが現状です。そういった人の為にもう少し動いて頂けるといいなと常に思っています。(40歳代)
- 延岡市は高齢者、障がい者に対するシステムがまだまだ充実されていません。スーパーなど通路がせまく車イスの動線が確保されていないことがあり不便です。(50歳代)

6) 同和問題（部落差別）に関すること

- 以前は同和問題など差別的なことを聞いていたが、今だにこのような調査をすることは根深い問題だとあらためて気付かされた。家庭内、教育機関での研修等が大切だと思う。(60歳代)
- 同和問題についてくわしくは分かりません。私の子どもたちにもくわしく伝えたいです。実母からも（現在85才）くわしく聞いていません。母は入院中で聞くことは出来ません。考えさせるアンケートでした。(50歳代)
- 同和問題というものをこのアンケートで初めて知りました。知れたことが今後の人権への関心につながると良いです。(20歳代)
- 「人権」とは、義務教育の過程で「相手の立場になり、自分が嫌だと思ふことは人にしてはいけない」と「道徳」として学びました。今回、幼少期に何気なく考えていた「人権」とは違う、大人になった今思う「人権」について思うことを書かせていただきます。学校で学ぶ同和地区の問題「部落差別はいけません。」というようなお話だったと思います。「同和地区」「部落差別」という言葉を初めて知り、「同和地区」ってどこだろうと、知りたい気持ちになったことを思い出しました。現在、SNSの普及により気になることはすぐ検索できる時代となりました。「同和地区・部落差別」を取り扱う際は「検索されること」などを考慮する必要がありますのではと思います。(30歳代)
- 私が小学生の頃だったと思います。住んでいる地域で差別している感がありました。祖父母が遊びに来た友人に「家はどこ」と住所をたずねていたと思います。私はそんなことなど気にせず付き合っています。今でも手紙のやりとり等しております。人権問題等のない社会になる様に皆で協力し住み良い社会が早く実現できます様に努力していただきたいと思っています。(70歳以上)

7) 外国人に関すること

- (質問票の) 問18の項目はどれも悲しいことばかりです。(50歳代)

(問) 外国人に関することで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。

1. 言葉、生活習慣、文化などの違いから、地域社会に受け入れられにくい
2. アパートなどの住宅を容易に借りることができない
3. 店や施設の利用、サービスの提供を拒否される
4. 就職や仕事の内容、待遇などで不利・不当な扱いを受ける
5. 選挙や学校への入学など制度面で制限がある
6. 病院や公共施設等に外国語による表示が少ない
7. じろじろ見られたり、避けられたりする
8. 国籍を理由に、周囲が結婚に反対する
9. 日本人の意識に外国人に対する偏見や差別心がある
10. ヘイトスピーチを受ける

8) 情報化社会における問題(インターネットによる人権侵害)に関すること

- 現在、SNSの普及により気になることはすぐ検索できる時代となりました。「同和地区・部落差別」を取り扱う際は「検索されること」などを考慮する必要があるのではと思います。(30歳代)
- 今の世の中あまりにも情報が氾濫していると思う。それを利用する人も受け取る人も心していかなければと思う。自分の気付かないところで、人を傷つけたり、批判していることも多いと思う。うそやでまかせの情報でだまされたり、泣き寝入りしている人も多勢いると思う。これから先、私達は今迄以上に正しい情報を判断する力を養っていかなければならないと思う。(70歳以上)

9) 犯罪被害者に関すること

- 社会のしくみを整えたりいろいろな政策を実施していくことは大事だと思います。(50歳代)

10) 性的少数者に関すること

- 小中学校における出席簿のつけ方などにおいて、男女を分けていることに疑問を感じる。県立高校などで実施されている男女混合の出席簿を採用すべきであると考えます。(50歳代)

11) その他の人権問題に関すること

- 自分の良いところが認められる個性が尊重される社会にしてほしい。(40歳代)
- 私も出身地で差別されたことがあるが、見返してやろうと今を必死に生きている。貧乏で差別されたことがあるが、見返してやろうと努力する。思想などで差別されたことがあるが立派になって実証を示そうとがんばっている。だから、差別を許さない心は持っている。どう戦っていくか考えていきたい。(40歳代)
- 以前、勤務していた会社でパワハラにあい、結果体調をくずし辞めることになりました。現在、大企業で働いており、環境の違いに驚いています。市内にはこうして表に出ない会社が多々あるのではないかと思います。表沙汰にならないようなパワハラ問題等を解決できる仕組みがあると、皆安心して働けると思います。苦しい思いをしている人は多数いるのではないかと思います。(50歳代)

12) 教育・啓発に関すること

- 差別は、多数が少数者に対して行うものだと思います。多数の側にいる人間(自分も含めて)が、差別に気づき、自分を見直し、差別を無くそうとする人間に変わっていくことが必要だと思います。そのためには学校も含めて、多くの場面で差別とは何かについて、正しく知る機会を持つことが大事だと思います。そうしてそれが差別だと気づくような場面に出会った時、それがおかしいことであると話せる勇気を持てるようになることが大事だと思います。(60歳代)
- 人権問題は人間本来の問題かもしれません。小さいころからの教育(道徳)が必要だと思います。男女の差も少しずつなくなっちは来ていますが、男女の機能の違いによる差を互いにうまく理解することが必要ですがなかなか理解しにくいものですね。(60歳代)
- 人権問題の根底には、人の心の中にある予断や偏見、迷信などが無意識にあると考える。日頃からの啓発や教育、研修などでそのようなものが誤りであることを学習することが大切だと思う。(60歳代)
- 人と人が交わりをもつとき、思いやりの心は欠かせない。学校などで子どものうちから、お互いを尊重し合い、思いやりをもって行動できるように教育していくことが大切だと感じる。(40歳代)
- 人権を大切にすることは、教育でしか育てられない。学校、家庭、地域の人々の考え方を見て人は育つ。手本となる大人が率先して、人を大切にして弱者をいじめないことが、子どものいじめ防止につながると思う。(50歳代)
- 人権に関して学ぶ場が必要だとは思いますが、特に子どもの学び方は気をつけないといけないことだと思います。中途半端な教え方では、子どもが半端覚えをし、それを子ども同士で言い合ったり、いじめや人権侵害につながると思う。教育の場、学習の場を作るのなら教える側はきちんと学習してほしい。教員が同僚をいじめていたというニュース、本当は子ども達のお手本になる教える側がそんなことをしていたということは最悪のことです。そんなことにならないよう、各場所で人権教育を充実させるのならばお手本になるべき人をきちんと教育してほしいです。(20歳代)
- 学校、職場、地域、どこにでも差別はあると思う。皆の無関心が差別を生み助長させているし小さい頃からの教育が重要ではないでしょうか。(70歳以上)
- 障がいのことや高齢者の認知症の病状など理解できていない人が少なからずいると思うので、知る、知れる機会が必要なのではないかと考えている。(20歳代)

13) 人権相談に関すること

- どこに相談して良いのか分からない人たちが多と思う。アンケートに同封してあった「相談窓口一覧表」など、もっと人の目につくようにすべき。どれだけポスターや冊子を作っても、必要とする人に伝わらなければ意味がない。(20歳代)
- 「相談窓口一覧表」を見て、相談窓口が、多数あったことにおどろいた。知らなすぎだと思っている。たぶん、私と同じ方が多数おられるのではと思います。「相談窓口一覧表」をしっかり目の届くところに置いて、活用できる様にしたいと思います。ありがとうございました。(60歳代)
- 悩みがあったら1人かかえこまないで身近な人に話す。解決できるか否かわからないけど人に話してすっきりすることもある。(30歳代)

14) 行政施策に関すること

- 人権問題を根本から無くすことは、極めて困難だと思われる。個々に起こった事案に対する行政の体制づくりが大切なことかと思う。(40歳代)
- 講演会に子育て中の保護者が参加しやすいように託児サービスを導入してほしいです。子育て中の母親たちは参加する意志はあっても、子どもをどうしようか考えて参加をあきらめることが少なくありません。いくら、幼保・学校教育の中で人権教育を行っても、家庭内での保護者の言動からも大きな影響を受けて人権感覚は育っていきます。だからこそぜひ、子育て中の保護者が気軽に参加出来るような仕組みをととのえて頂きたいです。児童館や子育て支援センターを通じた情報の積極的な発信もお願いします。(30歳代)
- 人権問題は難しいことだと考えます。言葉や態度などが差別を大きくしているのではないのでしょうか。他人の痛みや苦しみを感じる人は差別やいじめなどしないと思います。差別やいじめを少しでもなくすように市町村などが色々な会合で話し合って対策を取ることが大事なことと思います。(70歳代)
- 人権啓発映画の上映、これからも続けて下さい。より多くの人に見てもらいたいです。こども食堂の取り組みが広がるように広報してほしい。(30歳代)
- 人権問題のどんなところが問題なのかを具体的に伝えていかないと問題は解決しないと思います。毎年の研修で知る限りで回答しましたが、まだまだ知らないことだらけだと思います。より良い延岡市づくりには効果的な周知が必要だと感じます。(40歳代)

15) 意識調査への意見、感想

- 人権問題ではないけどこのアンケートは難しいと思いました。(40歳代)
- 今までに困ったことが起きませんでしたので、考えを変えるよい機会をいただきました。(70歳以上)
- 目がさめる時間を頂き有り難うございました。(70歳以上)
- この調査表を見て色々と考えなければいけないことがたくさんあることを知りました。自分たちが育った頃は今考えると何も無い時代です。たとえば「スマホとかケイタイ」いまだに使いこなせない自分ですが、ほんとに心配が多い世の中です。色々注意して生活して行くことも大事だと思い反省したところでした。(70歳以上)
- 今回は人権問題に関することでしたが、実際にこういう問題にあまり直面したことがなくて大変考えさせられました。これからは私なりにもっと考えて行動しようと思いました。ありがとうございました。(70歳以上)
- 人権問題は身近で感じる事が無いのでテレビ、ラジオ、新聞等で見聞きしたことで感じたこと、心が痛んだことを思ってアンケートに応じました。本当に心から差別やいじめ等、なくなることを願っています。(70歳以上)